

令和6年度使用広島市立義務教育諸学校用
教科用図書採択について（答申）

令和6年度から使用する広島市立小学校用教科用図書

〔教科（種目）〕

国	語
書	写
社	会
地	図
算	数
理	科
生	活
音	楽
図画工作	作
家	庭
保	健
英	語
道	徳

令和5年8月22日

広島市教育委員会様

広島市教科用図書採択審議会

会長 樽谷秀幸

令和6年度使用広島市立義務教育諸学校用教科用図書採択について（答申）

令和5年5月24日付け広市教学指一第32号で諮問されたこのことについて、別紙のとおり
答申します。

令和6年度から使用する広島市立小学校用教科用図書の採択について（答申）

教科〔国語〕 種目〔国語〕

令和6年度から使用する小学校用教科用図書の採択について

教科 [国 語] 種目 [国 語]

1 本市の実態や児童の状況

- 本市では、思考力・判断力・表現力を高めるために、指導事項の明確化、指導と評価の一体化を意識し、言語活動の充実に重点をおいた授業改善に取り組んだことにより、令和4年度全国学力・学習状況調査において、「話すこと・聞くこと」（平均正答率66.9%、全国平均65.6%）、「書くこと」（平均正答率51.2%、全国平均48.5%）、「読むこと」（平均正答率69.4%、全国平均66.6%）の全領域において概ね学力が定着している結果となった。
- しかしながら、思考力、判断力、表現力等「書くこと」については、平均正答率が51.2%（令和3年度平均正答率63.0%）であり、定着が図られていない児童が一定数いることが明らかになった。目的や意図に応じて、理由を明確にしながら、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することや、目的や意図に応じて必要な情報を選び出して整理したり、関連付けたりしながら、自分の考えを明確にして表現することなどにも課題が見られる。また、身に付けた言葉の力を実生活で生かすことが難しい状況がある。

2 調査・研究の観点と視点

観 点	視 点
<基礎・基本の定着>	① 単元の目標及びまとめの示し方 ② 言葉の特徴や使い方に関する事項 ③ 情報の扱い方に関する事項
<主体的に学習に取り組む工夫>	④ 学習過程の示し方 ⑤ 他教科との関連や日常生活へのつながりのもたせ方
<内容の構成・配列・分量>	⑥ 年間の学習内容の見通しのもたせ方 ⑦ 単元や資料等の配列と分量
<内容の表現・表記>	⑧ 巻末資料の示し方 ⑨ 配色や文字の大きさ等の工夫
<言語活動の充実>	⑩ ねらいに応じた言語活動の設定及びその工夫

3 各教科書の特徴

1 基礎・基本の定着

視点① 単元の目標及びまとめの示し方

- 単元冒頭に、単元名とともに、目標とする力を「言葉の力」として示している。また、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」では単元の始めに、「読むこと」では単元末の学習の手引きに、単元の目標を、目標とする力と関連させて示している。
- 単元末に、目標とする力を身に付けるためのポイントを「言葉の力」として、図とともに箇条書きで示している。

視点② 言葉の特徴や使い方に関する事項

- 言葉の特徴やきまりに関する小単元があり、「言葉」「漢字を使おう」「言葉相談室」として示している。
- 言葉の特徴やきまりに関する小単元の配列を巻末に示している。

視点③ 情報の扱い方に関する事項

- 2～6年で「情報のとびら」という教材を「読むこと」と「書くこと」の単元間に年間3か所配置している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点④ 学習過程の示し方

- 2～6年は、巻頭に「国語の学習の進め方」を示している。
- 1年は、下巻から「とりくむ」「ふりかえる」の2つのステップで学習過程を示している。2～6年は「見通す」「取り組む」「ふり返る」の3つのステップで学習過程を示している。また、「取り組む」の中に、番号を付して学習活動を示している。さらに、「思い出そう」として既習学習との関連を示している。
- 2～6年は単元冒頭に「学習の流れ」を示すとともに、「読むこと」の単元においては、単元末に、同じ学習過程で学習の手引きを示している。

視点⑤ 他教科との関連や日常生活へのつながりのもたせ方

- 2～6年は単元末の「生かそう」で、身に付けた力の活用場面を示している。
- 1・2年は生活科との関連や日常生活へつながりをもたせた単元を設定している。
- 単元末に関連図書を紹介している。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑥ 年間の学習内容の見通しのもたせ方

- 2～6年は、巻頭の「言葉の力を集めよう」に、1年間の学習を見通し、単元名や教材名とともに目標とする力を、ロードマップで示している。また、巻末には折り込みで、上段に各領域等の目標とする力と単元名を示し、下段には、前学年の目標とする力と単元名を示している。

視点⑦ 単元や資料等の配列と分量

- 1～4年は上下巻の2冊、5、6年は年間1冊で構成されている。
1年 上巻：144ページ 下巻：172ページ 2年 上巻：160ページ 下巻：168ページ
3年 上巻：168ページ 下巻：170ページ 4年 上巻：168ページ 下巻：160ページ
5年 296ページ 6年 296ページ
- 各学年に領域をまたがった複合単元がある。

4 内容の表現・表記

視点⑧ 巻末資料の示し方

- 「学習で使う言葉」、「〇年生で学習する言葉の力」(1・2年)、「言葉の力のつながり」(3～6年)、デジタル資料の活用、新出・既習漢字を掲載している。
- 各学年の「言葉の広場」に、学年に応じた語彙をまとまりごとに掲載している。
- 3～6年はローマ字表、3年下巻に点字と手話の資料を掲載している。
- 並行読書、発展読書に活用する物語文や説明文を掲載している。

視点⑨ 配色や文字の大きさ等の工夫

- カラーユニバーサルデザインに配慮している。
- ユニバーサルデザインフォントを採用している。
- 1・2年は、上下巻とも年間を通じて分かち書きで書かれている。

5 言語活動の充実

視点⑩ ねらいに応じた言語活動の設定及びその工夫

- 単元末に言語活動を示している。
「ごんぎつね」(4年) 人物の気持ちの変化を伝え合う活動を設定している。
「大造じいさんとがん」(5年) 人物像について考えたことを伝え合う活動を設定している

1 基礎・基本の定着

視点① 単元の目標及びまとめの示し方

- 単元冒頭に、単元名を示している。「読むこと」においては、単元冒頭及び単元末の学習の手引きに、単元名を示している。
- 単元途中や単元末に、目標とする力を身に付けるためのポイントを「ここがだいじ」として、短い文章で示している。

視点② 言葉の特徴や使い方に関する事項

- 言葉の特徴やきまりに関する小単元があり、「言葉の広場」「漢字の広場」として示している。
- 言葉の特徴やきまりに関する小単元の配列を目次に示している。

視点③ 情報の扱い方に関する事項

- 1年下巻～6年の巻末付録に「情報のまとめ」として1ページで示している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点④ 学習過程の示し方

- 1年下巻から、「見通しをもとう」から始まり、領域別に4から5つのステップで進めた後、「ふり返ろう」という学習過程を示している。また、領域別のステップを示すとともに、番号を付して学習活動を示している。

(領域別のステップ)

【話すこと・聞くこと】「決めよう・集めよう」「組み立てよう」「話そう・聞こう」「伝え合おう」

【書くこと】「決めよう・集めよう」「組み立てよう」「書こう」「読み返そう」「伝え合おう」

【読むこと】「たしかめよう」「くわしくよう」「まとめよう」「つたえあおう」

- 1年下巻～6年は、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」の単元冒頭に「学習の進め方」を示すとともに、「読むこと」の単元においては、単元末に、学習の手引きを示している。

視点⑤ 他教科との関連や日常生活へのつながりのもたせ方

- 1年生下巻から巻頭に、身に付けた力を生かす実生活の場面を示している。
- 1・2年は生活科との関連や日常生活へつながりをもたせた単元を設定している。
- 単元末に関連図書を紹介している。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑥ 年間の学習内容の見通しのもたせ方

- 1年下巻～6年は、巻頭の「〇年生で学ぶこと」に、1年間の学習を見通し、各領域等の単元名や教材名とともに目標とする力を示している。

視点⑦ 単元や資料等の配列と分量

- 全学年上下巻の2冊で構成されている。
- 1年 上巻：135ページ 下巻：175ページ 2年 上巻：163ページ 下巻：167ページ
- 3年 上巻：163ページ 下巻：159ページ 4年 上巻：175ページ 下巻：169ページ
- 5年 上巻：159ページ 下巻：183ページ 6年 上巻：159ページ 下巻：167ページ
- 各学年に領域をまたがった複合単元がある。
- 3～6年の上巻では、説明文の1単元において、「学習に生かそう」と示し、2教材構成としている。

4 内容の表現・表記

視点⑧ 巻末資料の示し方

- 「学ぶときに使う言葉」、「情報のまとめ」、「『大事な言い方』を確かめよう」、「『ここが大事』のまとめ」、新出・既習漢字を掲載している。
- 各学年の「言葉の木」に、学年に応じた語彙をまとめごとに掲載している。
- 手紙の書き方、電子メールの使い方、漢字辞典の使い方など、各学年で身に付けることを掲載している。
- 「〇年生で読みたい本」に、表紙の写真と紹介文を付して本の紹介をしている。
- 並行読書、発展読書に活用する物語文や説明文を掲載している。

視点⑨ 配色や文字の大きさ等の工夫

- カラーユニバーサルデザインに配慮している。
- ユニバーサルデザインフォントを採用している。
- 領域別に色分けをしている。
- 1・2年は、上巻途中まで分ち書きで書かれている。

5 言語活動の充実

視点⑩ ねらいに応じた言語活動の設定及びその工夫

- 単元末に言語活動を示している。
- 「ごんぎつね」(4年) 登場人物の気持ちの変化を考えて日記を書く活動を設定している。
- 「大造じいさんとがん」(5年) 物語の山場を見つけ、心に残ったことを伝え合う活動を設定している。

1 基礎・基本の定着

視点① 単元の目標及びまとめの示し方

- 単元冒頭に、単元名を示している。「話すこと・聞くこと」、「書くこと」では単元の始めに、「読むこと」では単元末の学習の手引きに、単元の目標とともに目標を達成するためのポイントを、目標とする力と関連させて示している。
- 単元末に目標とする力を身に付けるためのポイントを「たいせつ」として、箇条書きで示している。

視点② 言葉の特徴や使い方に関する事項

- 言葉の特徴やきまりに関する小単元があり、「言葉の使い方」「漢字の広場」として示している。
- 言葉の特徴やきまりに関する小単元の配列を目次に示している。

視点③ 情報の扱い方に関する事項

- 2～6年は、「情報」という教材を、年間2か所配置している。
- 2～6年の巻末折り返みに「図を使って考えよう」として情報の扱い方に関するページを設けている。

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点④ 学習過程の示し方

- 2～6年は、巻頭に「国語の学びを見わたそう」の中に「どうやって学んでいくのかな」として、学習の進め方を示している。
- 1年は、上巻終わりの【読むこと】の単元から、単元末に「がくしゅう」「ふりかえろう」の2つのステップで学習過程を示している。2～6年は「見通しをもとう」から始まり、領域別に4つのステップで進めた後、「ふりかえろう」という学習過程を示している。また、領域別のステップを示すとともに、番号を付して学習活動を示している。さらに、「確かめよう」として既習学習との関連を示している。

(領域別のステップ)

【話すこと・聞くこと】「決めよう・集めよう」「準備しよう」「話そう・聞こう」「つなげよう」

【書くこと】「決めよう・集めよう」「組み立てよう」「書こう」「つなげよう」

【読むこと】「とらえよう」「ふかめよう」「まとめよう」「ひろげよう」

- 2～6年は、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」の単元冒頭に学習の進め方を示すとともに、「読むこと」の単元においては、単元末に、学習の手引きを示している。

- 2～6年は「見通しをもとう」の中に、「問いをもとう」「目標」を設定している。

視点⑤ 他教科との関連や日常生活へのつながりのもたせ方

- 2～6年は単元末の「いかそう」で、身に付けた力の活用場面を示している。
- 1・2年は生活科との関連や日常生活へつながりをもたせた単元を設定している。
- 単元末に関連図書を紹介している。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑥ 年間の学習内容の見通しのもたせ方

- 2～6年は、巻頭の「〇年生で学ぶこと」に、1年間の学習を見通し、目標とする力を各領域等の教材名とともに上段に示している。下段には、前学年の学習のポイントを、各領域等の学習過程に沿って示している。

- 巻頭に1年間ですることができるようになりたいことや、楽しい学習を記入する欄を設けている。また、巻末に1年間を振り返って、身に付いた力について記入する欄を設けている。

視点⑦ 単元や資料等の配列と分量

- 1～4年は上下巻の2冊、5、6年は年間1冊で構成されている。
- | | | | |
|--------------|-----------|--------------|-----------|
| 1年 上巻：132ページ | 下巻：140ページ | 2年 上巻：164ページ | 下巻：168ページ |
| 3年 上巻：164ページ | 下巻：168ページ | 4年 上巻：160ページ | 下巻：176ページ |
| 5年 294ページ | | 6年 312ページ | |

- 各学年に領域をまたがった複合単元がある。
- 3～6年では、説明文の1単元において、「練習」教材を設けた2教材構成としている。

4 内容の表現・表記

視点⑧ 巻末資料の示し方

- 「『たいせつ』のまとめ」、「伝え合うための言葉」、「学習に用いる言葉」、「図を使って考えよう」、新出・既習漢字を掲載している。
- 1年下巻から、巻末折り返みの「言葉のたから箱」に、学年に応じた語彙をまとまりごとに掲載している。

- 4年上巻はローマ字表、5年は点字と手話の資料を掲載している。
- 原稿用紙の使い方、手紙の書き方、インタビューの仕方など、各学年で身に付けることを掲載している。

- 「本の世界を広げよう」に、表紙の写真と紹介文を付して本の紹介をしている。

- 並行読書、発展読書に活用する物語文や説明文を掲載している。

視点⑨ 配色や文字の大きさ等の工夫

- カラーユニバーサルデザインに配慮している。
- ユニバーサルデザインフォントを採用している。
- 領域別に色分けをしている。
- 1年上下巻、2年上巻まで分ち書きで書かれている。

5 言語活動の充実

視点⑩ ねらいに応じた言語活動の設定及びその工夫

- 単元末に言語活動を示している。
- 「ごんぎつね」(4年) 気持ちの変化を捉えて物語の結末についての感想を書く活動を設定している。
- 「大造じいさんとがん」(5年) 登場人物の心情の移り変わりを捉えて読み、物語の魅力をまとめて伝え合う活動を設定している。

4 意見

広島市教科用図書採択審議会では、本市児童の課題である「目的や意図に応じて、理由を明確にしなが
ら、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することや、目的や意図に応じて必要な情報を選び出し
て整理したり、関連付けたりしながら、自分の考えを明確にして表現すること」に対応する各教科書の特
徴について、広島市教科用図書採択審議会調査員が作成した「令和6年度から使用する小学校用教科用図
書の調査・研究報告書」を基に審議した。

意見1 光村図書出版の教科書は、本市で使用する教科書としてよりふさわしい。

(理由)

- ・ 巻頭に国語科の学習の進め方を示すとともに、各単元では、学習過程を「見通しをもとう」と「ふりかえろう」の間に領域別に学習のステップを設けて示している。さらに、見通しをもつ学習において、「問いをもとう」と「目標」を設定し、児童が「問い」から「目標」をもち、課題解決に向かうことができるようにしている。
- ・ 巻頭に、領域別に1年間の学習内容と目標とする力を示すとともに、前学年の学習のポイントを関連させて示している。また、巻頭に1年間ですることができるようになりたいことや楽しみな学習を記入する欄、巻末に1年間を振り返って身に付いた力について記入する欄が設けられており、年間を通して身に付ける力を児童と教員が意識できるようにするとともに、児童がそれらを振り返り、身に付いた力を自覚することができるようにしている。
- ・ 2～6年は、情報の扱い方に関する教材を年間2か所配置するとともに、巻末折り込みに「図を使って考えよう」というページを設けており、情報を選び出して整理し関連付ける際に役立てたり、他教科等の学習においても活用したりすることができるようにしている。

意見2 東京書籍の教科書は、本市で使用する教科書としてふさわしい。

(理由)

- ・ 巻頭に国語の学習の進め方を示すとともに、各単元では、学習過程を「見通す」「取り組む」「振り返る」と示しており、児童が見通しをもって学習に取り組むことができるようにしている。
- ・ 巻頭に、1年間の学習内容と目標とする力を、ロードマップで示している。また、巻末に折り込みで、領域別に1年間の学習内容と目標とする力を示すとともに、前学年の目標とする力を関連させて示している。
- ・ 2～6年は、情報の扱い方に関する教材を「読むこと」と「書くこと」の単元間に年間3か所配置し、説明的な文章を読んで身に付けたことを生かして書く学習となるよう、情報の扱い方に関する知識・技能を活用できるようにしている。

令和6年度から使用する広島市立小学校用教科用図書の採択について（答申）

教科〔国語〕種目〔書写〕

令和6年度から使用する小学校用教科用図書の採択について

教科 [国 語] 種目 [書 写]

1 本市の実態や児童の状況

- 年賀状や手紙等を書く機会が減少し、日常生活の中で文字を書く場面が減ってきている。そこで、本市では、伝統と文化に触れる機会をもつことができるよう、文化の祭典「展示の部（書写）」や、小学校教育研究会国語科部会主催の「書きぞめ会」に取り組んでいる。
- 入学前に誤った筆記具の持ち方や姿勢等を習得している児童が多く、限られた授業時間の中で、筆記具の持ち方や姿勢等の基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させることや、学習内容を各教科の活動に生かすことが難しい状況にある。

2 調査・研究の観点と視点

観 点	視 点
＜基礎・基本の定着＞	① 学習内容の定着のための工夫 ② 書く姿勢・筆記具の持ち方・用具の扱い方の示し方 ③ 伝統と文化に関する内容の記述
＜主体的に学習に取り組む工夫＞	④ 興味・関心を高める工夫 ⑤ 単元のめあてと振り返りの示し方
＜内容の構成・配列・分量＞	⑥ 単元や資料等の配列と分量
＜内容の表現・表記＞	⑦ 挿絵や写真等の活用 ⑧ 目次や巻末資料の示し方 ⑨ 配色や文字の大きさ等の工夫
＜言語活動の充実＞	⑩ 他教科や日常生活に生かす言語活動の工夫

3 各教科書の特徴

東京書籍

1 基礎・基本の定着

視点① 学習内容の定着のための工夫

- 2～6年に学習の手順「書写の学び方」を示している。
- 「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」「ふり返ろう」「生活に広げよう」という学習過程に沿って硬筆、毛筆、硬筆の順に学習過程を進めている。
- 3～6年は、硬筆の練習用のマス（行）を設けている。
- 筆圧・穂先の動きなどを朱墨とキャラクターで示している。
- 2～6年は、学習のポイントを「書写のかぎ」として示している。

視点② 書く姿勢・筆記具の持ち方・用具の扱い方の示し方

- 全学年に、書く姿勢と筆記具の持ち方を示している。3年以上の学年は、用具の置き方と扱い方を示しており、左手で書く場合の用具の置き方を写真で示している。
- 1・2年は、左手で書く場合の鉛筆の持ち方について写真で示している。
- 全学年に姿勢を整える合言葉「ぺた ぴん とん」を示している。

視点③ 伝統と文化に関する内容の記述

- 2年「いろは歌」、3年「俳句」、4年「百人一首」、5年「古文」、6年「漢詩」「漢文」をなぞり書きするページを設けている。
- 全学年の「書きぞめ」の単元で、由来・歴史などを説明している。
- 2年に鉛筆の作り方を掲載している。
- 3年に筆・和紙・硯・墨の作り方を紹介するとともに、熊野町の筆職人へのインタビューを掲載している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点④ 興味・関心を高める工夫

- 全学年同一キャラクターが会話形式で学習のポイントを示している。
- 5年は様々な筆記具を紹介するとともに使用例を示している。
- 6年は文字の歴史を紹介している。

視点⑤ 単元のめあてと振り返りの示し方

- 全学年、めあてを示している。
- 「ふり返ろう」のコーナーに「考えた」「分かった」「書けた」と示し、○を付ける欄を設けている。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑥ 単元や資料等の配列と分量

- 単元数
1年：26単元 2年：20単元 3年：16単元
4年：14単元 5年：12単元 6年：12単元
- ページ数
1年：49ページ 2年：45ページ 3年：57ページ
4年：53ページ 5年：53ページ 6年：53ページ

4 内容の表現・表記

視点⑦ 挿絵や写真等の活用

- 「とめ」「はらい」などを、1・2年では、動物の動きを表したイラストで示している。
- 3年からは、マークで筆の穂先を示している。

視点⑧ 目次や巻末資料の示し方

- 目次を、1年は裏表紙、2～6年は巻頭に掲載している。
- 目次に、学習事項をインデックスの形で示している。また、各教科や日常生活に生かす項目を「生活に広げよう」「学びを生かそう」「文字といっしょに」と示している。
- 巻末に、学年に応じて、ひらがな、かたかな、ローマ字の表、前学年までに習った漢字、当該学年で習う漢字などを示している。
- 1年の巻末に「一年生で学習すること」、2～6年の巻末に、当該学年までの「学習すること」を「書写のかぎ」としてまとめて示している。

視点⑨ 配色や文字の大きさ等の工夫

- カラーユニバーサルデザインに配慮している。
- ユニバーサルデザインフォントを採用している。
- 1年「ひつじゅんのきまりを見つけよう」というページでは、筆順を示す際、1画目は赤、2画目は青、3画目は緑で示している。

5 言語活動の充実

視点⑩ 他教科や日常生活に生かす言語活動の工夫

- 各学年の「生活に広げよう」や「学びを生かそう」のコーナーに、連絡帳や絵日記、観察カードや実験記録の書き方、原稿用紙の使い方、手紙の形式、はがきや封筒の書き方、ノート、ポスター、リーフレット、新聞、カードや寄せ書き、お礼の手紙、メモ等の書き方などを掲載している。
- 2～6年は、学習したことを生かす時に関連する内容を、「書写のかぎ」として簡条書きで示したり、関連するページには、「『書写のかぎ』を生かして書こう」「どのように生かしたか話し合おう」として、学び方を示したりしている。
- 他教科及び総合的な学習の時間と関連する箇所にリンクマークと教科等名を付している。

1 基礎・基本の定着

視点① 学習内容の定着のための工夫

- 2～6年に学習の手順「学習の進め方」を示している。
- 「つかむ・考える」「書く・確かめる」「ふり返る」「生かす・広げる」の学習過程に沿って、硬筆、毛筆、硬筆の順に学習過程を進めている。
- 3～6年は、硬筆の練習用のマス（行）を設けている。
- 筆圧・穂先の動きなどを朱墨で示している。

視点② 書く姿勢・筆記具の持ち方・用具の扱い方の示し方

- 全学年に、書く姿勢と筆記具の持ち方を示している。3年以上の学年は、用具の置き方と扱い方を示しており、左手で書く場合の用具の置き方を写真で示している。
- 1・2年は、左手で書く場合の鉛筆の持ち方についてイラストと写真で示している。
- 全学年に姿勢を整える合言葉「こしびん 足べた ぐう一つ」を示している。

視点③ 伝統と文化に関する内容の記述

- 3年「俳句」、4年「短歌」、5年「古文」、6年「古文」を掲載している。
- 3・4・6年の「書きぞめ」の単元で、由来・歴史を説明している。
- 3年に筆の作り方を掲載している。6年に紙・硯・墨の作り方を掲載している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点④ 興味・関心を高める工夫

- 全学年同一キャラクターが会話形式で学習のポイントを示している。
- 5年は様々な筆記具を紹介するとともに使用例を示している。
- 6年は文字の歴史を紹介している。

視点⑤ 単元のめあてと振り返りの示し方

- 全学年、めあてを示している。
- 「ふり返ろう」のコーナーに3段階で自己評価をする欄を設けている。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑥ 単元や資料等の配列と分量

- 単元数
1年：25単元 2年：18単元 3年：18単元
4年：18単元 5年：15単元 6年：13単元
- ページ数
1年：49ページ 2年：41ページ 3年：61ページ
4年：61ページ 5年：53ページ 6年：53ページ

4 内容の表現・表記

視点⑦ 挿絵や写真等の活用

- 「とめ」「はらい」などを、1～4年では、動物の動きを表したイラストで示している。
- 3年からは、マークで筆の穂先を示している。

視点⑧ 目次や巻末資料の示し方

- 目次を、1年は裏表紙、2～6年は巻頭に掲載している。
- 目次に、書写で学習した内容を、各教科や日常生活に生かすことをねらいとした教材には「レッツ・トライ」と示している。また、目次と同じページに「〇年生で学習すること」と、他教科や生活に生かす項目を示している。
- 巻末に、学年に応じて、ひらがな、かたかな、前学年までに習った漢字、当該学年で習う漢字、漢字のなり立ち、横書きの書き方、筆順のきまりなどを示している。

視点⑨ 配色や文字の大きさ等の工夫

- カラーユニバーサルデザインに配慮している。
- ユニバーサルデザインフォントを採用している。
- 1年「正しいかきじゅんでかこう」というページでは、筆順を示す際、1画目は赤、2画目は青、3画目は緑で示している。

5 言語活動の充実

視点⑩ 他教科や日常生活に生かす言語活動の工夫

- 各学年の「レッツ・トライ」や「知っておこう」のコーナーに、横書きやカード、招待状や本の紹介カード、作品カードの書き方、原稿用紙の使い方、手紙の形式、はがきや封筒の書き方、国語・理科のノート、学級新聞、見学メモやポスター、リーフレット、お礼やお願いの手紙等の書き方などを掲載している。
- 5年の巻頭及び6年の教材に、SDGs との関連を示している。

1 基礎・基本の定着

視点① 学習内容の定着のための工夫

- 3～6年に学習の手順「学習の進め方」を示している。
- 「考えよう」「確かめよう」「生かそう」という学習過程に沿って毛筆、硬筆の順に学習過程を進めている。
- 3～6年は、硬筆の練習用のマス（行）を設けている。
- 筆圧・穂先の動きなどを朱墨とキャラクターで示している。
- 全学年に、学習のポイントを「たいせつ」として示している。6年は、「書写の言葉」を学習事項別に示している。

視点② 書く姿勢・筆記具の持ち方・用具の扱い方の示し方

- 全学年に、書く姿勢と筆記具の持ち方を示している。3年以上の学年は、用具の置き方や扱い方を示しており、左手で書く場合の用具の置き方を写真で示している。
- 全学年に姿勢を整える合言葉「べったん びん ぐう」を示している。

視点③ 伝統と文化に関する内容の記述

- 3年「ことわざ」、4年「俳句」、5年「古文」をなぞり書きするページと、6年「俳句」を書き写すページを設けている。
- 全学年の「書きぞめ」の単元で、由来・歴史などを説明している。
- 2年に鉛筆の秘密、作り方を掲載している。
- 3年に筆、和紙、墨、硯マップを掲載している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点④ 興味・関心を高める工夫

- 全学年キャラクターが体の動きで学習のポイントを示している。
- 5年は様々な筆記具を紹介するとともに使用例を示している。
- 6年は文字の歴史を紹介している。

視点⑤ 単元のめあてと振り返りの示し方

- 全学年、めあてを示している。
- 1年は「できたかな」、2年は「ふりかえろう」に丸をなぞる欄を、3～6年は「ねらい」のコーナーにチェックを付ける欄を設けている。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑥ 単元や資料等の配列と分量

- 単元数
1年：22単元 2年：20単元 3年：13単元
4年：11単元 5年：13単元 6年：11単元
- ページ数
1年：49ページ 2年：41ページ 3年：65ページ
4年：53ページ 5年：49ページ 6年：57ページ

4 内容の表現・表記

視点⑦ 挿絵や写真等の活用

- 「とめ」「はらい」などを、1～3年と5・6年で、動物の動きを表したイラストで示している。
- 3年からは、マークで筆の穂先を示している。

視点⑧ 目次や巻末資料の示し方

- 目次を、1年は裏表紙、2～6年は巻頭に掲載している。
- 目次に、各教科に関する項目を教科名で示している。
- 巻末に、学年に応じて、ひらがな、かたかな、ローマ字の表、前学年までに習った漢字、当該学年で習う漢字などを示している。
- 2～6年の巻末に、当該学年の大切なことを、「〇年生のまとめ」としてまとめて示している。

視点⑨ 配色や文字の大きさ等の工夫

- カラーユニバーサルデザインに配慮している。
- ユニバーサルデザインフォントを採用している。
- 1年「かきじゅんのきまりをおぼえよう」というページでは、筆順を示す際、1画目は赤、2画目は青、3画目は黄色で示している。

5 言語活動の充実

視点⑩ 他教科や日常生活に生かす言語活動の工夫

- 各学年の「書写広げたい」のコーナーに、教科名を示すとともに、横書きの書き方、連絡帳や絵日記、観察カードの書き方、原稿用紙の使い方、手紙の形式、はがきや封筒の書き方、ローマ字、インタビューメモや英語、リーフレットやポスター等の書き方等を掲載している。
- 6年には、「書写ブック」に全学年で学んだことがどのような場面で活用できるか、ポイントとともに示している。
- 3～6年の裏表紙にはSDGsのコーナー、2・3年にはSDGsについて記載したページを設けるとともに、4年に「SDGsブック」として、4ページ分の特集を設けている。

4 意見

広島市教科用図書採択審議会では、本市児童の課題である「筆記具の持ち方や姿勢等の基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させることや、学習内容を各教科の活動に生かすこと」に対応する各教科書の特徴について、広島市教科用図書採択審議会調査員が作成した「令和6年度から使用する小学校用教科用図書の調査・研究報告書」を基に審議した。

意見1 東京書籍の教科書は、本市で使用する教科書としてよりふさわしい。

(理由)

- ・ 「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」「ふり返ろう」「生活に広げよう」という学習過程に沿って、硬筆、毛筆、そして、硬筆の順に学習を進めており、硬筆と毛筆を関連させた指導を行うことができるようにしている。さらに、「生かそう」では、学んだことを他の文字に生かして書くことを促しており、学習内容の定着を図ることができるようにしている。
- ・ 全学年に書く姿勢や筆記具の持ち方、3年以上に右手と左手で書く場合の用具の置き方と扱い方について示している。さらに、1・2年では、左手で書く場合の鉛筆の持ち方を、児童が手を重ねて確認できるように写真で示しており、教科書を参考にして、書く姿勢や筆記具の持ち方を身に付けることができるようにしている。
- ・ 文字を書く時のポイントを「書写のかぎ」と称して、関連するページに短い文で示したり、「書写のかぎ」を生かした学び方を示したりしており、書写で他の文字を学習する時に生かすことができるようにしている。さらに、他教科等に関連する箇所に、リンクマークと教科等名を付しており、身に付けたことを他教科等の学習に生かすことを促している。

意見2 教育出版の教科書は、本市で使用する教科書としてふさわしい。

(理由)

- ・ 「つかむ・考える」「書く・確かめる」「ふり返る」「生かす・広げる」という学習過程を示し、毛筆教材の前後に、硬筆で書く「ためし書き」と「まとめ書き」を設けており、硬筆と毛筆を関連させた指導を行い、学習内容の定着を図ることができるようにしている。
- ・ 全学年に書く姿勢や筆記具の持ち方、3年以上に右手と左手で書く場合の用具の置き方と扱い方について示している。さらに、1・2年では、左手で書く場合の鉛筆の持ち方をイラストと写真で示している。

令和6年度から使用する広島市立小学校用教科用図書の採択について（答申）

教科〔社会〕 種目〔社会〕

令和6年度から使用する小学校用教科用図書の採択について

教科 [社会] 種目 [社会]

1 本市の実態や児童の状況

- 本市には、官公庁や商業施設が集まる地域、工業・農業・漁業等が行われている地域、宅地造成により住宅地が広がる地域、豊かな自然の残る地域、歴史的遺物がある地域など、それぞれに異なる特色をもつ地域がある。また、近年の自然災害の脅威は、本市においても大きな課題となっており、高い防災意識が求められている。社会的事象を学ぶ社会科にとっては、様々な分野の事象を具体的に観察・調査することができる環境にあるため、児童が興味・関心をもちながら学習することができる好条件の市域である。
- 国際平和文化都市である本市で学ぶ児童は、平和に対する意識が総じて高く、平和な社会の実現へ向けて、自分たちにできることを考えようとするすることができる。また、社会的事象への関心が高く、体験的な学習にも積極的に取り組むことができる。しかし、自ら課題を見付けることや身に付けた知識、調べたこと、考えたことをもとに、協働的に学ぶことには課題が見られる。

2 調査・研究の観点と視点

観 点	視 点
<基礎・基本の定着>	① 地域や我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫 ② グローバル化する国際社会で主体的に生きるために必要な知識・技能を身に付けさせる工夫 ③ 社会的事象の見方・考え方を働かせるための工夫
<主体的に学習に取り組む工夫>	④ 学習内容に対する興味・関心を高めるための工夫 ⑤ 課題を追究したり、解決したりする学習を実施するための工夫
<内容の構成・配列・分量>	⑥ 単元や資料等の配列・分量
<内容の表現・表記>	⑦ 本文記述との適切な関連付けがなされた挿絵・写真等の活用 ⑧ 本文以外の記述の工夫 ⑨ 配色や文字の大きさ等の工夫
<言語活動の充実>	⑩ 調べたことや考えたこと、選択・判断したことを適切に表現する力を育成するための工夫

3 各教科書の特徴

1 基礎・基本の定着

視点① 地域や我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫

- 4年「わたしたちの県」では、大単元の最初に47都道府県を取り上げている。
 - ・ 「日本地図を広げて」では、各都道府県の名称と位置、県庁所在地を示している。
 - ・ 「都道府県の特産品」では、各都道府県の特産品を例示している。
 - ・ 「空から日本を見てみると」では、日本の海、山、川、湖等の地形を示している。
 - ・ 各都道府県の形や特色等をカードにし、都道府県名を記入することができるようにしている。
- 5年上「世界の中の国土」では、領土の広がりについて地図と写真で示すとともに、本文でも説明している。領土をめぐる問題については、別ページにおいて、竹島や北方領土、尖閣諸島を取り上げ、地図と写真と文章で示している。
- 6年歴史編「今に伝わる室町文化」では、室町時代に生まれた文化が現在も行われている様子の写真を掲載している。
 - ・ 茶の湯、生け花、壬生の花田植、狂言、能

視点② グローバル化する国際社会で主体的に生きるために必要な知識・技能を身に付けさせる工夫

- 6年政治・国際編「日本とつながりの深い国々」では、アメリカ・中国・フランス・ブラジルを例示し、衣食住、学校の様子や子どもたちの生活、文化やスポーツ、産業等について調べる学習を示している。
- 6年政治・国際編「世界の未来と日本の役割」では、紛争や環境問題等の諸課題について、それらの解決に向けた取組として国際連合(ユニセフ)や持続可能な開発目標(SDGs)、政府開発援助(ODA)、NGO等を取り上げるとともに、単元の最後に「SDGsの17の目標を参考に、世界のさまざまな課題の解決のために、自分たちにできることを考えましょう。」と問いかけ、自分たちにできることを考える学習を示している。

視点③ 社会的事象の見方・考え方を働かせるための工夫

- 「見方・考え方」について、各学年の「学習の進め方」のページに、「社会科の見方・考え方」として、次の①～④を示している。

[参考] 4年生の表記

- ① 広がり注目
- ② 時間に注目
- ③ 関係するところに着目
- ④ くらべる、分ける、まとめる、つなげる

- 側注などで見方・考え方を表すキャラクターのマークを示すとともに、どのような見方・考え方を働かせるのかを主に問いで示している。
- 4年「ごみのしよりと利用」では、側注に「社会科の見方・考え方」を表すマークとともに、「ごみしよりのしくみやくふうと自分たちの生活には、どのようなつながりがあるかな。」等の問いを記述し、見方・考え方を示している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点④ 学習内容に対する興味・関心を高めるための工夫

- 写真やイラスト、グラフなどの様々な資料を用いて、学習内容へ興味・関心を高めている。
- 3年「わたしたちのまち みんなのまち」では、社会科学学習の始まりである大単元の導入として、まちの様子をイラストで示し、身の回りにある社会的事象に興味・関心をもつことができるようにし、「わたしたちのまちは、どのような様子なのでしょう。」につなげている。
- 6年政治・国際編「わたしたちの生活と政治」では、「さまざまな話し合い」と「話し合いで決められたこと」を並べて示し、政治の働きについて興味・関心をもつことができるようにしている。

視点⑤ 課題を追究したり、解決したりする学習を実施するための工夫

- 各学年の最初の単元の中で、問題解決的な「学習の進め方」を学習活動の具体例とともに示している。また、各見開きページの中に「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の言葉とともに、各時間のめあてを示している。
- 4年「自然災害からくらしを守る」では、千葉県のような自然災害(風水害・地震・津波等)を例示し、千葉市の風水害への対策を取り上げた小単元「風水害からくらしを守る」へと展開している。
 - ・ 「つかむ」では、風水害の被害や風水害からくらしを守る人々の働きの概要を把握した後、学習問題「風水害からくらしを守るために、だれが、どのような取り組みをしているのでしょうか。」を設定している。そして、「調べること、調べ方、まとめ方」を示すことで、課題解決への見通しがもてるようにしている。
 - ・ 「調べる」では、千葉県の風水害の歴史、千葉県の取組、千葉市の取組、地域の人々の取組、自助の取組を調べるようにしている。
 - ・ 「まとめる」では、学習問題を再提示し、学習内容を振り返る4人の子どものイラストと吹き出しがあり、自助、共助、公助について図に整理する活動を示した上で、学習問題について自分の考えをノートにまとめる活動を示している。
 - ・ 「いかす」では、マイ・タイムラインをつくることで自分たちの防災行動を考える活動を示している。

・「ひろげる」という形で、地震災害、火山災害についても調べられるようになっている。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑥ 単元や資料等の配列・分量

○ 教科書の総ページ数は、次の通りである。

3年	140ページ
4年	168ページ
5年(上)	124ページ
(下)	128ページ(合計252ページ)
6年(政治・国際編)	112ページ
(歴史編)	160ページ(合計272ページ)

○ 選択可能な教材を目次に示している。各学年において選択可能な教材が示されている単元は、次の通りである。

- 3年 はたらく人とわたしたちの暮らし
- 4年 特色ある地いきと人々の暮らし
- 5年 わたしたちの国土
- 6年 わたしたちの生活と政治

○ 6年歴史編「日本の歴史」は、12の小単元で構成している。飛鳥・奈良時代と平安時代を2つの小単元に分けて構成している。

○ 広島県に関する教材等は次の通りである。

[事例]

- ・ 食料品をつくる工業(ソース工場)(5年下)
- ・ 「平和学習の街ヒロシマ」を訪ねて(6年政治・国際編)
- ・ 日本遺産を調べよう 瀬の浦(6年歴史)
- ・ 被爆前後の広島の写真や平和記念資料館の館長さんの話(6年歴史)

[写真]

- ・ 広島県呉市でつくられた船(5年下)
- ・ 平成26年8月豪雨での土砂災害(5年下)
- ・ 砂防ダムで止まった土石流(5年下)
- ・ 壬生の花田植(6年政治・国際編、6年歴史編)
- ・ 厳島神社(6年歴史編)
- ・ 原爆ドーム(6年歴史編)

4 内容の表現・表記

視点⑦ 本文記述との適切な関連付けがなされた挿絵・写真等の活用

○ 掲載した資料と本文記述に関連をもたせている。

○ 5年「これからの食料生産とわたしたち」では、以下の本文等と同ページの資料との関連を図っている。

・ 写真①「食生活の変化」

→ 本文「ゆうとさんたちは、和食と洋食の写真を見ながら、毎日の食生活について話し合いました。」

・ グラフ②「食料品別の輸入量の変化」

→ 本文「ふだん食べているものの中には、輸入された食料品がたくさんあることが分かりました。」

・ グラフ③「一人1日あたりの食べ物の割合の変化(カロリーベース)」

→ 本文「1960(昭和35)年と2019(令和元)年の1日の食べ物のわりあいの変化を比べてみると、米が減り、肉やその加工品、乳製品などの畜産物がとても増えています。」

視点⑧ 本文以外の記述の工夫

○ 重要な用語を、側注の「ことば」で取り上げ、解説している。

○ 難しい言葉を、側注の「用語解説」で取り上げ、説明している。

○ 「まなびコーナー」を「見る・聞く・ふれる」「読み取る」「表す・伝える」の観点に分け、場面に応じた学習方法を示している。

視点⑨ 配色や文字の大きさ等の工夫

○ カラーユニバーサルデザインに配慮している。

○ ユニバーサルデザインフォントを採用している。

5 言語活動の充実

視点⑩ 調べたことや考えたこと、選択・判断したことを適切に表現する力を育成するための工夫

○ 小単元の終わりには「まとめる」ページがあり、単元の学習問題や学習したキーワードを再掲し、学習したことをまとめるように示している。

○ 6年「わたしたちの暮らしと日本国憲法」の「まとめる」では、日本国憲法の三つの原則と暮らしとのつながり等について表にまとめた上で、話し合うようにしている。

○ 6年「長く続いた戦争と人々の暮らし」の「まとめる」では、戦争が人々に与えた影響について関係図にまとめた上で、話し合うようにしている。

1 基礎・基本の定着

視点① 地域や我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫

- 4年「みりよくがいっぱい！知りたいな、47都道府県」では、47都道府県を取り上げている。
 - ・ 「日本の都道府県の区分」では、各都道府県の名称と位置、県庁所在地を示している。
 - ・ 「地図帳を使って〇〇を調べる」では、特産物、祭り、観光地について、19の道府県に関する写真を例示している。
 - ・ 「47都道府県のクイズ大会を開こう！」という活動を示している。
- 5年「世界の中の日本の国土」では、領土の広がりについて地図と写真で示し、本文では竹島や北方領土、尖閣諸島について説明している。別ページには、竹島と尖閣諸島についての補助資料を掲載している。
- 6年「室町文化と力をつける人々」では、室町時代に生まれた文化が現在も行われている様子の写真を掲載している。
 - ・ 茶の湯、生け花、壬生の花田植、祇園祭、能、狂言

視点② グローバル化する国際社会で主体的に生きるために必要な知識・技能を身に付けさせる工夫

- 6年「日本とつながりの深い国々」では、アメリカ・中国・ブラジル・サウジアラビアを例示し、日本とのつながり、国土や産業の様子、衣食住や学校生活など暮らしの様子、文化や習慣等について調べる学習を示している。
- 6年「地球規模の課題の解決と国際協力」では、難民や環境問題等の諸課題について、それらの解決に向けた取組としてNGOや国際連合（ユニセフ）、持続可能な開発目標（SDGs）、政府開発援助（ODA）等を取り上げるとともに、単元の最後に「世界の人々とともに生きていくために、大切なことを考えよう。」と問いかけ、自分たちにできることを考える学習を示している。

視点③ 社会的事象の見方・考え方を働かせるための工夫

- 「見方・考え方」について、各学年の「社会科で使う見方・考え方」のページに、次の①～⑥を示している。

〔参考〕4年生の表記

- ① 時期や時間の変化
- ② 場所や広がり
- ③ くらべる
- ④ くふうやかかわり
- ⑤ 関連づける
- ⑥ 総合する

- 側注などで「学びのてびき」や児童の吹き出しを用いたり、本文で児童の気付きとして記述したりすることで、どのような見方・考え方を働かせるかを示している。
- 4年「ごみはどこへ」では、本文に「地域のいろいろな人たちが、協力しあって、ごみをへらそうとしているんだね。わたしたちには何ができるだろう。」等の児童の気付きを記述し、見方・考え方を示している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点④ 学習内容に対する興味・関心を高めるための工夫

- 写真やイラスト、グラフなどの様々な資料を用いて、学習内容へ興味・関心を高めている。
- 3年「わたしたちのまちと市」では、社会科学習の始まりである大単元の導入として、まちの様子をイラストで示し、身の回りにある社会的事象に興味・関心をもつことができるようにし、「みんながくらすまちは、どんな様子なのか、調べてみようよ。」につなげている。
- 6年「ともに生きる暮らしと政治」では、オリンピック・パラリンピックを取り上げ、政治の働きについて興味・関心をもつことができるようにしている。

視点⑤ 課題を追究したり、解決したりする学習を実施するための工夫

- 各学年の巻頭に、問題解決的な「社会科の学習の進め方」を最初の単元を例として示している。また、各見開きページの中に「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」の言葉とともに、「この時間の問い」と「次につなげよう」という問いかけを示している。
- 4年「自然災害にそなえるまちづくり」では、全国の様々な自然災害（地震・噴火・大雪・大雨等）を例示し、静岡市の地震災害への対策を取り上げた小単元「地震にそなえるまちづくり」へと展開している。
 - ・ 「つかむ」では、地震災害の歴史、家庭や学校の災害へのそなえを把握した後、「みんなでつくった学習問題」として「わたしたちの地域では、地震や津波にそなえて、だれがどのような取り組みをしているのだろうか。」を設定している。そして、「予想したこと」「調べること」「調べ方」を示すことで、課題解決への見通しがもてるようにしている。
 - ・ 「調べる」では、市役所の取り組み、地震や津波に関する情報、静岡市の防災設備、地域の取組、静岡市以外の防災に関する取組事例を調べるようにしている。
 - ・ 「まとめる」では、学習問題を再提示し、学習を振り返る4人の子どものイラストと吹き出しがあり、だれが、どのような取組をしているのか表に整理する活動を示した上で、学習問題について自分の考えをノートにまとめる活動を示している。
 - ・ 「つなげる」では、地震や津波への備えについて、標語をつくる活動を示している。
 - ・ 「せんたく」という形で、水害、火山災害、雪害についても調べられるようになっていく。水害に関しては、「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」の学習展開となっている。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑥ 単元や資料等の配列・分量

- 教科書の総ページ数は、次の通りである。

3年	176ページ
4年	216ページ
5年	260ページ
6年	296ページ
- 選択可能な教材を目次に示している。各学年において選択可能な教材が示されている単元は、次の通りである。
 - 3年 はたらく人とわたしたちの暮らし
 - 4年 健康なくらしとまちづくり
自然災害にそなえるまちづくり
昔から今へと続くまちづくり
わたしたちの県のまちづくり
 - 5年 日本の国土とわたしたちの暮らし
未来を支える食糧生産
未来をつくり出す工業生産
未来とつながる情報
 - 6年 とともに生きる暮らしと政治
- 6年「日本の歴史」は、11の小単元で構成している。飛鳥・奈良・平安時代を1つの小単元として構成している。
- 広島県に関する教材等は次の通りである。

[事例]

- ・ 「47都道府県のクイズ大会を開こう！」での「つくったカード(例)」(4年)
- ・ 広島の平和記念式典(6年)
- ・ 原子爆弾の投下前後の広島(6年)
- ・ 子どもたちの誓いー広島から世界へ向けて(6年)

[写真]

- ・ いどうはんばい車で買い物をするお年寄り(3年)
- ・ 大雨による土砂くずれ(5年)
- ・ 地震のゆれに強くする改修を進める、新幹線の線路の柱(5年)
- ・ 2015(平成27)年に完成した砂防ダム(5年)
- ・ 原爆ドーム(5年、6年)
- ・ 厳島神社(5年、6年)
- ・ 壬生の花田植(6年)
- ・ 広島平和記念公園をおとずれたアメリカのオバマ大統領(当時)(6年)

4 内容の表現・表記

視点⑦ 本文記述との適切な関連付けがなされた挿絵・写真等の活用

- 掲載した資料と本文記述に関連をもたせている。
- 5年「これからの食料生産」では、以下の本文等と同ページの資料との関連を図っている。
 - ・ グラフア「さまざまな食料の輸入の割合」
→ 吹き出し「大豆は、輸入したものがほとんどなんだね。みそやしょうゆの原料なのに…。」
 - ・ 地図ウ「日本が食料を輸入している主な相手先」
→ 本文「交通の発達や冷凍技術の進歩によって、遠い外国からでも新鮮なまま食料を運べるようになり、食料の輸入は増えてきました。」
 - ・ グラフエ「主な食料の生産量の変化」
グラフオ「主な食料の自給率の変化」
→ 吹き出し「エとオを見ると、生産量も自給率も下がっている食料がいくつもあるね。」

視点⑧ 本文以外の記述の工夫

- 重要な用語を、側注の「キーワード」で取り上げ、解説している。
- 難しい言葉を、側注の「解説」で取り上げ、説明している。
- 「学びのてびき」を「集める」「読み取る」「表す」の観点に分け、場面に応じた学習方法を示している。

視点⑨ 配色や文字の大きさ等の工夫

- カラーユニバーサルデザインに配慮している。
- ユニバーサルデザインフォントを採用している。

5 言語活動の充実

視点⑩ 調べたことや考えたこと、選択・判断したことを適切に表現する力を育成するための工夫

- 小単元の終わりには「まとめる」ページがあり、単元の学習問題や学習したキーワードを再掲し、学習したことをまとめるように示している。
- 6年「憲法とわたしたちの暮らし」の「まとめる」では、三権分立の図をもとに、国民が意見を政治に反映させる仕組みについてレポートにまとめた上で、説明するようにしている。
- 6年「戦争と人々の暮らし」の「まとめる」では、戦争中の出来事をリーフレットにまとめた上で、学習して考えたことをノートに書くようにしている。

1 基礎・基本の定着

視点① 地域や我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫

- 4年「日本の47都道府県を旅してみよう」では、47都道府県を取り上げている。
 - ・ 「れんさんたちが調べた都道府県の特徴」では、食べ物、工芸品、工業製品、文化財、祭りなどについて19の都道府県に関する写真を例示している。
 - ・ 各都道府県の位置を示した地図を掲載し、地方区分ごとに、都道府県名を記入することができるようにしている。
- 5年「世界から見た日本」では、領土の広がりについて地図と写真で示すとともに、本文でも説明している。領土をめぐる問題については、別ページにおいて、竹島や北方領土、尖閣諸島を取り上げ、地図と写真と文章で示している。
- 6年「今に伝わる室町の文化と人々の暮らし」では、室町時代に生まれた文化が現在も行われている様子の写真を掲載している。
 - ・ 祇園祭、茶の湯、壬生の花田植、能、狂言

視点② グローバル化する国際社会で主体的に生きるために必要な知識・技能を身に付けさせる工夫

- 6年「日本とつながりの深い国々」では、アメリカ・中国・ブラジル・韓国を例示し、日本とのつながり、国土の特徴、人々の生活の様子等について調べる学習を示している。
- 6年「世界が抱える問題と日本の役割」では、紛争や環境問題等の諸課題について、それらの解決に向けた取組として国際連合（ユニセフ）やNGO、持続可能な開発目標（SDGs）、青年海外協力隊、国境なき医師団等を取り上げるとともに、単元の最後に「世界の人々とともに生きていくために、日本は、どのような役割をはたせばよいのだろう。」と問いかけ、日本が行っている国際協力について心に残ったことや世界における日本の役割について考えたことを話し合う学習を示している。

視点③ 社会的事象の見方・考え方を働かせるための工夫

- 「見方・考え方」について、各学年の「教科書の中のいろいろなコーナー」のページに、「見方・考え方」として、次の①～③を示している。

〔参考〕4年生の表記

- ① 空間
- ② 時間
- ③ 関係

- 側注などで見方・考え方を表すマークと言葉を示すとともに、どのような見方・考え方を働かせるかを主に問いで示している。
- 4年「ごみのしゅりと活用」では、側注に「見方・考え方」を表すマークとともに、「うめ立て場をつくるためのむずかしい問題について、いろいろな立場に着目して考えてみよう。」という問いを記述し、見方・考え方を示している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点④ 学習内容に対する興味・関心を高めるための工夫

- 写真やイラスト、グラフなどの様々な資料を用いて、学習内容へ興味・関心を高めている。
- 3年「わたしたちの住んでいるところ」では、社会科学習の始まりである大単元の導入として、姫路市の航空写真を示し、身の回りにある社会的事象を発見できるようにし、「これから、自分たちの市について学習していきます。市には、どのような場所があってどのようなちがいがいいのか、調べてみましょう。」につなげている。
- 6年「わが国の政治のはたらき」では、ユニバーサル都市をめざす福岡市の取組の写真と航空写真を示し、政治の働きについて興味・関心をもつことができるようにしている。

視点⑤ 課題を追究したり、解決したりする学習を実施するための工夫

- 各学年の巻頭に、問題解決的な「社会科の学習の進め方」を最初の単元を例として示している。また、各見開きページの中に「問題を発見する力を身につけよう」「問題を追究・解決する力を身につけよう」「問題をほりさげ、よりよい未来をつくる力を身につけよう」の言葉とともに、「わたし（たち）の問題」を示している。
- 4年「自然災害から人々を守る活動」では、東京都の様々な自然災害（噴火・土砂災害・地震・高潮・竜巻等）を例示し、東京都の風水害への対策を取り上げた小単元「自然災害から命を守る」へと展開している。
 - ・ 「問題を発見する力を身につけよう」では、風水害の被害や風水害からくらしを守る取組の概要を把握した後、学習問題「風水害から人々の命を守るために、どのようにくふうや努力があるのだろうか。」を設定している。そして、「調べたいこと」「調べ方」「まとめ方」を示すことで、課題解決への見通しがもてるようにしている。
 - ・ 「問題を追究・解決する力を身につけよう」では、風水害を防ぐ施設、救助に関わる人々、防災情報の活用、地域の取組を調べるようにしている。
 - ・ 「問題を追究・解決する力を身につけよう」の最後に、風水害対策について関係図を整理したり、地域の防災関係者に手紙を書いたりする活動を示した上で、学習問題について自分の考えをワークシートにまとめる活動を示している。
 - ・ 「問題をほりさげ、よりよい未来をつくる力を身につけよう」では、「さらに考えたい問題」として、「災害にそなえて、わたしたちはどのようなことができるだろう。」を設定し、防災館での体験や防災に関するホームページをもとに、自分たちにできる防災対策について考えを深める活動を示している。

- ・ 「せんたく」という形で、地震災害、津波災害を調べられるようになっている。
- ・ 「学習資料」という形で、火山災害、雪害についても調べられるようになっている。
- ・ 「未来につなげる～わたしたちのSDGs～」という形で、家のまわりのハザードマップをつくる活動を示している。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑥ 単元や資料等の配列・分量

- 教科書の総ページ数は、次の通りである。

3年	166ページ
4年	212ページ
5年	288ページ
6年	282ページ
- 選択可能な教材を目次に示している。各学年において選択可能な教材が示されている単元は、次の通りである。
 - 3年 わたしたちのくらしとまちではたらく人びと
 - 4年 自然災害から人々を守る活動
 - 5年 日本の国土と人々のくらし
わたしたちの食生活を支える食料生産
情報化社会に生きるわたしたち
 - 6年 わが国の政治のはたらき
- 6年「日本のあゆみ」は、12の小単元で構成している。飛鳥・奈良時代と平安時代を2つの単元に分けて構成している。
- 広島県に関する教材等は次の通りである。

[事例]

 - ・ 工業生産のこれからのSDGsの問題～東広島市の取り組み～(5年)
 - ・ 平和記念式典のようす、平和への誓いを読みあげる小学生(6年)
 - ・ 自然災害からの復旧や復興の取り組み(6年)
 - ・ 原爆が落とされた直後の広島のようす(6年)

[写真]

 - ・ かき(4年)
 - ・ 豪雨による土石流の被害(5年)
 - ・ 砂防ダム(5年)
 - ・ 厳島神社(6年)
 - ・ 壬生の花田植(6年)
 - ・ 原爆ドームをおとずれる外国人(6年)
 - ・ 被爆ピアノを調律する矢川さん(6年)

4 内容の表現・表記

視点⑦ 本文記述との適切な関連付けがなされた挿絵・写真等の活用

- 掲載した資料と本文記述に関連をもたせている。
- 5年「これからの食料生産」では、以下の本文等と同ページの資料との関連を図っている。
 - ・ 地図①「おもな食料の輸入先と輸入量のわりあい」
→ 本文「①の資料を見ると、小麦や大豆は、その多くを輸入にたよっているね。」
 - ・ グラフ③「日本のおもな食料の自給率のうつり変わり」
→ 本文「③のグラフを見てみると、50年ほど前と比べて、特にくだものや肉類、魚かい類の食料自給率が低くなっているよ。」
 - ・ グラフ④「1人1日あたりのおもな食料の消費量の変化」
写真⑤「食生活の変化」
→ 本文「④のグラフを見ると、米の消費量が、50年前と比べて半分ほどに減っているね。⑤のように、今はごはんだけでなく、パンやめんなどもよく食べているからかな。」

視点⑧ 本文以外の記述の工夫

- 重要な用語を、側注の「キーワード」で取り上げ、解説している。
- 難しい言葉を、側注の「むずかしい言葉」で取り上げ、説明している。
- 「学び方・調べ方コーナー」を「見る・調べる」「読み取る」「表現する」の観点に分け、場面に応じた学習方法を示している。

視点⑨ 配色や文字の大きさ等の工夫

- カラーユニバーサルデザインに配慮している。
- ユニバーサルデザインフォントを採用している。

5 言語活動の充実

視点⑩ 調べたことや考えたこと、選択・判断したことを適切に表現する力を育成するための工夫

- 小単元の終わりには、学習問題を意識させる文章と学習者が対話をするイラストを掲載し、学習したことをまとめるように示している。
- 6年「日本国憲法と政治のしくみ」では、三権分立や日本国憲法の三つの原則等について、図や表、プレゼンテーション等の発表資料にまとめた上で、話し合うようにしている。
- 6年「アジア・太平洋に広がる戦争」では、これまで学習したことを新聞にまとめた上で、なぜ日本が戦争をしたのかについて話し合うようにしている。

4 意見

広島市教科用図書採択審議会では、本市児童の課題である「自ら課題を見付けることや身に付けた知識、調べたこと、考えたことをもとに、協働的に学ぶこと」に対応する各教科書の特徴について、広島市教科用図書採択審議会調査員が作成した「令和6年度から使用する小学校用教科用図書の調査・研究報告書」を基に審議した。

意見1 東京書籍の教科書は、本市で使用する教科書としてよりふさわしい。

(理由)

- ・ 見開きページに、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」という問題解決的な学習の過程を示している。また、各学年の最初の単元の中で、問題解決的な「学習の進め方」を学習活動の具体例とともに示し、児童が自ら課題を見付け、見通しをもって学習を進めることができるようにしている。
- ・ 広島市を取り上げた事例として、「『平和学習の街ヒロシマ』を訪ねて」（6年）を見開きページで設け、平和記念式典やヒロシマからの平和発信等について、写真や年表、文章で示すとともに、「平和への誓い」を掲載している。
- ・ 言語活動について、活動の手順や書き込みやすいワークシート例を示しており、児童自らが身に付けた知識、調べたこと、考えたことを基に、表現することができるようにしている。

意見2 教育出版の教科書は、本市で使用する教科書としてふさわしい。

(理由)

- ・ 見開きページに、「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」という問題解決的な学習の過程を示している。また、各学年の巻頭に、最初の単元を例として、問題解決的な「学習の進め方」を示している。
- ・ 広島市を取り上げた事例として、見開きページで「平和への誓い」（6年）を写真や文章とともに掲載している。
- ・ 言語活動について、活動の手順やリーフレットの作品例を示しており、児童自らが身に付けた知識、調べたこと、考えたことを基に、表現することができるようにしている。

令和6年度から使用する広島市立小学校用教科用図書の採択について（答申）

教科〔社会〕 種目〔地図〕

令和6年度から使用する小学校用教科用図書の採択について

教科 [社会] 種目 [地図]

1 本市の実態や児童の状況

- 本市には、官公庁や商業施設が集まる地域、工業・農業・漁業等が行われている地域、宅地造成により住宅地が広がる地域、豊かな自然の残る地域、歴史的遺物がある地域など、それぞれに異なる特色をもつ地域がある。また、近年の自然災害の脅威は、本市においても大きな課題となっており、高い防災意識が求められている。社会的事象を学ぶ社会科にとっては、様々な分野の事象を具体的に観察・調査することができる環境にあるため、児童が興味・関心をもちながら学習することができる好条件の市域である。
- 国際平和文化都市である本市で学ぶ児童は、平和に対する意識が総じて高く、平和な社会の実現へ向けて、自分たちにできることを考えようとするすることができる。また、社会的事象への関心が高く、体験的な学習にも積極的に取り組むことができる。しかし、自ら課題を見付けることや身に付けた知識、調べたこと、考えたことをもとに、協働的に学ぶことには課題が見られる。

2 調査・研究の観点と視点

観 点	視 点
<基礎・基本の定着>	① 地図の見方や活用の仕方を定着させるための工夫 ② 地域や我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫
<主体的に学習に取り組む工夫>	③ 興味・関心を高めるための工夫 ④ 課題を追究したり、解決したりする学習を実施するための工夫
<内容の構成・配列・分量>	⑤ 地図や資料等の配列
<内容の表現・表記>	⑥ 学習内容との適切な関連付けがなされた挿絵・写真等の活用 ⑦ 配色や文字の大きさ等の工夫
<言語活動の充実>	⑧ 調べたことや考えたこと、選択・判断したことを適切に表現する力を育成するための工夫

3 各教科書の特徴

1 基礎・基本の定着

視点① 地図の見方や活用の仕方を定着させるための工夫

- 地図帳の導入にあたるページを2ページ設け、まちの様子をイラストと地図で示している。
- 「地図のきまり」を4ページ設け、方位、地図記号、凡例、距離、地形表現についてイラストを使って説明し、地図の見方を示している。
- 「地図帳の使い方」を2ページ設け、凡例、索引、縮尺についてイラストを使って説明し、地図の活用の仕方を説明している。

視点② 地域や我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫

- 「日本とそのまわり」では、日本の国土の広がりについて、排他的経済水域の説明とあわせて示している。また、東西南北の端にある島の写真を掲載している。さらに、尖閣諸島、竹島については、別ページに写真を掲載している。
- 「日本の歴史」では、年表、地図、イラストを用いて、歴史上の主な出来事や各時代における国名、日本と世界とのかかわり等について示している。
- 「日本の自然災害」では、日本で起きた主な自然災害の発生場所を地図上に示すとともに、噴火・地震・洪水・土砂災害・大雪・津波による被害の様子について写真を掲載している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点③ 興味・関心を高めるための工夫

- オリジナルのキャラクターの吹き出しで地図の使い方や大切なポイント、地図を見ての気付きや疑問などを掲載している。
- 「地図のぼうけんに出発! World Map」では、「世界のみんなに『ありがとう!』」と題して、15か国の「ありがとう」を紹介している。
- 「ホップステップマップでジャンプ!」を全70問掲載し、記号やイラスト、位置や空間的な広がり等に着眼させる問いを示している。

視点④ 課題を追究したり、解決したりする学習を実施するための工夫

- 全般にわたって、「ホップステップマップでジャンプ!」で、作業や地図に書かれている情報を読み取る問いを、レベルを3段階に分けて設定している。
(例) レベル1 「方位じしんの色のついた針はどの方位をさすかな。」
レベル2 「これは博士の朝ごはんです。この食材はどこの国から来たものか、この地図から探してみよう。」
レベル3 「実際のわたしたちは、まほうで飛んでまちを見ることはできません。では、どのようにして、高いところから見たまちの様子を知ればよいか考えてみよう。」
- 「世界全図と地球儀」では、「地球儀を使って調べる」として、紙テープやトレーシングペーパーを使って、方位や距離、土地の大きさや形を調べる方法を写真入りで掲載し、地球儀と地図を比較する学習を例示している。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑤ 地図や資料等の配列

- 総ページ数：102ページ
 - ・ 「南西諸島」「九州地方」に関するページ：6ページ
 - ・ 「中国地方」「四国地方」に関するページ：4ページ
 - ・ 「近畿地方」に関するページ：6ページ
 - ・ 「中部地方」に関するページ：6ページ
 - ・ 「関東地方」に関するページ：6ページ
 - ・ 「東北地方」に関するページ：3ページ
 - ・ 「北海道地方」に関するページ：2ページ
- 日本とその周りを見渡す地図に始まり、日本の地方図と都市圏図、世界全図、世界の各地方図、資料地図、統計表、索引の順で配列している。
- 資料地図については、自然、産業、貿易、歴史の順で構成されている。

4 内容の表現・表記

視点⑥ 学習内容との適切な関連付けがなされた挿絵・写真等の活用

- 北方領土については、写真を掲載し、関係国が「不法に占拠を続けており、日本は一貫して返還を求めています。」と文章でも示している。
- 竹島については、写真を掲載し、「日本固有の領土ですが」、関係国に「不法に占拠され、日本は抗議を行っています。」と文章でも示している。
- 尖閣諸島については、写真を掲載し、「日本固有の領土です。」と文章でも示している。
- 世界の州別地図では、動物や料理等を写真やイラストで紹介している。

視点⑦ 配色や文字の大きさ等の工夫

- 「日本の都道府県の統計」では、地方別に色分けをして示すとともに、統計1～5位の数値を赤字で示している。
- ユニバーサルデザインフォントを採用している。
- 色覚特性のある児童にも判別しやすくするために、「畑」「果樹園」「森林(公園)」の凡例には、色に加え

て地紋を入れている。

○ 表紙に、世界の人々のイラストと自然遺産や文化遺産等の写真を掲載している。

5 言語活動の充実

視点⑧ 調べたことや考えたこと、選択・判断したことを適切に表現する力を育成するための工夫

○ 「日本の自然災害」では、「宮城県南三陸町志津川地区のハザードマップ」とともに、「①どこで、どんな災害が起こりやすいか」、「②ひなんする場所とそこまでの道のりを確認しておこう。」と自分の地域のハザードマップで確認する点を文章で示している。

○ 「ホップ・ステップ・マップでジャンプ」において、次のような表現活動を示している。

- ・ オリジナルの地図記号を考えてみよう。
- ・ 日本海側の冬と太平洋側の冬とでは、どのようなちがひがあるのか考えよう。

1 基礎・基本の定着

視点① 地図の見方や活用の仕方を定着させるための工夫

- 地図帳の導入にあたるページを4ページ設け、学校のまわりの様子やまちの様子をイラスト、写真、地図で示している。
- 「地図のやくそく」を6ページ設け、方位、地図記号、土地利用についてイラストと写真を使って説明し、地図の見方を示している。
- 「地図帳の使い方」を4ページ設け、凡例、索引、縮尺、距離についてイラストを使って説明し、地図の活用の仕方を説明している。

視点② 地域や我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫

- 「日本の領土とそのまわり」では、日本の国土の広がりについて、排他的経済水域の説明とあわせて示している。また、東西南北の端にある島及び北方領土(国後島)、竹島、尖閣諸島の写真を掲載している。
- 「日本の歴史」では、年表、地図、イラストを用いて、歴史上の主な出来事や昔の国名等について示している。また、別ページに、「江戸時代の結びつき」として、東海道をはじめとした、江戸時代の五街道に関する地図を、歌川広重の東海道五十三次の絵とともに掲載している。
- 「日本の自然災害と防災(1)」では、日本で起きた主な噴火や地震の発生場所を地図上に示すとともに、地震・津波・噴火・大雨・大雪による被害の様子について写真を掲載している。また、「日本の自然災害と防災(2)」では、各地の防災の取組等を掲載している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点③ 興味・関心を高めるための工夫

- オリジナルのキャラクターの吹き出して地図の使い方や大切なポイント、地図を見ての気付きや疑問などを掲載している。
- 「地図で世界発見！」のページでは、「世界の国からこんにちは！」と題して、11か国の「こんにちは」を紹介している。
- 「地図マスターへの道」を全100問掲載し、記号やイラスト、位置や空間的な広がりに着目させる問いを示している。
- 「中国地方」とは別に、「瀬戸内海周辺」のページを設け、広島・岡山・愛媛・香川を中心とした縮尺50万分の1の地図とともに、広島市の拡大図を掲載し、原爆による被害状況等についても示している。

視点④ 課題を追究したり、解決したりする学習を実施するための工夫

- 全般にわたって、「発見しよう」「トライ！」で、地図に親しむことができる作業や問いを設定したり、「地図マスターへの道」で、地図に書かれている情報を読み取る問いを、レベルを3段階に分けて設定したりしている。
- (例) レベル1 「21ページで、沖縄県にある水族館をさがしてみよう。」
- レベル2 「22ページで、福岡市から鹿児島市まで、新幹線の線路(地図記号)を指でたどってみよう。」
- レベル3 「野辺山原で高原野菜づくりがさかんな理由を説明してみよう。」
- 「世界と地球儀」では、「地球儀を使おう」として、紙テープやトレーシングペーパーを使って、方位や距離、面積、形を調べる方法を写真入りで掲載し、地球儀と地図を比較する学習を例示している。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑤ 地図や資料等の配列

- 総ページ数：132ページ
 - ・ 「南西諸島」「九州地方」に関するページ：6ページ
 - ・ 「中国地方」「四国地方」に関するページ：6ページ
 - ・ 「近畿地方」に関するページ：10ページ
 - ・ 「中部地方」に関するページ：6ページ
 - ・ 「関東地方」に関するページ：11ページ
 - ・ 「東北地方」に関するページ：3ページ
 - ・ 「北海道地方」に関するページ：4ページ
- 日本の複数の地方を広く見渡す地図に始まり、日本とその周りを見渡す地図、日本の地方図と都市圏図、世界全図、世界の各地方図、資料図、統計、索引の順で配列している。
- 資料図については、自然、自然災害、産業、貿易等、歴史の順で構成されている。

4 内容の表現・表記

視点⑥ 学習内容との適切な関連付けがなされた挿絵・写真等の活用

- 北方領土については、写真を掲載し、「日本固有の領土ですが」、関係国が「不法に占拠しています。」と文章でも示している。
- 竹島については、写真を掲載し、「日本固有の領土ですが」、関係国が「不法に占拠しています。」と文章でも示している。
- 尖閣諸島については、写真を掲載し、「日本固有の領土です。」と文章でも示している。
- 世界の州別地図では、「集まれ!世界の子どもたち」「世界のSDGs」として、その国の文化や特徴、取組等を写真とともに紹介している。

視点⑦ 配色や文字の大きさ等の工夫

- 「日本の統計」では、地方別に色分けをして示すとともに、統計1位の数値を赤太字、2～5位を赤字で示し

帝 国 書 院	<p>ている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザインフォントを採用している。 ○ 色覚特性のある児童にも判別しやすくするために、「田」、「畑」、「建物が密集しているところ」、「公園や緑地」、「果樹園」、「山地（や丘陵地）」、「森林」、「牧草地」の凡例には、色に加えて地紋を入れている。 ○ 表紙に世界地図のイラストを掲載するとともに、「3・4・5・6年」と対象学年を表記している。 <p>5 言語活動の充実</p> <p>視点⑧ 調べたことや考えたこと、選択・判断したことを適切に表現する力を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「日本の自然災害と防災(2)」では、「防災マップづくり」として、防災マップの作品例を掲載するとともに、防災マップの作成から発表までの手順を示し、表現活動を例示している。 ○ 「地図マスターへの道」において、次のような表現活動を示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 気仙沼湾で養殖業が盛んな理由を説明してみよう。 ・ 1月に日本海側で降水量が多い理由を説明してみよう。
------------------	---

4 意見

広島市教科用図書採択審議会では、本市児童の課題である「自ら課題を見付けることや身に付けた知識、調べたこと、考えたことをもとに、協働的に学ぶこと」に対応する各教科書の特徴について、広島市教科用図書採択審議会調査員が作成した「令和6年度から使用する小学校用教科用図書の調査・研究報告書」を基に審議した。

意見1 帝国書院の教科書は、本市で使用する教科書としてよりふさわしい。

(理由)

- ・ 「地図のやくそく」や「地図帳の使い方」などの地図帳の導入にあたるページを14ページ設け、地図の見方、方位、地図記号、索引、縮尺等について大きなイラストや写真、地図等を使って説明し、地図帳の入門期となる3年生の児童でも地図を活用するための基礎的な力を身に付けることができるようにしている。
- ・ 100万分の1の「中国地方」「四国地方」の地図に加え、50万分の1の「瀬戸内海周辺」を拡大した地図を示すことで、児童が身近な地域に興味・関心をもちながら地図を活用し、自ら課題を見付けたり、調べたりすることができるようにしている。
- ・ 表現活動の工夫として、「防災マップづくり」の手順を示したり、「地図マスターへの道」において、地図から読み取ることができる内容について「～を説明してみよう。」などと示したりすることで、調べたことや考えたことを表現することができるようにしている。

意見2 東京書籍の教科書は、本市で使用する教科書としてふさわしい。

(理由)

- ・ 「地図のきまり」や「地図帳の使い方」などの地図帳の導入にあたるページを8ページ設け、地図の見方、方位、地図記号、索引、縮尺等についてイラストや地図等を使って説明し、児童が地図を活用するための基礎的な力を身に付けることができるようにしている。
- ・ 100万分の1の「中国地方」「四国地方」の地図を示している。
- ・ 表現活動の工夫として、「ホップステップマップでジャンプ!」において、オリジナルの地図記号を考える活動や地図から読み取ることができる内容について「～を考えてみよう。」などと示している。

令和6年度から使用する広島市立小学校用教科用図書の採択について（答申）

教科〔算数〕 種目〔算数〕

令和6年度から使用する小学校用教科用図書採択について

教科 [算 数] 種目 [算 数]

1 本市の実態や児童の状況

- 本市では、児童の思考力・判断力・表現力等を高めるために、めあてを明確にし、数学的に問題を解決する過程に重点をおいた授業づくりに取り組んでいる。また、「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、問題解決学習が形式的にならないように、取組を進めている。
- 令和4年度全国学力・学習状況調査によると、算数科における本市の平均正答率は65%（全国平均63.2%）で、全ての領域において全国平均を上回っている。また、正答率30%未満の児童の割合は7.3%（全国8.9%）であり、全国より低い結果となっている。しかし、「変化と関係」の領域について、本市の平均正答率は53.1%（全国平均51.3%）であり、数量が変わっても割合は変わらないことを理解すること（本市の平均正答率22.9%、全国平均21.4%）に課題がある。
また、観点別では、「知識・技能」（本市の平均正答率69.2%、全国平均68.2%）に比べ「思考・判断・表現」（本市の平均正答率58.8%、全国平均56.7%）の平均正答率が低くなっている。また、児童質問紙調査において「算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか」という質問に対する本市の肯定的回答は、68.9%（全国69.3%）と全国を下回っており、学習したことを日常生活に結び付けて考えることに課題がある。

2 調査・研究の観点と視点

観 点	視 点
<基礎・基本の定着>	① 基礎的・基本的な知識及び技能の定着のための工夫 ② 補充的な学習の取扱い
<主体的に学習に取り組む工夫>	③ 見通しをもって数学的活動を行うための工夫 ④ 日常の事象から見いだした問題を解決する活動の工夫
<内容の構成・配列・分量>	⑤ 全体の配列・分量と単元の構成
<内容の表現・表記>	⑥ 挿絵・写真・図表等の資料の活用の工夫 ⑦ 配色や文字の大きさ等の工夫
<言語活動の充実>	⑧ 問題解決の過程や自分の考えを表現し伝え合う活動の工夫

3 各教科書の特徴

1 基礎・基本の定着

視点① 基礎的・基本的な知識及び技能の定着のための工夫

- 2年下「かけ算(2)九九をつくろう」
 - ・ アレイ図を基に九九を構成する学習を設定している。
 - ・ 6～9の段の答えを求めて記入する欄がある。
 - ・ 九九を見直す学習を設定している。
 - ・ 巻末に操作用のアレイ図がある。
- 6年
巻末に数直線の図のかき方を掲載している。

視点② 補充的な学習の取扱い

- 巻末に掲載している補充問題のページ数(ほじゅうのもんだい)
2年上: 8ページ 2年下: 4ページ 3年上: 7ページ 3年下: 5ページ
4年上: 8ページ 4年下: 8ページ 5年上: 9ページ 5年下: 6ページ 6年: 10ページ
総ページ数: 65ページ

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点③ 見通しをもって数学的活動を行うための工夫

- 巻頭に「学びのとびら」として学習の進め方を示している。
- 単元末にその単元で大切にしたい見方・考え方を確かめる問題を掲載した特設ページを設けている。

視点④ 日常の事象から見いだした問題を解決する活動の工夫

- 1年下「おおきい・かず」
単元の導入場面において、ひまわりやあさがおの種の数を数える学習を設定している。
- 5年下「割合～比べ方を考えよう(2)～」
単元の導入場面において、4人のバスケットボールのシュートの記録から、いちばんよく成功したといえるのはだれかを考える学習を設定している。
- 6年「データの調べ方～データの特ちょうを調べて判断しよう～」
 - ・ 単元の導入場面において、6年1組、2組、3組の、長縄の8の字跳びのデータから、縄跳び大会でどこが優勝するか予想する学習を設定している。
 - ・ 単元末に、統計的な問題解決の手順に関する内容を掲載している。また、学年末に「データを使って生活を見なおそう」という小単元を設け、統計的な問題解決の手順を活用する学習を設定している。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑤ 全体の配列・分量と単元の構成

- 単元数
1年: 18単元 2年: 17単元 3年: 18単元
4年: 14単元 5年: 18単元 6年: 13単元
- ページ数
1年上: 40ページ 1年下: 129ページ 2年上: 132ページ 2年下: 117ページ
3年上: 151ページ 3年下: 127ページ 4年上: 155ページ 4年下: 151ページ
5年上: 149ページ 5年下: 145ページ 6年: 269ページ
- 仕様
1年上: 判型A4判 それ以外: 判型B5判
- 単元の構成
 - ① 単元のプロローグ
 - ② 毎時の学習
 - ③ 学習のしあげ
 - ・ いかしてみよう
 - ・ たしかめよう
 - ・ つないでいこう算数の目～大切な見方・考え方

4 内容の表現・表記

視点⑥ 挿絵・写真・図表等の資料の活用の工夫

【挿絵・図の扱い】

- 2年下「分けた大きさのあらかわじ方をしらべよう」
 - ・ 単元の導入場面では、2種類(サンドイッチ、ピザ)のイラストを掲載している。
 - ・ 実際に半分に分ける場面では、写真や折り紙のイラストを掲載している。
 - ・ 同じ数ずつ分ける場面では、チョコレートの写真とドット図を用いて考える学習を設定している。

【図表等の資料の活用】

- 5年下「比べ方を考えよう(1)」
単位量当たりの大きさを比較する学習では、ドットを用いた図、表、数直線を掲載している。
- 5年下「比べ方を考えよう(2)」
割合に関する学習では、テープ図、表、数直線を掲載している。

視点⑦ 配色や文字の大きさ等の工夫

- 配色・文字
 - ・ カラーユニバーサルデザインに配慮している。
 - ・ ユニバーサルデザインフォントを採用している。
- 3年上「同じ数ずつ分けるときの計算を考えよう」
除法の式の意味を1色で示している。

5 言語活動の充実

視点⑧ 問題解決の過程や自分の考えを表現し伝え合う活動の工夫

- 6年「比例の関係をくわしく調べよう」
問題解決の過程や自分の考えを表現し伝え合う際のポイントを示している。

問題をつかもう。

- ・ 今日はどんな問題かな。
- ・ どのように考えれば解決できるかな。
- ・ 今まで学習したことで、使えることはないかな。

自分の考えをかき表そう。

- ・ ほかの人が見てもわかるかな。
- ・ 別の求め方でも考えてみよう。

友だちと学ぼう。

- ・ 表や式から、友だちの考えがわかるかな。
- ・ 自分の考えと似ているところやちがうところはどこかな。
- ・ 友だちの考えのいいところはどこかな。

ふり返ってまとめよう。

- ・ 考えの共通しているところはどんなところかな。
- ・ 今日の学習でどんなことがわかったかな。
- ・ どんな考えが役に立ったかな。

1 基礎・基本の定着

視点① 基礎的・基本的な知識及び技能の定着のための工夫

- 2年「かけ算九九つくり かけ算九九をつくろう」
 - ・ アレイ図を基に九九を構成する学習を設定している。
 - ・ 6・7の段の答えを求めて記入する欄がある。
 - ・九九を覚える学習を設定している。
- 6年
巻末に数直線の図のかき方を掲載している。

視点② 補充的な学習の取扱い

- 巻末に掲載している補充問題のページ数（プラス・ワン）
2年：13ページ 3年：11ページ 4年：13ページ 5年：16ページ 6年：13ページ
総ページ数：66ページ

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点③ 見通しをもって数学的活動を行うための工夫

- 巻頭に「算数の学び方」として学習の進め方を示している。
- 巻頭に見方・考え方をまとめて示している。単元末にその単元で大切にしたい見方・考え方を確かめる問題を掲載している。

視点④ 日常の事象から見いだした問題を解決する活動の工夫

- 1年下「大きなかず」
単元の導入場面において、おはじきの数を数える学習を設定している。
- 5年「割合～比べ方を考えよう～」
単元の導入場面において、ドッジボール大会でこれまでの4チームの試合数と勝った試合数の記録から、現時点での成績を比べる学習を設定している。
- 6年「データの活用～データの特ちょうを調べよう～」
 - ・ 単元の導入場面において、10年前と今年の6年1組の人が、5月に借りた本の冊数のデータから、どちらの方が本をよく借りているといえるかを考える学習を設定している。
 - ・ 単元末に、統計的な問題解決の手順に関する内容を掲載している。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑤ 全体の配列・分量と単元の構成

- 単元数
1年：20単元 2年：17単元 3年：18単元
4年：15単元 5年：18単元 6年：13単元
- ページ数
1年上：41ページ 1年下：141ページ 2年：251ページ 3年：271ページ
4年：295ページ 5年：293ページ 6年：273ページ
- 仕様
1年上：判型A4判 それ以外：判型B5判
- 単元の構成
 - ① 単元導入
 - ② 毎時の学習
 - ③ たしかめ問題
 - ・ しっかりチェック
 - ・ 単元全体をふりかえろう
 - ④ 学んだことを生かそう

4 内容の表現・表記

視点⑥ 挿絵・写真・図表等の資料の活用の工夫

【挿絵・図の扱い】

- 2年「分けた大きさのあらし方を考えよう」
 - ・ 単元の導入場面では、3種類（サンドイッチ、ピザ、パン）の写真に掲載している。
 - ・ 実際に半分に分ける場面では、写真や折り紙のイラストを掲載している。
 - ・ 同じ大きさに分ける場面では、チョコレートのイラストを用いて考える学習を設定している。

【図表等の資料の活用】

- 5年「混みぐあいなどの比べ方を考えよう」
単位量当たりの大きさを比較する学習では、ドットを用いた図、表、数直線を掲載している。
- 5年「比べ方を考えよう」
割合に関する学習では、表、数直線を掲載している。

視点⑦ 配色や文字の大きさ等の工夫

- 配色・文字
 - ・ カラーユニバーサルデザインに配慮している。
 - ・ ユニバーサルデザインフォントを採用している。
- 3年「わり算」
除法の式の意味を3色で示している。

5 言語活動の充実

視点⑧ 問題解決の過程や自分の考えを表現し伝え合う活動の工夫

- 6年「分数と整数のかけ算・わり算を考えよう」
問題解決の過程や自分の考えを表現し伝え合う際のポイントを示している。

問題をつかもう

- ・ わかっていることや、求めることをはっきりさせよう。
- ・ これまでの問題とちがうところを見つけよう。

自分で考えよう

- ・ 見通しをもとう。
- ・ これまでの学習が使えるか考えよう。
- ・ 図や式、言葉を使って、考えを筋道立ててノートにかこう。
- ・ もっとよいやり方がないか見直そう。

学び合おう

- ・ 自分の考えを筋道立てて説明しよう。
- ・ 発表を聞くときは、自分の考えと似ているところ、違うところを見つけながら聞こう。
- ・ 友達の考えを読み取って、説明してみよう。
- ・ 式を見直して、きまりを見つけよう。

まとめよう

- ・ わかったことをまとめよう。

使ってみよう

- ・ 別の問題に使ってみよう。

ふりかえろう

- ・ 今日の学習をふりかえろう。

1 基礎・基本の定着

視点① 基礎的・基本的な知識及び技能の定着のための工夫

- 2年「かけ算(2) かけ算のきまりをつかって九九を作ろう」
 - ・ 具体物(チョコレート)を基に九九を構成する学習を設定している。
 - ・ 6～9の段の答えを求めて記入する欄がある。
 - ・九九を覚える学習を設定している。
- 6年
巻中に数直線の図、関係図のかき方を掲載している。

視点② 補充的な学習の取扱い

- 巻末に掲載している補充問題のページ数(ほじゅう問題)
 1年上: 8ページ 1年下: 8ページ 2年上: 9ページ 2年下: 7ページ
 3年上: 11ページ 3年下: 7ページ 4年上: 8ページ 4年下: 10ページ
 5年上: 11ページ 5年下: 8ページ 6年 : 12ページ 総ページ数: 99ページ

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点③ 見通しをもって数学的活動を行うための工夫

- 巻頭に「算数の学び方」として学習の進め方を示している。
- 巻頭と巻末に見方・考え方をまとめて示している。単元末にその単元で大切にしたい見方・考え方を振り返る特設ページを設けている。

視点④ 日常の事象から見いだした問題を解決する活動の工夫

- 1年下「大きい かずを かぞえよう」
単元の導入場面において、ブロックの数を数える学習を設定している。
- 5年下「全体とその部分の比べ方を調べよう」
単元の導入場面において、3人のバスケットボールのシュートの記録から、だれがいちばんシュートの成績がよいといえるか比べ方を考える学習を設定している。
- 6年「資料の整理～資料を代表する値やちらばりのようすを調べよう～」
 - ・ 単元の導入場面において、現在と15年前の6年1組の新体力テストの結果の記録から、現在の6年1組の体力が低下したといえるか調べる学習を設定している。
 - ・ 学年末に、「いろいろな問題を解決しよう」という単元を設け、統計的な問題解決の手順に関する内容を掲載し、統計的な問題解決の手順を活用する学習を設定している。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑤ 全体の配列・分量と単元の構成

- 単元数
 1年: 19単元 2年: 22単元 3年: 20単元
 4年: 21単元 5年: 21単元 6年: 15単元 別冊: 2単元
- ページ数
 1年上: 99ページ 1年下: 106ページ 2年上: 165ページ 2年下: 141ページ
 3年上: 149ページ 3年下: 170ページ 4年上: 158ページ 4年下: 181ページ
 5年上: 174ページ 5年下: 180ページ 6年 : 260ページ 別冊 : 48ページ
- 仕様
判型A B判
- 単元の構成
 - ① ?を発見
 - ② 毎時の学習
 - ③ できるようになったこと
 - ④ まなびをいかそう
 - ⑤ 考え方モンスターでふりかえろう!
 - ⑥ ?をかいけつ
つなげたいな

4 内容の表現・表記

視点⑥ 挿絵・写真・図表等の資料の活用の工夫

【挿絵・図の扱い】

- 2年下「1つ分を数であらわして考えよう」
 - ・ 単元の導入場面では、2種類(アメ、チョコレート)のイラストを掲載している。
 - ・ 実際に半分に分ける場面では、写真や折り紙のイラストを掲載している。
 - ・ 同じ大きさに分ける場面では、ケーキのイラストとドット図を用いて考える学習を設定している。

【図表等の資料の活用】

- 5年上「1つ分に表して比べる方法を考えよう」
単位量当たりの大きさを比較する学習では、ドットを用いた図、表、テープ図、数直線を掲載している。
- 5年下「全体とその部分の比べ方を調べよう」「2つの量の比べ方や割合を使った問題について考えよう」
割合に関する学習では、テープ図、表、線分図、数直線を掲載している。

視点⑦ 配色や文字の大きさ等の工夫

- 配色・文字
 - ・ カラーユニバーサルデザインに配慮している。
 - ・ ユニバーサルデザインフォントを採用している。
- 3年上「同じ数ずつ分ける計算のしかたを考えよう」
除法の式の意味を3色で示している。

5 言語活動の充実

視点⑧ 問題解決の過程や自分の考えを表現し伝え合う活動の工夫

1 基礎・基本の定着

視点① 基礎的・基本的な知識及び技能の定着のための工夫

- 2年下「かけ算九九づくり」
 - ・ アレイ図を基に九九を構成する学習を設定している。
 - ・ 6・7の段の答えを求めて記入する欄がある。
 - ・九九を覚える学習を設定している。
 - ・巻末に操作用のアレイ図がある。
- 6年

巻末に数直線の図、線分図、平行と垂直な線のかき方、コンパス・分度器の使い方を掲載している。

視点② 補充的な学習の取扱い

- 巻末に掲載している補充問題のページ数（ステップアップ算数）

2年上：7ページ 2年下：7ページ 3年上：8ページ 3年下：8ページ
 4年上：11ページ 4年下：11ページ 5年：19ページ 6年：14ページ
 総ページ数：85ページ

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点③ 見通しをもって数学的活動を行うための工夫

- 巻頭に「みんなで算数をはじめよう！」として学習の進め方を示している。
- 巻頭に見方・考え方をまとめて示している。単元末に見方・考え方を振り返る4コマ漫画を掲載している。

視点④ 日常の事象から見いだした問題を解決する活動の工夫

- 1年「大きなかず」

単元の導入場面において、あさがおの種の数を数える学習を設定している。
- 5年「割合」

単元の導入場面において、4人のバスケットボールのシュートの記録から、だれがいちばんよくシュートが入ったといえるかを考える学習を設定している。
- 6年「データの見方」
 - ・ 単元の導入場面において、6年1組と6年2組の読書記録の冊数のデータから、どちらの組が本をよく読んだといえるかを考える学習を設定している。
 - ・ 単元末に、統計的な問題解決の手順に関する内容を掲載しており、実際にその手順に沿って「なわとび大会」の代表を決める問題を設定している。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑤ 全体の配列・分量と単元の構成

- 単元数

1年：18単元 2年：17単元 3年：18単元
 4年：17単元 5年：16単元 6年：12単元
- ページ数

1年：188ページ 2年上：153ページ 2年下：128ページ
 3年上：160ページ 3年下：146ページ 4年上：178ページ
 4年下：176ページ 5年：312ページ 6年：290ページ
- 仕様

判型B5判
- 単元の構成
 - ① どんな学習が始まるかな？
 - ② 毎時の学習
 - ③ 学んだことを使おう
 - ④ まとめ
 - ・ 4コマ漫画
 - ・ ふり返ろう
 - ・ たしかめよう

4 内容の表現・表記

視点⑥ 挿絵・写真・図表等の資料の活用の工夫

【挿絵・図の扱い】

- 2年下「1を分けて」
 - ・ 単元の導入場面では、3種類（カステラ、ピザ、キャラメル）の写真に掲載している。
 - ・ 実際に半分に分ける場面では、写真や折り紙のイラストを掲載している。
 - ・ 同じ数ずつ分ける場面では、チョコレートの写真とイラストを用いて考える学習を設定している。

【図表等の資料の活用】

- 5年「単位量あたりの大きさ」
単位量あたりの大きさを比較する学習では、ドットを用いた図、表、数直線を掲載している。
- 5年「割合」
割合に関する学習では、テープ図、表、数直線を掲載している。

視点⑦ 配色や文字の大きさ等の工夫

- 配色・文字
 - ・ カラーユニバーサルデザインに配慮している。
 - ・ ユニバーサルデザインフォントを採用している。
- 3年上「わり算」
除法の式の意味を1色で示している。

5 言語活動の充実

視点⑧ 問題解決の過程や自分の考えを表現し伝え合う活動の工夫

- 6年「比例と反比例」
問題解決の過程や自分の考えを表現し伝え合う際のポイントを示している。

問題をつかむ

- ・ 新しく考えることは何かな。

自分の考えをもつ

- ・ 今までに学習したどんなことが使えるかな。

話し合って深める

- ・ 友だちはどう考えているかな。
- ・ 似ているところや、ちがうところはあるかな。

ふり返ってまとめる

- ・ どんなことがわかったかな。
- ・ どんな考え方がよかったかな。

広げて考える

- ・ 次に考えてみたいことは…。
- ・ ほかの数でも…。
- ・ ほかの場面でも…。

1 基礎・基本の定着

視点① 基礎的・基本的な知識及び技能の定着のための工夫

- 2年下「かけ算(2)」
 - ・ アレイ図を基に九九を構成する学習を設定している。
 - ・ 6～9の段の答えを求めて記入する欄がある。
 - ・ 九九を覚える学習を設定している。
 - ・ 別ページに操作用のアレイ図がある。
- 6年
 - ・ 巻末に数直線の図、関係図のかき方を掲載している。

視点② 補充的な学習の取扱い

- 巻末に掲載している補充問題のページ数(もっと練習)
 - 2年上: 6ページ 2年下: 6ページ 3年上: 7ページ 3年下: 8ページ
 - 4年上: 12ページ 4年下: 10ページ 5年: 13ページ 6年: 12ページ
 - 総ページ数: 74ページ

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点③ 見通しをもって数学的活動を行うための工夫

- 巻頭に「算数のとびら 算数の学習の進め方」として学習の進め方を示している。
- 巻頭に考え方をまとめて示している。年間で1～3回これまでの学習で大切にしてきた見方・考え方を確かめる問題を掲載している。

視点④ 日常の事象から見いだした問題を解決する活動の工夫

- 1年「大きい かず」
 - ・ 単元の導入場面において、棒の数を数える学習を設定している。
- 5年「割合(2)」
 - ・ 単元の導入場面において、5年生が学習発表会で音楽を発表する際の、演奏する楽器の定員と希望者の数を比べて考える学習を設定している。
- 6年「データの整理と活用」
 - ・ 単元の導入場面において、3チームの大縄跳びの練習記録のデータから、代表チームの決め方を考える学習を設定している。
 - ・ 単元末に、統計的な問題解決の手順に関する内容を掲載している。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑤ 全体の配列・分量と単元の構成

- 単元数
 - 1年: 23単元 2年: 17単元 3年: 20単元
 - 4年: 16単元 5年: 18単元 6年: 13単元
- ページ数
 - 1年上: 48ページ 1年下: 144ページ 2年上: 136ページ 2年下: 135ページ
 - 3年上: 147ページ 3年下: 129ページ 4年上: 161ページ 4年下: 132ページ
 - 5年: 281ページ 6年: 271ページ
- 仕様
 - 1年上: 判型A4判 それ以外: 判型B5判
- 単元の構成
 - ① じゅんび
 - ② 毎時の学習
 - ③ 学びのまとめ
 - ・ たしかめよう
 - ・ ふりかえろう
 - ・ やってみよう

4 内容の表現・表記

視点⑥ 挿絵・写真・図表等の資料の活用の工夫

【挿絵・図の扱い】

- 2年下「分数」
 - ・ 単元の導入場面では、3種類(ピザトースト、チョコレート、お好み焼き)の写真を掲載している。
 - ・ 実際に半分に分ける場面では、折り紙とテープのイラストを掲載している。
 - ・ 同じ大きさに分ける場面では、チョコレートのイラストとドット図を用いて考える学習を設定している。

【図表等の資料の活用】

- 5年「単位量あたりの大きさ」
単位量あたりの大きさを比較する学習では、ドットを用いた図、表を掲載している。
- 5年「割合（1）（2）」
割合に関する学習では、テープ図、表、線分図、数直線を掲載している。

視点⑦ 配色や文字の大きさ等の工夫

- 配色・文字
 - ・ カラーユニバーサルデザインに配慮している。
 - ・ ユニバーサルデザインフォントを採用している。
- 3年上「わり算」
除法の式の意味を1色で示している。

5 言語活動の充実

視点⑧ 問題解決の過程や自分の考えを表現し伝え合う活動の工夫

- 6年巻頭「算数のとびら」
問題解決の過程や自分の考えを表現し伝え合う際のポイントを示している。

どんな問題かな

- ・ 求めることやわかっていることは何かな。
- ・ どんなめあてかを考え、話しあおう。

自分で考えよう

- ・ 前に学習したことを使ってみよう。

みんなで話しあおう

- ・ 友だちの考えのいいところを見つけられるかな。

たしかめよう

- ・ 学習したことを使ってみよう。

ふりかえろう

- ・ たいせつだと思ったことや、もっとやってみたいことはあるかな。

1 基礎・基本の定着

視点① 基礎的・基本的な知識及び技能の定着のための工夫

- 2年下「かけ算(2) 新しい九九のつくり方を考えよう」
 - ・ アレイ図を基に九九を構成する学習を設定している。
 - ・ 6～9の段の答えを求めて記入する欄がある。
 - ・ 九九を覚える学習を設定している。
 - ・ 巻末に操作用のアレイ図がある。
- 6年
 - ・ 巻末に数直線の図のかき方を掲載している。

視点② 補充的な学習の取扱い

- 巻末に掲載している補充問題のページ数(しっかりチェック)

2年上: 12ページ	2年下: 8ページ	3年上: 8ページ	3年下: 8ページ
4年上: 10ページ	4年下: 8ページ	5年: 14ページ	6年: 12ページ
総ページ数: 80ページ			

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点③ 見通しをもって数学的活動を行うための工夫

- 巻頭に「さあ、算数の学習をはじめよう！」として学習の進め方を示している。
- 巻末に見方・考え方をまとめて示している。単元末にその単元で大切にしたい見方・考え方を確かめる問題を掲載している。

視点④ 日常の事象から見いだした問題を解決する活動の工夫

- 1年下「20より 大きい かず」
 - ・ 単元の導入場面において、ブロックの数を数える学習を設定している。
- 5年「割合～比べ方を考えよう～」
 - ・ 単元の導入場面において、4つの班の輪投げの投げた回数と入った回数の記録から、どの班がいちばんうまく投げることができたといえるかを考える学習を設定している。
- 6年「データの調べ方～データの特ちょうを調べよう～」
 - ・ 単元の導入場面において、AチームとBチームの400mリレーの練習記録のデータを比べる学習を設定している。
 - ・ 単元末に、統計的な問題解決の手順に関する内容と漫画で示した具体例を掲載している。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑤ 全体の配列・分量と単元の構成

- 単元数

1年: 20単元	2年: 17単元	3年: 18単元
4年: 17単元	5年: 17単元	6年: 14単元
- ページ数

1年上: 46ページ	1年下: 147ページ	2年上: 161ページ	2年下: 140ページ
3年上: 170ページ	3年下: 147ページ	4年上: 167ページ	4年下: 171ページ
5年: 325ページ	6年: 295ページ		
- 仕様
 - 判型B5判
- 単元の構成
 - ① 次の学習のために
 - ② 単元アプローチ
 - ③ 毎時の学習
 - ④ 学習をたしかに
 - ・ わかっているかな
 - ・ たしかめよう

4 内容の表現・表記

視点⑥ 挿絵・写真・図表等の資料の活用の工夫

【挿絵・図の扱い】

- 2年下「分けた大きさのあらし方を考えよう」
 - ・ 単元の導入場面では、3種類(サンドイッチ、タルト、ロールケーキ)の写真に掲載している。
 - ・ 実際に半分に分ける場面では、折り紙のイラストを掲載している。
 - ・ 同じ数ずつ分ける場面では、ブロックのイラストを用いて考える学習を設定している。

【図表等の資料の活用】

- 5年「こみぐあいなどの比べ方を考えよう」
単位量当たりの大きさを比較する学習では、ドットを用いた図、表、数直線を掲載している。
- 5年「比べ方を考えよう」
割合に関する学習では、テープ図、表、数直線を掲載している。

視点⑦ 配色や文字の大きさ等の工夫

- 配色・文字
 - ・ カラーユニバーサルデザインに配慮している。
 - ・ ユニバーサルデザインフォントを採用している。
- 3年上「新しい計算のしかたを考えよう」
除法の式の意味を3色で示している。

5 言語活動の充実

視点⑧ 問題解決の過程や自分の考えを表現し伝え合う活動の工夫

- 6年「2つの量の変わり方を調べよう」
問題解決の過程や自分の考えを表現し伝え合う際のポイントを示している。

どんな問題かな

- ・ 画用紙が何枚あるかを数えずに調べるには、何がわかればいいのか考えよう。
- ・ これまで学習した比例の考え方が使えるかどうか考えよう。

考えよう

- ・ 見方・考え方
数量の関係に着目する。画用紙の枚数と重さの関係を考える。

学び合おう

- ・ それぞれの表からどのように考えたのか、説明しよう。
- ・ 表や式を使うとどんなことがわかりやすくなるか話し合おう。

ふり返ろう

- ・ りくさんとひまりさんの考え方の共通するところはどこかふり返ろう。
- ・ 比例の考えを使っておよその数を調べたいものはないか考えよう。

4 意見

広島市教科用図書採択審議会では、本市児童の課題である「『変化と関係』の領域において、数量が変わっても割合は変わらないことを理解する」こと、「学習したことを日常生活に結び付けて考える」ことに対応する各教科書の特徴について、広島市教科用図書採択審議会調査員が作成した「令和6年度から使用する小学校用教科用図書の調査・研究報告書」を基に審議した。

意見1 東京書籍の教科書は、本市で使用する教科書としてよりふさわしい。

(理由)

- ・ 児童が本時の問題と出合った際に、既習事項との違いが分かりやすく、児童にとって自然な思考の流れで見直しをもって学習を進めることができる。また、単元末に「つないでいこう算数の目～大切な見方・考え方」というページを設け、単元を通して働かせる見方・考え方を使って解く問題を示しており、身に付けるべき資質・能力を意識した授業づくりを教員が行いやすい。
- ・ 1年下「おおきい かず」では、アサガオやヒマワリの種の数を数える学習を設定しており、具体物を用いて数を数えることで抽象的な数の概念を具体的にイメージしやすい。
- ・ 6年「比例と反比例」の学習において、問題解決の過程を示した上で、各過程における学習のポイントを2～3つずつ詳しく示すことで、自分の考えを表現し伝え合う際の手立てとなっている。また、自力解決も自分で考えて学習方法を選択して学習できるような記述になっている。

意見2 教育出版の教科書は、本市で使用する教科書としてふさわしい。

(理由)

- ・ 算数の学習が苦手な児童にとっても興味をもって振り返ることができるように、単元末に単元の中心となる見方・考え方を4コマ漫画で示している。
- ・ 1年「大きな かず」では、育てたアサガオの種の数を数える学習を設定しており、具体物を用いて数を数えることで抽象的な数の概念を具体的にイメージしやすい。
- ・ 6年「比例と反比例」の学習において、問題解決の過程を示した上で、各過程における学習のポイントを1～3つずつ示すことで、自分の考えを表現し伝え合う際の手立てとなっている。また、自力解決も自分で考えて学習方法を選択して学習できるような記述になっている。

令和6年度から使用する広島市立小学校用教科用図書の採択について（答申）

教科〔理科〕 種目〔理科〕

令和6年度から使用する小学校用教科用図書の採択について

教科 [理科] 種目 [理科]

1 本市の実態や児童の状況

- 本市は都市部もあれば山間部や川、海もあり、地域によって自然環境が様々である。また施設が充実しており、こども文化科学館、安佐動物公園、植物公園、江波山気象館、森林公園こんちゅう館など様々な分野の事象を具体的に観察、調査することができる環境にある。
- 令和4年度全国学力・学習状況調査によると、理科の勉強が「好き」という児童が78.5%（全国79.7%）、「よくわかる」と回答した児童が88.4%（全国88.5%）であり、理科の授業を肯定的に捉えている児童が多い。また、教科の平均正答率は66%（全国平均63.3%）であり、全領域において全国平均を上回っている。しかし、領域ごとに見てみると、「エネルギー」を柱とする領域の平均正答率は53.2%（全国平均51.6%）であり、十分定着しているとは言えない。さらに、実験で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述することに課題が見られる。

2 調査・研究の観点と視点

観 点	視 点
<基礎・基本の定着>	① 知識の定着を図るための工夫 ② 観察・実験の技能を習得させるための工夫
<主体的に学習に取り組む工夫>	③ 興味・関心を高めるための工夫 ④ 問題解決の力を育成するための工夫
<内容の構成・配列・分量>	⑤ 単元の配列の工夫 ⑥ 補充的な学習や発展的な学習の取扱い
<内容の表現・表記>	⑦ 挿絵・写真等の示し方 ⑧ 配色や文字の大きさ等の工夫
<言語活動の充実>	⑨ 観察・実験の結果を整理し、考察する学習活動の工夫

3 各教科書の特徴

1 基礎・基本の定着

視点① 知識の定着を図るための工夫

- 「思い出そう」に、学習内容と関連する学年と教科を示し、既習内容を想起できるような写真や絵と問いかけを掲載している。
- 単元末の「ふりかえろう」で、「学ぶなかでわかったことを、自分なりにまとめてみよう。」とリード文を付し、単元で学習した内容をまとめたものを掲載している。
巻末「1年間をふりかえろう」で、1年間の学習内容をまとめている。
- 単元末の「たしかめよう」で、学習の定着を図る問題を掲載している。
- 学習した用語を、巻末「1年間をふりかえろう」の中で、「学習した理科の言葉」に領域別にまとめて掲載し、ページ番号を示している。

視点② 観察・実験の技能を習得させるための工夫

- 実験の手順について、番号を付し、写真や図等を用いて説明している。
- 巻末「理科の調べ方を身につけよう」で、器具の使い方を掲載し、器具を使う場面で巻末資料のページ番号を示している。
- 安全に配慮する必要がある場面で「きけん」マークを付し、禁止事項とその理由を赤字で示している。
- 4、5、6年の巻末の「理科室の使い方」で、実験前、実験をするとき、実験後に留意することについて、イラストと写真、吹き出し等で説明している。
- 巻末に「ノートのかき方」、「記録カードのかき方」、「折れ線グラフのかき方・読み取り方」、「コンピューターの使い方」、「図書室の活用のしかた」、「しせつを活用しよう」、「自然の観察のしかた」、「算数科で学んだことを活用しよう」など調べ方やまとめ方について掲載したコーナーを設けている。

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点③ 興味・関心を高めるための工夫

- 単元導入では、気付きを促す写真や単元導入に行う活動を掲載している。
キャラクターが着眼点や理科の考え方を示す枠を設けたり、児童の疑問や気付きを吹き出しで示したりしている。
- 単元導入に「学ぶ前に」、単元末に「学んだ後に」を示し、同じ問いを再考し、自らの学びを振り返る場面を設けている。
- 「こんなところにも！理科の世界探検部」で、学習内容が実生活・実社会に関連付けられている内容を掲載している。
「広げよう！理科の発想」で日常生活での現象を取り上げ、説明させる場面を設けている。

視点④ 問題解決の力を育成するための工夫

- 巻頭「理科の学び方」で学習の進め方を図で示している。
第6学年の示し方
- ① 問題をつかむ
 - ・ レッツトライ！
 - ・ 問題をつかもう
- ② 調べる
 - ・ 問題
 - ・ 予想しよう
 - ・ 計画しよう
 - ・ 観察・実験
 - ・ 観察・実験の結果
- ③ まとめる
 - ・ 考察しよう
 - ・ まとめ
 - ・ 広げよう！理科の発想
 - ・ 次の問題を見つけよう
 - ・ 理科の世界探検部
- 問題解決の各過程に枠を付したり、「問題」と「まとめ」のデザインを対応させたりして示し、ライン(矢印)でつないでいる。
- 3年「物の重さ」
問題「物は、形をかえると、重さが変わるのだろうか。」について、予想し、計画した後、ねん土とアルミニウムはくの形をかえて重さを調べる実験を行い、それらの結果から考察し、結論を導き出している。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑤ 単元の配列の工夫

- 判型 A4判
- 総ページ数
3年：177 4年：201 5年：169 6年：201
- 4年「雨水のゆくえと地面のようす」は6月に指導する計画となっている。

- 5年で、条件制御を学習する単元として、「植物の発芽と成長」を2単元目に設定し、「ふりこのきまり」は、学年最後の10単元目に設定している。

視点⑥ 補充的な学習や発展的な学習の取扱い

- 発展的な内容に「はってん」マークを付して紹介している。
- 「私の研究」に自由研究の進め方を示している。
- 4～6年で、防災や減災について、小単元や紹介するコーナーを設けている。「理科室の使い方」において、地震が起きたときの対処について示している。

4 内容の表現・表記

視点⑦ 挿絵・写真等の示し方

- 4年「動物のからだのつくりと運動」

[関節]

- ・ 肘のレントゲン写真
- ・ 腕の関節の絵
- ・ 手の指のレントゲン写真
- ・ 膝のレントゲン写真
- ・ 膝の関節の絵

[筋肉の伸び縮み]

- ・ 腕の筋肉の伸び縮みの絵
- ・ 足の筋肉の伸び縮みの絵

視点⑧ 配色や文字の大きさ等の工夫

- カラーユニバーサルデザインに配慮している。
- ユニバーサルデザインフォントを採用している。
- 国語科の配当学年に準じて漢字を使用し、当該学年の配当漢字には、見開き単位で初出の際に振り仮名を付けている。単元導入のページと「まとめ」では、全ての漢字に振り仮名を付けている。

5 言語活動の充実

視点⑨ 観察・実験の結果を整理し、考察する学習活動の工夫

- 3年「太陽の光」

[実験] 「はね返した日光が当たったところの温度を調べましょう。」

[結果]

かがみのまい数	0まい	1まい	2まい	3まい
まとの温度	16℃	26℃	38℃	48℃
まとの明るさ	絵 暗い	絵 明るい	絵 1まいよりも明るい	絵 2まいよりも明るい

鏡の枚数(0～3枚)、まとの温度、まとの明るさの関係を、一つの表でまとめて表している。

- 6年「水溶液の性質とはたらき」

[問題] 「金属がとけた液から出てきた固体は、もとの金属と同じ物なのだろうか。」

[考察しよう] 「実験6の結果から、金属がとけた液から出てきた固体は、もとの金属と同じ物といえるか、考えましょう。」というリード文と、キャラクターが理科の考え方を示している枠「実験6の①～③の結果から、どのようなことがいえるか、考えてみよう。」を付すとともに、児童の思考の例を吹き出しで掲載している。

1 基礎・基本の定着

視点① 知識の定着を図るための工夫

- 巻末資料「〇年までの学びとつなげよう」に、学習内容と関連する学年、単元名、既習内容を写真や絵、文章で掲載し、各単元の関連する場面で「〇年で学んだこと」マークを付し、巻末資料のページ番号を示している。
- 巻末「〇年のまとめ」で、1年間の学習内容をまとめている。
- 単元末の「確かめよう」、「学んだことを生かそう」、巻末の「チャレンジ問題」（5、6年）で、学習の定着を図る問題を掲載している。

視点② 観察・実験の技能を習得させるための工夫

- 実験の手順について、番号を付し、写真や図等を用いて説明している。
- 巻末「使い方を覚えよう」で、器具の使い方を掲載し、器具を使う場面で巻末資料のページ番号を示している。
- 安全に配慮する必要がある場面で「注意」マークを付し、赤線で枠を設け、禁止事項とその理由を赤字で示している。
- 4、5、6年の巻末の「わたしたちの理科室」で、実験前、実験をするとき、実験後に留意することについて、イラストと写真を用いて説明している。
- 巻末に「理科のノートの書き方」、「記録と整理のしかた」、「タブレットを使ってみよう」、「図書館の本で調べよう」、「科学館・博物館に行ってみよう」、「算数科とつなげよう」など調べ方やまとめ方について掲載したコーナーを設けている。

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点③ 興味・関心を高めるための工夫

- 単元導入では、気付きを促す写真や単元導入に行う活動を掲載している。
「ココに注目」でキャラクターが着眼点を示したり、児童の疑問や気付きを吹き出しで示したりしている。
- 単元末に「ふり返ろう」を示し、自らの学びを振り返る場面を設けている。
- 「りかのたまたまばこ」、「サイエンスワールド」において、学習内容が実生活・実社会に関連付けられている内容を掲載している。
「学んだことを生かそう」では、日常での現象を取り上げ、説明させるコーナーを設けている。
巻頭の特集ページには、理科の考え方について身近なテーマを扱ったマンガを掲載している。

視点④ 問題解決の力を育成するための工夫

- 巻頭の「理科の学び方」に学習の進め方を図で示している。

第6学年の示し方

[見つけよう]

- ① 問題を見つけよう

[調べよう]

- ② 予想しよう
- ③ 計画を立てよう
- ④ 調べよう
- ⑤ 記録しよう

[伝えよう]

- ⑥ 考えよう
 - ⑦ まとめよう
- ・ サイエンスワールド
 - ・ 資料（りかのたまたまばこ）

- 問題解決の各過程を見つけよう（緑）、調べよう（橙）、伝えよう（青）の3色に分け、枠を付けて示し、ラインでつないでいる。
- 3年「ものの重さ」
問題「形をかえると、ものの重さはどうなるのだろうか。」について、予想し、計画した後、ねん土とアルミニウムはくの形をかえて重さを調べる実験を行い、それらの結果から考察し、結論を導き出している。
その後の「深めよう」コーナーにおいて、ブロックを使って調べる活動を掲載している。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑤ 単元の配列の工夫

- 判型 A4判
- 総ページ数
3年：204 4年：228 5年：196 6年：232
- 4年「雨水のゆくえ」は9～10月に指導する計画となっている。
- 5年で、条件制御を学習する単元として、「植物の発芽と成長」を2単元目に設定し、「ふりこの性質」は、8単元目に設定している。

視点⑥ 補充的な学習や発展的な学習の取扱い

- 発展的な内容に「発展」マークを付して紹介している。
- 「自由研究」に自由研究の進め方を示している。

- 3～6年で、防災や減災について紹介するコーナーや単元末の問題を掲載している。関係する箇所に「防災」マークを付したり、5年巻末に「災害に備えようブック」を掲載したりしている。「理科室のきまり」において、地震が起きたときの対処について示している。

4 内容の表現・表記

視点⑦ 挿絵・写真等の示し方

- 4年「わたしたちの体と運動」

[関節]

- ・ 腕のレントゲン写真
- ・ 腕の関節の絵
- ・ 腕の模型

[筋肉の伸び縮み]

- ・ 腕の筋肉の伸び縮みの絵

視点⑧ 配色や文字の大きさ等の工夫

- カラーユニバーサルデザインに配慮している。
- ユニバーサルデザインフォントを採用している。
- 国語科の配当学年に準じて漢字を使用し、当該学年の配当漢字には、全て振り仮名を付けている。

5 言語活動の充実

視点⑨ 観察・実験の結果を整理し、考察する学習活動の工夫

- 3年「太陽の光」

[実験] 「かがみの数をかえたときのまとの明るさや温度をくらべながら調べる。」

[結果] 鏡の枚数 (0、1、3枚)、明るさ、温度の関係を、一つの表でまとめて表している。

かがみの数	0まい	1まい	3まい
明るさ	暗かった	明るかった	より明るかった
温度	13度	19度	40度

- 6年「水よう液の性質」

[問題] 「出てきたものはアルミニウムなのだろうか。」

[考察] 「結果からいえることを話し合しましょう。」というリード文と、キャラクターの「アルミニウムと出てきた固体の性質について考えてみよう。」という枠で、理科の見方につながる着眼点を示し、児童の思考の例を吹き出して掲載している。

1 基礎・基本の定着

視点① 知識の定着を図るための工夫

- 「〇年生で学んだね」に、学習内容と関連する学年を示し、既習内容を写真や絵、文章で掲載している。
- 各単元冒頭に「ふりカエルマーク」を付し、これまでに関連する学習を行った学年と単元名を示している。
- 単元末の「ふりかえろう」や「活用 学びを生かそう」で、学習の定着を図る問題を掲載している。
- 学習した用語を、巻末の「大事な言葉」で、あいうえお順で掲載し、学習したページ番号を示している。

視点② 観察・実験の技能を習得させるための工夫

- 実験の手順について、番号を付し、写真や図等を用いて説明している。
- 単元の中や巻末「考えよう調べよう」で器具の使い方を掲載している。
- 安全に配慮する必要がある場面で「注意」マークを付し、禁止事項とその理由を赤字で示している。
- 巻末の「理科室の使い方」で、実験前、実験をするとき、実験後に留意することについて、イラストと写真を用いて説明している。
- 巻末「考えよう調べよう」で、「観察する（安全、こつ）」、「調べる（ICTの活用、図書室の活用）」「記録する（カードの書き方、ノート書き方、カメラの活用）」、「まとめる（ぼうグラフのかき方）」など調べ方やまとめ方について掲載したコーナーを設けている。

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点③ 興味・関心を高めるための工夫

- 単元導入では、気付きを促す写真や単元導入に行う活動を掲載している。児童の疑問や気付きを吹き出しで示している。
- 単元導入に「できるようになりたい」で、特に付けたい資質・能力を示し、問題解決の過程の中や後に自己評価するためのマークを付している。また、単元末に「できるようになった」で、自らの学びを振り返る場面を設けている。
- 「もっとしりたい」において、学習内容が仕事や生活に生かされている様子を掲載している。「やってみよう」では、日常生活での現象を取り上げ、説明させるコーナーを設けている。

視点④ 問題解決の力を育成するための工夫

- 巻頭の「科学の芽を育てよう」に学習の進め方を示している。

第6学年の示し方

[みつけよう]

- ① みつける
- ② 予想する
- ③ 計画を立てる

[調べよう]

- ④ 調べる
- ⑤ 整理する
- ⑥ 結果から考える

[まとめよう]

- ⑦ まとめる
- ⑧ いかす

- 問題解決の各過程に枠を付けたり、「問題」と「わかったこと」のデザインを対応させたりして示し、ライン（矢印）でつないでいる。
- 3年「ものの重さを調べよう」
問題「同じものを、おき方や形をかえたり、細かく分けたりすると、重さはかわるでしょうか。」について、予想した後、ねん土のおき方や形をかえて重さを調べる実験を行い、それらの結果から考察し、結論を導き出している。
その後の「やってみよう」コーナーにおいて、アルミニウムはくや紙コップ、体重で調べる活動を掲載している。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑤ 単元の配列の工夫

- 判型 AB判
- 総ページ数
3年：184 4年：204 5年：192 6年：232
- 4年「雨水の流れ」は6～7月に指導する計画となっている。
- 5年で、条件制御を学習する単元として、「ふりこの運動」を1単元目に設定し、「種子の発芽と成長」は、2単元目に設定している。

視点⑥ 補足的な学習や発展的な学習の取扱い

- 発展的な内容に「はってん」マークを付して紹介している。
- 「わたしの自由研究」に自由研究の進め方を示している。
- 4～6年で、防災や減災について、小単元や紹介するコーナーを設けている。関係する箇所に「防災」マークを付している。
「理科室の使い方」において、地震が起きたときの対処について示している。

4 内容の表現・表記

視点⑦ 挿絵・写真等の示し方

- 4年「人の体のつくりと運動」

[関節]

- ・ 腕のレントゲン写真
- ・ 手のレントゲン写真
- ・ 腕の関節の絵

[筋肉の伸び縮み]

- ・ 腕の筋肉の伸び縮みの絵

視点⑧ 配色や文字の大きさ等の工夫

- カラーユニバーサルデザインに配慮している。
- ユニバーサルデザインフォントを採用している。
- 国語科の配当学年に準じて漢字を使用し、単元初出に振り仮名を付けている。

5 言語活動の充実

視点⑨ 観察・実験の結果を整理し、考察する学習活動の工夫

- 3年「光を調べよう」

[実験] 「はね返した日光をまとに集めて調べる」

[結果] 鏡の枚数(1~3枚)とまとの明るさの関係、鏡の枚数(1~3枚)とまとの温度の関係を、それぞれ表にまとめ、二つの表で表している。

・ まとの明るさ

かがみの まい数	1まい	2まい	3まい
まとの 明るさ	/	1まいのときより 明るい	2まいのときより 明るい

・ まとの温度

かがみの まい数	1まい	2まい	3まい
まとの 温度	19℃	30℃	49℃

- 6年「水溶液の性質」

[問題] 「塩酸にとけた金属は、どうなっているのだろうか。」

[考察] 「出てきたものは塩酸にとける前の金属と同じか考える。」というリード文と、「出てきたものようすは、とける前の金属と同じか。」「出てきたものは、塩酸にとけたか。また、塩酸にとけたとき、気体は発生したか。」という文で視点を示すとともに、児童の思考の例を吹き出しで掲載している。

1 基礎・基本の定着

視点① 知識の定着を図るための工夫

- 「思い出そう」に、学習内容と関連する学年を示し、既習内容を写真や絵、文章で掲載している。巻頭の「○学年で学んだこと」に前学年の学習内容をまとめた資料を掲載している。
- 各単元冒頭の「学習のつながり」に、学習内容と関連する小学校から中学校までの学年と単元名を示している。
- 単元末の「ふり返ろう」で、単元で学習した内容をまとめたものを掲載している。巻末「○年で学んだこと」で、1年間の学習内容をまとめている。
- 単元末の「確かめよう」に、学習の定着を図る問題を掲載している。
- 学習した用語を、単元末「ふり返ろう」の中で、「新しく学習した言葉」にまとめて掲載している。また、巻末「大事な言葉」に、学年で学習した用語をあいうえお順で掲載し、ページ番号を示している。

視点② 観察・実験の技能を習得させるための工夫

- 実験の手順について、番号を付し、番号を矢印でつないで示し、写真や図等を用いて説明している。
- 単元の中や巻末「使い方・調べ方」で、器具の使い方を掲載し、器具を使う場面で巻末資料のページ番号を示している。
- 安全に配慮する必要がある場面で「注意」「危険」マークを付し、禁止事項とその理由を赤字で示している。裏表紙に各学年の観察や実験で注意すべき事項をまとめた「理科の安全の手引き」を示している。
- 巻末の「理科室の使い方」で、実験前、実験をするとき、実験後に留意することについて、イラストと写真、吹き出し等で説明している。
- 巻頭に「ノートのとり方」、巻末「使い方・調べ方」に、「野外でかんさつするとき」、「かんさつカードのかき方」、「写真や動画のとり方」、「科学館や博物館の利用」、「算数とのつながり」など調べ方やまとめ方について掲載したコーナーを設けている。

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点③ 興味・関心を高めるための工夫

- 単元導入では、気付きを促す写真や単元導入に行う活動を掲載している。児童の疑問や気付きを吹き出しで示し、理科の見方・考え方を働かせている内容には「見方のカギ」「考え方のカギ」マークを付している。また、児童の思考を手助けする先生の吹き出しを示している。
- 単元導入に「学習前の○○さん」、単元末に「学習後の○○さん」を示すとともに、「学習前と学習後で、自分の考えは、どのように変わりましたか。」というリード文で、自らの学びを振り返る場面を設けている。
- 「資料」や「科学のまど」において、学習内容が実生活・実社会に関連付けられていることを意識させる資料を掲載している。「学びを広げよう」で、日常生活での現象を取り上げ、説明させる場面を設けている。

視点④ 問題解決の力を育成するための工夫

- 巻頭の「学習の進め方」に学習の進め方を示している。
 - 第6学年の示し方
 - [問題を見つける]
 - ・ 見つけよう
 - ・ 問題
 - [自分の考えをつくる]
 - ・ 予想しよう
 - ・ 計画しよう
 - [自分の考えを確かめる]
 - ・ 観察・実験
 - ・ 結果から考えよう
 - [わかったことを表す]
 - ・ 結論
 - ・ 学びを広げよう
 - ・ 新たな問題を見つける
- 問題解決の各過程に枠を付けたり、問題解決の力を育成する過程にはキャラクターのアイコンを付したりして示し、ライン(矢印)でつないでいる。
- 3年「ものの重さ」
 - 問題「形をかえると、ものの重さはかわるのだろうか。」について、予想し、計画した後、ねん土と新聞紙の形をかえて重さを調べる実験を行い、その結果から考察し、結論を導き出している。その後の「学びを広げよう」の過程において、ペットボトルで調べる活動を掲載している。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑤ 単元の配列の工夫

- 判型・A4変形判
- 総ページ数
 - 3年：192 4年：232 5年：208 6年：224

- 4年「雨水と地面」は9月に指導する計画となっている。
- 5年で、条件制御を学習する単元として、「植物の発芽や成長」を2単元目に設定し、「ふりこ」は、4単元目に設定している。

視点⑥ 補充的な学習や発展的な学習の取扱い

- 発展的な内容に「はってん」マークを付して紹介している。
- 「わたしの研究」に自由研究の進め方を示している。
- 4～6年で、防災や減災について、小単元や紹介するコーナーを設けている。
「理科室の使い方」において、地震が起きたときの対処について示している。

4 内容の表現・表記

視点⑦ 挿絵・写真等の示し方

- 4年「体のつくりと運動」

[関節]

- ・ 肘のレントゲン写真
- ・ 肘の関節の絵
- ・ 膝のレントゲン写真
- ・ 膝の関節の絵

[筋肉の伸び縮み]

- ・ 腕の筋肉の伸び縮みの絵
- ・ 足の筋肉の伸び縮みの絵

視点⑧ 配色や文字の大きさ等の工夫

- カラーユニバーサルデザインに配慮している。
- ユニバーサルデザインフォントを採用している。
- 国語科の配当学年に準じて漢字を使用し、当該学年の配当漢字には、単元初出に振り仮名を付けている。

5 言語活動の充実

視点⑨ 観察・実験の結果を整理し、考察する学習活動の工夫

- 3年「光」

[実験] 「かがみではね返した光を重ねて当てて、明るくなったところのあたたかさを調べよう。」

※ 明るさについては前の活動で扱っている。

[結果] 鏡の枚数(0～3枚)と光を当てる前後の温度の関係を一つの表でまとめて表している。

かがみの数	光を当てる前の温度	光を当てたあとの温度
0まい	13℃	13℃
1まい	13℃	19℃
2まい	13℃	28℃
3まい	13℃	40℃

- 6年「水溶液」

[問題] 「うすい塩酸にとけたアルミニウムは、どのようになるのだろうか。」

[結果から考えよう] 「実験3-2の結果から、実験3で出てきた白い固体について、自分の予想が確かめられたかを考えましょう。」というリード文と児童の思考の例を吹き出しで掲載している。

児童が理科の考え方を働かせている内容にマーカーを引き、「考え方のカギ」マークを付すとともに、その内容を価値付ける先生の吹き出しを示している。

1 基礎・基本の定着

視点① 知識の定着を図るための工夫

- 「思い出そう」に、学習内容と関連する学年、単元名を示し、既習内容を写真や絵、文章で掲載している。
- 単元末の「ふりかえろう なるほど」で、単元で学習した内容をまとめたものを掲載している。

視点② 観察・実験の技能を習得させるための工夫

- 実験の手順について、番号を付し、写真や図等を用いて説明している。
- 単元の中で器具の使い方の説明を示している。
- 安全に配慮する必要がある場面で「注意」マークを付し、赤線で枠を設け、禁止事項とその理由を示している。
- 巻頭の「楽しい理科室」で、実験前、実験をするとき、実験後に留意することについて、イラストを用いて説明している。
- 3、4年の巻頭に、観察の仕方や観察カードの書き方についての資料を掲載している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点③ 興味・関心を高めるための工夫

- 単元導入では、気付きを促す写真や単元導入に行う活動を掲載している。
児童の疑問や気付きを吹き出しで示している。
- 「しりょう」において、学習内容が実生活・実社会に関連付けられていることを意識させる資料を掲載している。

視点④ 問題解決の力を育成するための工夫

- 巻頭の「理科の学習の進め方」に学習の進め方を図で示している。
第6学年の示し方
 - ① 自然とふれ合おう
 - ② 問題を見つけよう
 - ③ 予想しよう
 - ④ 方法を考えよう
 - ⑤ 調べよう
 - ⑥ 記録しよう
 - ⑦ 結果から考えよう
 - ⑧ まとめよう
- 問題解決の「問題」「方法を考えてみよう」「実験（または観察、調査）」「結果」「わかったこと」について枠を付けて示し、「問題」と「わかったこと」のデザインを対応させている。
- 3年「ものの重さをくらべよう」
問題「ものは形がかわると、重さはかわるのだろうか。」について、ねん土の形をかえて重さを調べる実験①を行い、結果を出している。
その後、「アルミニウムではどうか」という児童の疑問をもとに、アルミニウムはくで同様の実験②を行い、結果を出している。
さらに、「ねん土やアルミニウムはくをちぎって分けたらどうか」という疑問をもとに実験③を行い、結果を出した後、①～③の結果から結論を導き出している。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑤ 単元の配列の工夫

- 判型 AB判
- 総ページ数
3年：164 4年：192 5年：156 6年：188
- 4年「雨水のゆくえ」は9～10月に指導する計画となっている。
- 5年で、条件制御を学習する単元として、「種子の発芽」を2単元目に設定し、「ふりこの運動」は、学年最後の11単元目に設定している。

視点⑥ 補充的な学習や発展的な学習の取扱い

- 発展的な内容に「はってん」マークを付して紹介している。
- 「やってみよう自由研究」に自由研究の進め方を示している。
- 4～6年で、防災や減災について紹介するコーナーや調べ学習を設定している。
「楽しい理科室」において、地震が起きたときの対処について示している。

4 内容の表現・表記

視点⑦ 挿絵・写真等の示し方

- 4年「人の体のつくりと運動」
[関節]
 - ・ 手のレントゲン写真
 - ・ 膝のレントゲン写真
- [筋肉の伸び縮み]
 - ・ 腕の筋肉の伸び縮みの絵
 - ・ 腕の模型

視点⑧ 配色や文字の大きさ等の工夫

- カラーユニバーサルデザインに配慮している。
- 国語科の配当学年に準じて漢字を使用し、当該学年の配当漢字には、見開き単位で初出の際に振り仮名を付けている。

5 言語活動の充実

視点⑨ 観察・実験の結果を整理し、考察する学習活動の工夫

- 3年「光のせいしつ」
 - [実験] 「かがみの数をふやして、光が重なったところの明るさやあたたかさを調べよう。」
 - [結果] 手の上に1枚の鏡で日光を反射させたときと2枚の鏡で日光を反射させたときの写真を示し、観察したことと体感したことを記録カードにまとめている。
- 6年「水よう液の性質」
 - [問題] 「とけてなくなってしまった鉄はどうなったのだろうか。」
 - [結果] 実験結果とともに、結果から考えたことを文章で示している。

1 基礎・基本の定着

視点① 知識の定着を図るための工夫

- 「思い出そう」に、学習内容と関連する学年と教科を示し、既習内容を想起できるような写真や絵と問いかけを掲載している。
- 単元末の「ふり返ろう まとめノート」で、「これまでに学習した大切なことを、ふり返ってまとめよう。」とリード文を付し、単元で学習した内容をまとめたものを掲載している。
- 単元末の「たしかめよう」、「活用しよう」、「もう一度考えよう」に、学習の定着を図る問題を掲載している。
- 学習した用語を、単元末「新しく学習した言葉」に掲載している。

視点② 観察・実験の技能を習得させるための工夫

- 実験の手順について、番号を付し、番号同士を点線でつないで示し、写真や図等を用いて説明している。
- 単元の中や「みんなで使う理科室」コーナーで、器具の使い方を掲載し、器具を使う場面で使い方を説明しているページ番号を示している。
- 安全に配慮する必要がある場面で「注意」マークを付し、禁止事項とその理由を赤字で示している。
- 4、5、6年の「みんなで使う理科室」で、実験前、実験をするとき、実験後に留意することについて、イラストと写真を用いて説明している。
- 巻頭にICTの活用の仕方、巻末「オッターの資料室」で、「記録カードのかき方」、「ノートのまとめ方」、「しせつの活用」、「理科につながる算数のまど」など調べ方やまとめ方についての資料を掲載したコーナーを設けている。

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点③ 興味・関心を高めるための工夫

- 単元導入では、気付きを促す写真や単元導入に行く活動を掲載している。
児童の疑問や気付きを吹き出しで示し、理科の見方・考え方を働かせているものには、マーカーを引いている。
- 5・6年の単元導入に「はじめに考えよう」、単元末に「もう一度考えよう」を示し、同じ問いを再考する場面を設けている。
- 「理科の広場」や「くらしとリンク」において、学習内容が実生活・実社会に関連付けられている内容を掲載している。
「活用しよう」で、日常生活での現象を取り上げ、説明させるコーナーを設けている。
「理科の『見方・考え方』が役に立ったよ!」では、理科の見方・考え方を働かせることが日常生活でも役立つ場面を紹介している。

視点④ 問題解決の力を育成するための工夫

- 巻頭の「理科の楽しみ方」に学習の進め方を図で示している。
第6学年の示し方
 - ① 見つける
 - ・ 自然の不思議見つかるかな?
 - ・ 問題をつかもう
 - ・ 問題
 - ② 調べる
 - ・ 予想
 - ・ 計画
 - ・ 観察、実験
 - ・ 結果
 - ③ まとめる
 - ・ 考察しよう
 - ・ まとめ
 - ・ もっと知りたい
 - ・ 次の問題へ
- 問題解決の各過程に枠を付したり、「問題?」と「まとめ!」のデザインを対応させたりして示し、ライン(点線)でつないでいる。
- 3年「ものと重さ」
問題「ものの形をかえたとき、重さかわるのだろうか。」について、実験計画を立て、ねん土と画用紙の形をかえて重さを調べる実験を行い、その結果から考察し、結論を導き出している。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑤ 単元の配列の工夫

- 判型 A.B判
- 総ページ数
3年:184 4年:200 5年:192 6年:216
- 4年「地面を流れる水のゆくえ」は5~6月に指導する計画となっている。
- 5年で、条件制御を学習する単元として、「植物の発芽と成長」を2単元目に設定し、「ふりこのきまり」は、7単元目に設定している。

視点⑥ 補充的な学習や発展的な学習の取扱い

- 発展的な内容に「発展」マークを付して紹介している。
- 「自由研究」に自由研究の進め方を示している。
- 3～6年で、防災や減災について紹介するコーナーを設けている。
「みんなで使う理科室」において、地震が起きたときの対処について示している。

4 内容の表現・表記

視点⑦ 挿絵・写真等の示し方

- 4年「ヒトの体のつくりと運動」

〔関節〕

- ・ 手のレントゲン写真
- ・ 腕の関節の絵

〔筋肉の伸び縮み〕

- ・ 腕の筋肉の伸び縮みの絵

視点⑧ 配色や文字の大きさ等の工夫

- カラーユニバーサルデザインに配慮している。
- ユニバーサルデザインフォントを採用している。
- 国語科の配当学年に準じて漢字を使用し、当該学年の配当漢字には、見開き単位で初出の際に振り仮名を付けている。

5 言語活動の充実

視点⑨ 観察・実験の結果を整理し、考察する学習活動の工夫

- 3年「光のせいしつ」

〔実験〕 「はね返した日光を重ねたときの明るさと温度」

〔結果〕 鏡の枚数（0、1、3枚）と明るさと温度の関係を一つの表にまとめて表している。

かがみの数	0まい	1まい	3まい
明るさ	暗い	明るい	1まいのときより明るい
温度	21℃	27℃	35℃

- 6年「水よう液の性質」

〔問題〕 「塩酸に金属がとけた液体から出てきた固体は、もとの金属と同じものなのだろうか。」

〔考察より〕 先生の「結果から、実験5で出てきた固体は、もとの金属と同じものといえるでしょうか。」という吹き出しと、児童の思考の例を吹き出しで掲載している。

児童が理科の考え方を働かせている内容にマーカーを引いている。

4 意見

広島市教科用図書採択審議会では、本市児童の課題である「実験で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述すること」に対応する各教科書の特徴について、広島市教科用図書採択審議会調査員が作成した「令和6年度から使用する小学校用教科用図書の調査・研究報告書」を基に審議した。

意見1 教育出版の教科書は、本市で使用する教科書としてよりふさわしい。

(理由)

- ・ 考察場面では、児童の思考の例を吹き出しで示し、理科の見方・考え方を働かせている内容にマーカーと「理科の見方のカギ」「理科の考え方のカギ」マークを付して強調するとともに、先生キャラクターがその内容を価値付ける吹き出しを示しており、児童や教員が、理科の見方・考え方を働かせることを意識できるようにしている。
- ・ 3年「光」の「光を重ねる・集める」では、鏡の数と明るさの関係、鏡の数と温度の関係の順に、段階を踏んで調べることができるようにしている。さらに、結果の整理の仕方については、光を当てる前と後の温度を表に整理しており、温度の変化の様子を比べやすい。

意見2 新興出版社啓林館の教科書は、本市で使用する教科書としてふさわしい。

(理由)

- ・ 考察場面では、児童の思考の例を吹き出しで示し、理科の見方・考え方を働かせている内容にマーカーを引いて強調し、児童や教員が理科の見方・考え方を働かせることを意識できるようにしている。
- ・ 「問題をつかもう」から「まとめ」までの問題解決の過程が意識できるように示され、自分が問題解決の過程のどこにいるのかが明確になるとともに、学習を見通し、振り返ることができるようにしている。

令和6年度から使用する広島市立小学校用教科用図書の採択について（答申）

教科〔生活〕 種目〔生活〕

令和6年度から使用する小学校用教科用図書の採択について

教科 [生活] 種目 [生活]

1 本市の実態や児童の状況

- 本市では、学校の立地条件により、体験活動の種類や実施方法は様々であるが、各学校の特色を生かした授業づくりを行っている。また、「学校教育活動地域連携推進事業」を活用し、地域の野菜作りや乗馬体験といった地域の特性を生かした特色ある取組を行うなど、多様な体験活動を行うための人的環境が整っている地域が多く、児童が地域の方との交流を生かした学習を行うことができている。
- 児童は就学前において幼稚園や保育園等でさまざまな体験活動をしており、その経験を活かしながら意欲的に学習に取り組んでいる。児童が他者と伝え合ったり、振り返ったりすることで、無自覚だった気づきを自覚したり、一人一人に生まれた個別の気づきを関連付けたりする姿は見られるが、自分自身を見つめることを通して自分のよさや可能性に気付くことには課題が残っている。

2 調査・研究の観点と視点

観 点	視 点
＜基礎・基本の定着＞	① 具体的な活動や体験を通す工夫 ② 生活上必要な習慣や知識及び技能を身に付ける工夫 ③ 自分自身や自分の生活について考えるための工夫 ④ 自分自身と身近な人々、社会及び自然との関わりに関心をもつための工夫
＜主体的に学習に取り組む工夫＞	⑤ 単元の目標の示し方及びまとめを行うための工夫 ⑥ 学習の見通しをもたせるための工夫
＜内容の構成・配列・分量＞	⑦ 単元・内容の配列及び分量
＜内容の表現・表記＞	⑧ 適切な写真や挿絵等の活用 ⑨ 配色や文字の大きさ等の工夫
＜言語活動の充実＞	⑩ 伝え合う活動を通した交流の場の設定やその工夫

3 各教科書の特徴

1 基礎・基本の定着

視点① 具体的な活動や体験を通す工夫

- 学校、学校の周り、公園、地域（町探検）での活動を設定している。
- 植物を育てる活動を設定している。
- 生き物と触れ合う活動を設定している。
- 身近な自然を観察したり、季節を楽しんだりする活動を設定している。
- 家庭生活に関する活動を設定している。
- 身近な自然や身近にある物を利用して遊んだり、遊びを工夫したりする活動を設定している。
- 次学年に向けて新1年生を招待したり、自分の成長を振り返ったりする活動を設定している。

視点② 生活上必要な習慣や知識及び技能を身に付ける工夫

- 健康や安全、生活習慣に関わることを「やくそく」として示している。
- 上巻「がっこうだいすき」では、生活上必要な習慣を示している。
 - ・ 病気の予防に努める
 - ・ 安全への意識を高める
 - ・ 施設や公共の場所のルールやマナーを守る
 - ・ 適切な挨拶や言葉遣いができる

視点③ 自分自身や自分の生活について考えるための工夫

- 下巻「あしたへジャンプ」では、次のような活動を示している。
 - ・ 成長した自分について振り返る活動
 - ・ 友達のよさを交流する活動
 - ・ 家族や身近な人に自分の成長について聞く活動

視点④ 自分自身と身近な人々、社会及び自然との関わりに関心をもつための工夫

- 季節の変化の様子を比べる活動を設定している。
 - ・ 校庭、公園、町
- 町探検を3回設定し、同じ場所、人に繰り返し関わる活動を設定している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点⑤ 単元の目標の示し方及びまとめを行うための工夫

- 「！」「？」「▽」の記号で主に育成を目指す3つの資質・能力を示し、活動のめあてを示している。
- 上巻「じぶんでできるよ」では、単元の終末を次のように取り扱っている。
 - ・ 家族の一員として取り組んだことやその時の気持ちを伝え合う活動を示している。
 - ・ 取り組んだことを生活に生かせるよう挿絵と吹き出しで示している。

視点⑥ 学習の見通しをもたせるための工夫

- 入学当初の小学校生活の様子を写真で示し、幼稚園教育要領にある10の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を挿絵で示している。
- 学習の見通しをもたせるため、写真と吹き出しを示している。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑦ 単元・内容の配列及び分量

- 単元数 上巻：9単元 下巻：9単元
- 判型A4判 上巻：130ページ 下巻：122ページ
- 活動の際、必要に応じて参考にできる資料「かつどうべんりてちょう」を各巻末に設けている。
- 季節の流れに沿って単元が配列・構成されている。

4 内容の表現・表記

視点⑧ 適切な写真や挿絵等の活用

- 上巻の栽培に関わる単元では、アサガオの成長の過程や、発芽の様子を写真で示している。また、7種類の植物の成長の過程を比較できるように写真で示している。
- 上巻の飼育に関わる単元では、6種類の虫と3種類の動物を写真で示している。

視点⑨ 配色や文字の大きさ等の工夫

- カラーユニバーサルデザインに配慮している。
- ユニバーサルデザインフォントを採用している。

5 言語活動の充実

視点⑩ 伝え合う活動を通じた交流の場の設定やその工夫

- 下巻「つながる 広がる わたしの生活」では、5種類の表現方法で伝え合う活動を示している。
 - ・ 新聞、ポスター、パンフレット、動画、電子黒板

1 基礎・基本の定着

視点① 具体的な活動や体験を通す工夫

- 学校、学校の周り、公園、地域（町探検）での活動を設定している。
- 植物を育てる活動を設定している。
- 生き物と触れ合う活動を設定している。
- 身近な自然を観察したり、季節を楽しんだりする活動を設定している。
- 家庭生活に関する活動を設定している。
- 身近な自然や身近にある物を利用して遊んだり、遊びを工夫したりする活動を設定している。
- 次学年に向けて新1年生を招待したり、自分の成長を振り返ったりする活動を設定している。

視点② 生活上必要な習慣や知識及び技能を身に付ける工夫

- 健康や安全、生活習慣に関わることを「やくそく」として示している。
- 上巻「みんななかよし」では、生活上必要な習慣を示している。
 - ・ 安全への意識を高める
 - ・ 施設や公共の場所のルールやマナーを守る
 - ・ 適切な挨拶や言葉遣いができる

視点③ 自分自身や自分の生活について考えるための工夫

- 下巻「わたし ひろがれ」では、次のような活動を示している。
 - ・ 自分のよさや友達のよさを見つける活動
 - ・ 友達のよさを交流する活動
 - ・ 家族や身近な人に小さかった頃の自分について聞く活動

視点④ 自分自身と身近な人々、社会及び自然との関わりに関心をもつための工夫

- 季節の変化の様子を比べる活動を設定している。
 - ・ 校庭、公園、町
- 町探検を2回設定し、同じ場所、人に繰り返し関わる活動を設定している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点⑤ 単元の目標の示し方及びまとめを行うための工夫

- 課題文と本文を示し、何をすればよいのかを示している。
- 上巻「かぞくだいすきだよ」では、単元の終末を次のように取り扱っている。
 - ・ 家族の一員として取り組んだことやその時の気持ちを伝え合う活動を示している。
 - ・ 取り組んだことを生活に生かせるよう挿絵とキャラクターの吹き出しで示している。

視点⑥ 学習の見通しをもたせるための工夫

- 入学当初の小学校生活の様子を写真や挿絵で示し、幼児期の経験を挿絵で示している。
- 学習の見通しをもたせるため、写真と吹き出しを示している。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑦ 単元・内容の配列及び分量

- 単元数 上巻：4単元 下巻：6単元
- 判型A4判 上巻：140ページ 下巻：128ページ
- 活動の際、必要に応じて参考にできる資料「がくしゅうのどうぐばこ」を各巻末に設けている。
- 季節の流れに沿って単元が配列・構成されている。

4 内容の表現・表記

視点⑧ 適切な写真や挿絵等の活用

- 上巻の栽培に関わる単元では、アサガオの成長の過程や、発芽の様子を写真で示している。
- 上巻の飼育に関わる単元では、6種類の動物を写真で示している。また、学校の近くの野原と9種類の虫をイラストで示している。

視点⑨ 配色や文字の大きさ等の工夫

- カラーユニバーサルデザインに配慮している。
- ユニバーサルデザインフォントを採用している。

5 言語活動の充実

視点⑩ 伝え合う活動を通じた交流の場の設定やその工夫

- 下巻「町のキラリ ひろがれ」では、6種類の表現方法で伝え合う活動を示している。
 - ・ 紙芝居、動画、地図、ポスター、実演、電子黒板

1 基礎・基本の定着

視点① 具体的な活動や体験を通す工夫

- 学校、学校の周り、公園、地域（町探検）での活動を設定している。
- 植物を育てる活動を設定している。
- 生き物と触れ合う活動を設定している。
- 身近な自然を観察したり、季節を楽しんだりする活動を設定している。
- 家庭生活に関する活動を設定している。
- 身近な自然や身近にある物を利用して遊んだり、遊びを工夫したりする活動を設定している。
- 次学年に向けて新1年生を招待したり、自分の成長を振り返ったりする活動を設定している。

視点② 生活上必要な習慣や知識及び技能を身に付ける工夫

- 健康や安全、生活習慣に関わることを「！」と「やくそく」として示している。
- 上巻「がっこうたんけん」では、生活上必要な習慣を示している。
 - ・ 施設や公共の場所のルールやマナーを守る
 - ・ 適切な挨拶や言葉遣いができる

視点③ 自分自身や自分の生活について考えるための工夫

- 下巻「わたしたんけん」では、次のような活動を示している。
 - ・ 成長した自分について振り返る活動
 - ・ 友達のよさを交流する活動
 - ・ 家族や身近な人に小さかった頃の自分について聞く活動

視点④ 自分自身と身近な人々、社会及び自然との関わりに関心をもつための工夫

- 季節の変化の様子を比べる活動を設定している。
 - ・ 町
- 町探検を2回設定し、同じ場所、人に繰り返し関わる活動を設定している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点⑤ 単元の目標の示し方及びまとめを行うための工夫

- 活動内容や活動につながる児童の言葉を示している。
- 上巻「ありがとうがいっぱい」では、単元の終末を次のように取り扱っている。
 - ・ 家族の一員として分かったことを伝え合う活動を示している。
 - ・ 家族に感謝の気持ちを手紙で伝える活動を示している。
 - ・ 「もっとつづきたいな」で、取り組んだことを生活に生かせるよう写真と挿絵、言葉で示している。

視点⑥ 学習の見通しをもたせるための工夫

- 入学当初の小学校生活の様子を写真や挿絵で示している。
- 学習の見通しをもたせるため、写真と吹き出しを示している。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑦ 単元・内容の配列及び分量

- 単元数 上巻：10単元 下巻：6単元
- A4変形判 上巻：140ページ 下巻：132ページ
- 活動の際、必要に応じて参考にできる資料「まなびかたずかん」を各巻末に設けている。
- 季節の流れに沿って単元が配列・構成されている。

4 内容の表現・表記

視点⑧ 適切な写真や挿絵等の活用

- 上巻の栽培に関わる単元では、アサガオの成長の過程や、発芽の様子を写真で示している。また、3種類の植物の種や発芽の様子を比較できるように写真で示している。
- 上巻の飼育に関わる単元では、5種類の動物を写真で示している。また、校庭のイラストを示し、8種類の虫を写真で示している。

視点⑨ 配色や文字の大きさ等の工夫

- カラーユニバーサルデザインに配慮している。
- ユニバーサルデザインフォントを採用している。

5 言語活動の充実

視点⑩ 伝え合う活動を通じた交流の場の設定やその工夫

- 下巻「あの人に会いたいな」では、7種類の表現方法で伝え合う活動を示している。
 - ・ 新聞、ポスター、絵本、地図、作文、巻物、電子黒板

1 基礎・基本の定着

視点① 具体的な活動や体験を通す工夫

- 学校、学校の周り、公園、地域（町探検）での活動を設定している。
- 植物を育てる活動を設定している。
- 生き物と触れ合う活動を設定している。
- 身近な自然を観察したり、季節を楽しんだりする活動を設定している。
- 家庭生活に関する活動を設定している。
- 身近な自然や身近にある物を利用して遊んだり、遊びを工夫したりする活動を設定している。
- 次学年に向けて新1年生を招待したり、自分の成長を振り返ったりする活動を設定している。

視点② 生活上必要な習慣や知識及び技能を身に付ける工夫

- 健康や安全、生活習慣に関わることを「やくそく」と「できるかな」として示している。
- 上巻「わくわく ときどき しょうがっこう」では、生活上必要な習慣を示している。
 - ・ 病気の予防に努める
 - ・ 安全への意識を高める
 - ・ 施設や公共の場所のルールやマナーを守る
 - ・ 遊びのルールを守る
 - ・ 適切な挨拶や言葉遣いができる

視点③ 自分自身や自分の生活について考えるための工夫

- 下巻「あしたへ つなぐ 自分たんけん」では、次のような活動を示している。
 - ・ 自分の成長について思い出す活動
 - ・ 友達のよさを交流する活動
 - ・ 家族や身近な人に自分の成長について聞き、前の自分と今の自分を比べる活動

視点④ 自分自身と身近な人々、社会及び自然との関わりに関心をもつための工夫

- 季節の変化の様子を比べる活動を設定している。
 - ・ 公園、町
- 町探検を2回設定し、同じ場所、人に繰り返し関わる活動を設定している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点⑤ 単元の目標の示し方及びまとめを行うための工夫

- 子どもから引き出したい「きづく」「じぶんでできる」「かんがえる」「つたえる」「ちょうせんする」「じしんをもつ」の6つの「力」を示し、めあてを示している。
- 上巻「かぞくにこにこ大きくせん」では、単元の終末を次のように取り扱っている。
 - ・ 家族の一員として取り組んだことやその時の家族の気持ちを伝え合う活動とともに、伝える方法を複数示している。
 - ・ 家族や身近な人に感謝の気持ちを手紙で伝える活動を示している。
 - ・ 「つたえたいな」で、取り組んだことを生活に生かせるよう挿絵と言葉で示している。また、「ぐんぐんはしご」を用いて自己評価ができるようにしている。

視点⑥ 学習の見通しをもたせるための工夫

- 入学当初の小学校生活の様子を写真で示し、幼稚園教育要領にある10の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を挿絵で示している。
- 学習の見通しをもたせるため、写真と吹き出しを示し、「わくわくすいっち」を設けている。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑦ 単元・内容の配列及び分量

- 単元数 上巻：9単元 下巻：7単元
- 判型A4判 上巻：130ページ 下巻：130ページ
- 活動の際、必要に応じて参考にできる資料「学びのポケット」を各巻末に設けている。
- 季節の流れに沿って単元が配列・構成されている。

4 内容の表現・表記

視点⑧ 適切な写真や挿絵等の活用

- 上巻の栽培に関わる単元では、アサガオの成長の過程や、発芽の様子を写真で示している。また、7種類の植物の成長の過程を比較できるように写真で示している。
- 上巻の飼育に関わる単元では、校庭のイラストを示し、3種類の虫と2種類の動物を写真で示している。

視点⑨ 配色や文字の大きさ等の工夫

- カラーユニバーサルデザインに配慮している。
- ユニバーサルデザインフォントを採用している。

5 言語活動の充実

視点⑩ 伝え合う活動を通じた交流の場の設定やその工夫

- 下巻「えがおのひみつたんけんたい」では、8種類の表現方法で伝え合う活動を示している。
 - ・ ポスター、クイズ、紙芝居、探検マップ、動作化、オンラインでのインタビュー、電子黒板、タブレット

1 基礎・基本の定着

視点① 具体的な活動や体験を通す工夫

- 学校、学校の周り、公園、地域（町探検）での活動を設定している。
- 植物を育てる活動を設定している。
- 生き物と触れ合う活動を設定している。
- 身近な自然を観察したり、季節を楽しんだりする活動を設定している。
- 家庭生活に関する活動を設定している。
- 身近な自然や身近にある物を利用して遊んだり、遊びを工夫したりする活動を設定している。
- 次学年に向けて新1年生を招待したり、自分の成長を振り返ったりする活動を設定している。

視点② 生活上必要な習慣や知識及び技能を身に付ける工夫

- 健康や安全、生活習慣に関わる知識・技能を「あぶない！」として示している。
- 上巻「うれしいな いちねんせい」では、生活上必要な習慣を示している。
 - ・ 病気の予防に努める
 - ・ 安全への意識を高める
 - ・ 遊びのルールを守る
 - ・ 適切な挨拶や言葉遣いができる

視点③ 自分自身や自分の生活について考えるための工夫

- 下巻「大きく なった わたし」では、次のような活動を示している。
 - ・ 小さい頃の自分について思い出す活動
 - ・ 家族に小さい頃の自分について聞く活動

視点④ 自分自身と身近な人々、社会及び自然との関わりに関心をもつための工夫

- 季節の変化の様子を比べる活動を設定している。
 - ・ 野原、町
- 町探検を1回設定し、身近な地域に関わる活動を設定している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点⑤ 単元の目標の示し方及びまとめを行うための工夫

- 活動内容や活動につながる言葉を示している。
- 上巻「わたしとかぞく」では、単元の終末を次のように取り扱っている。
 - ・ 家族に感謝の気持ちを伝える方法を写真で示している。
 - ・ 「こうしてみようかな」で、取り組んだことを生活に生かせるよう写真と挿絵で示している。

視点⑥ 学習の見通しをもたせるための工夫

- 入学当初の小学校生活の様子を写真や挿絵で示している。
- 学習の見通しをもたせるため、写真と吹き出しを示している。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑦ 単元・内容の配列及び分量

- 単元数 上巻：17単元 下巻：13単元
- AB判ワイド 上巻128ページ 下巻：104ページ
- 季節の流れに沿って単元が配列・構成されている。

4 内容の表現・表記

視点⑧ 適切な写真や挿絵等の活用

- 上巻の栽培に関わる単元では、アサガオの成長の過程や、発芽の様子を写真と挿絵で示している。
- 上巻の飼育に関わる単元では、7種類の生き物を写真で示している。

視点⑨ 配色や文字の大きさ等の工夫

- カラーユニバーサルデザインに配慮している。

5 言語活動の充実

視点⑩ 伝え合う活動を通じた交流の場の設定やその工夫

- 下巻「わたしたちがすむ町」では、2種類の表現方法で伝え合う活動を示している。
 - ・ 電子黒板、紙芝居

1 基礎・基本の定着

視点① 具体的な活動や体験を通す工夫

- 学校、学校の周り、公園、地域（町探検）での活動を設定している。
- 植物を育てる活動を設定している。
- 生き物と触れ合う活動を設定している。
- 身近な自然を観察したり、季節を楽しんだりする活動を設定している。
- 家庭生活に関する活動を設定している。
- 身近な自然や身近にある物を利用して遊んだり、遊びを工夫したりする活動を設定している。
- 次学年に向けて新1年生を招待したり、自分の成長を振り返ったりする活動を設定している。

視点② 生活上必要な習慣や知識及び技能を身に付ける工夫

- 健康や安全、生活習慣に関わる知識・技能を「あんぜん」として示している。
- 上巻「なかよし いっぱい がっこう たんけん」では、生活上必要な習慣を示している。
 - ・ 病気の予防に努める
 - ・ 安全への意識を高める
 - ・ 施設や公共の場所のルールやマナーを守る
 - ・ 適切な挨拶や言葉遣いができる

視点③ 自分自身や自分の生活について考えるための工夫

- 下巻「広がれ わたし」では、次のような活動を示している。
 - ・ 成長した自分について振り返る活動
 - ・ 友達のよさを交流する活動
 - ・ 家族や身近な人に自分の成長について聞く活動

視点④ 自分自身と身近な人々、社会及び自然との関わりに関心をもつための工夫

- 季節の変化の様子を比べる活動を設定している。
 - ・ 町
- 町探検を3回設定し、同じ場所、人に繰り返し関わる活動を設定している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点⑤ 単元の目標の示し方及びまとめを行うための工夫

- 活動内容や活動につながる児童の言葉を示している。
- 上巻「みんなのこにこ大きくせん」では、単元の終末を次のように取り扱っている。
 - ・ 家族の一員としてがんばったことや分かったことを伝え合う活動を示している。
 - ・ 「たのしいまい日につなげよう」で、取り組んだことを生活に生かせるよう振り返りの手順を示している。

視点⑥ 学習の見通しをもたせるための工夫

- 入学当初の小学校生活の様子を写真や挿絵で示している。
- 学習の見通しをもたせるため、写真と吹き出しを示している。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑦ 単元・内容の配列及び分量

- 単元数 上巻：9単元 下巻：9単元
- 判型A4判 上巻：137ページ 下巻：127ページ
- 活動の際、取り出して必要に応じて参考のできる資料「ひろがるせいかつじてん」を上巻巻末に設けている。
- 季節の流れに沿って単元が配列・構成されている。

4 内容の表現・表記

視点⑧ 適切な写真や挿絵等の活用

- 上巻の栽培に関わる単元では、アサガオの成長の過程や、発芽の様子を写真で示している。
- 上巻の飼育に関わる単元では、5種類の虫と2種類の動物を写真で示している。

視点⑨ 配色や文字の大きさ等の工夫

- カラーユニバーサルデザインに配慮している。
- ユニバーサルデザインフォントを採用している。また、書き文字と差異を生じないフォントを採用している。

5 言語活動の充実

視点⑩ 伝え合う活動を通じた交流の場の設定やその工夫

- 下巻「みんなにつたえよう すてきなまち」では、3種類の表現方法で伝え合う活動を示している。
 - ・ 新聞、ポスター、パンフレット

1 基礎・基本の定着

視点① 具体的な活動や体験を通す工夫

- 学校、学校の周り、公園、地域（町探検）での活動を設定している。
- 植物を育てる活動を設定している。
- 生き物と触れ合う活動を設定している。
- 身近な自然を観察したり、季節を楽しんだりする活動を設定している。
- 家庭生活に関する活動を設定している。
- 身近な自然や身近にある物を利用して遊んだり、遊びを工夫したりする活動を設定している。
- 次学年に向けて新1年生を招待したり、自分の成長を振り返ったりする活動を設定している。

視点② 生活上必要な習慣や知識及び技能を身に付ける工夫

- 健康や安全、生活習慣に関わる知識・技能を「けんこうにすごそう」、「あんぜんにすごそう」として示している。
- 上巻「いくぞ！がっこうたんけんたい」では、生活上必要な習慣を示している。
 - ・ 病気の予防に努める
 - ・ 安全への意識を高める
 - ・ 施設や公共の場所のルールやマナーを守る
 - ・ 適切な挨拶や言葉遣いができる

視点③ 自分自身や自分の生活について考えるための工夫

- 下巻「これまでの わたし これからの わたし」では、次のような活動を示している。
 - ・ 成長した自分について振り返る活動
 - ・ 友達のよさを交流する活動
 - ・ 家族や身近な人に自分の成長について聞く活動

視点④ 自分自身と身近な人々、社会及び自然との関わりに関心をもつための工夫

- 季節の変化の様子を比べる活動を設定している。
 - ・ 校庭
- 町探検を2回設定し、同じ場所、人に繰り返し関わる活動を設定している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点⑤ 単元の目標の示し方及びまとめを行うための工夫

- 小単元名や次の活動につながる児童の言葉を示している。
- 上巻「じぶんでチャレンジ大きくせん」では、単元の終末を次のように取り扱っている。
 - ・ 家族の一員として取り組んだことやその時の家族の様子を伝え合う活動を示している。
 - ・ 家族や身近な人に感謝の気持ちを手紙で伝える活動を示している。
 - ・ 「ひろがる きもち」で、取り組んだことを生活に生かせるよう挿絵と言葉で示している。

視点⑥ 学習の見通しをもたせるための工夫

- 幼稚園教育要領にある「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」をもとに幼児期の様子を写真で示し、入学当初の小学校生活の様子を写真や挿絵で示している。
- 学習の見通しをもたせるため、「わくわく・いきいき・ぐんぐん」として左上に示している。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑦ 単元・内容の配列及び分量

- 単元数 上巻：9単元 下巻：8単元
- AB判ワイド 上巻148ページ 下巻138ページ
- 活動の際、必要に応じて参考にできる資料「びっくりずかん」や「がくしゅうずかん」を各巻に設けている。
- 季節の流れに沿って単元が配列・構成されている。

4 内容の表現・表記

視点⑧ 適切な写真や挿絵等の活用

- 上巻の栽培に関わる単元では、アサガオの成長の過程や、発芽の様子を写真で示している。また、6種類の植物の成長の過程を比較できるように写真で示している。
- 上巻の飼育に関わる単元では、校庭や公園、動物園をイラストで示し、9種類の生き物を写真で示している。

視点⑨ 配色や文字の大きさ等の工夫

- カラーユニバーサルデザインに配慮している。
- ユニバーサルデザインフォントを採用している。

5 言語活動の充実

視点⑩ 伝え合う活動を通した交流の場の設定やその工夫

- 下巻「町のすてきつたえたい」では、10種類の表現方法で伝え合う活動を示している。
 - ・ 劇、カルタ、クイズ、廊下掲示、動画、ポスター、手紙、作文、電子黒板、タブレット

4 意見

広島市教科用図書採択審議会では、本市児童の課題である「自分自身を見つめることを通して自分のよさや可能性に気付くこと」に対応する各教科書の特徴について、広島市教科用図書採択審議会調査員が作成した「令和6年度から使用する小学校用教科用図書の調査・研究報告書」を基に審議した。

意見1 教育出版の教科書は、本市で使用する教科書としてよりふさわしい。

(理由)

- ・ 上巻の冒頭に、入学当初の小学校生活の様子を写真で示し、幼稚園教育要領にある10の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を挿絵で示しており、幼児期の教育から小学校以降の教育への円滑な接続につなげるとともに、スタートカリキュラムの編成に生かすことができるようにしている。
- ・ 単元の終末に、「ぐんぐんはしご」が設けてあり、児童が自己評価するとともに自分の成長に気付くことができるようにしている。
- ・ 下巻「えがおのひみつたんけんたい」では、ポスター、クイズ、紙芝居、探検マップ、動作化、オンラインでのインタビュー、電子黒板、タブレット等、紙媒体やICT機器など、様々な表現方法で伝え合う活動を示しており、児童が表現方法を選ぶことができるようにしている。
- ・ 活動の際、必要に応じて参考のできる資料「学びのポケット」を巻末に設けており、具体的な表現方法や気付きの質を高めるための例が示されている。

意見2 東京書籍の教科書は、本市で使用する教科書としてふさわしい。

(理由)

- ・ 上巻の冒頭に、入学当初の小学校生活の様子を写真で示し、幼稚園教育要領にある10の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を挿絵で示しており、幼児期の教育から小学校以降の教育への円滑な接続につなげるとともに、スタートカリキュラムの編成に生かすことができるようにしている。
- ・ 下巻「つながる 広がる わたしの生活」では、新聞、ポスター、パンフレット、動画、電子黒板等、紙媒体やICT機器など、様々な表現方法で伝え合う活動を示しており、児童が表現方法を選ぶことができるようにしている。
- ・ 町探検を3回設定しており、同じ場所での体験活動を何度も繰り返すことができるようにしている。

令和6年度から使用する広島市立小学校用教科用図書の採択について（答申）

教科〔音楽〕 種目〔音楽〕

令和6年度から使用する小学校用教科用図書の採択について

教科 [音楽] 種目 [音楽]

1 本市の実態や児童の状況

- 本市では、長年にわたり「文化の祭典」や「こころの劇場」など、日頃の学習の成果を発表したり本物の舞台芸術に触れたりするなど、児童の音楽経験を豊かにする場を設定してきている。また、各学校において、音楽朝会や音楽鑑賞、音楽発表会など音楽活動の楽しさを味わうことのできる機会を大切にしている。さらに、「学校教育活動地域連携推進事業」を活用し、地域人材等を指導者として招き、我が国や地域に伝わる音楽に親しむ取組を実施している学校がある。
- 広島市小学校教科研究会音楽科部会や指定校が行った研究授業から、本市の児童の実態として、学校生活だけでなく、日常生活において、楽しく音楽に関わり、音楽活動に意欲的に取り組むことが挙げられる。一方で、児童によって音楽経験の差が大きく、日常生活において我が国や郷土の伝統的な音楽に親しむ機会が非常に少ない児童もいる。また、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音楽をどのように表現するかについて思いや意図をもつことや、言葉などで適切に表現することについて課題が見られる。

2 調査・研究の観点と視点

観 点	視 点
<基礎・基本の定着>	① 題材や学習の目標等の示し方 ② 知識及び技能の習得を図るための工夫 ③ 思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫 ④ 【共通事項】の指導を充実させるための工夫
<主体的に学習に取り組む工夫>	⑤ 生活の中の音や音楽と豊かに関わるための工夫 ⑥ 教材等の扱い（児童の興味・関心や発達段階への考慮等）
<内容の構成・配列・分量>	⑦ 我が国の音楽や共通教材に関する内容の取扱い ⑧ 各領域（表現・鑑賞）の構成、分量、題材の中の思考のつながりへの配慮
<内容の表現・表記>	⑨ 文字表現・表記と学習内容の適切な関連付け ⑩ 配色や文字の大きさ等の工夫
<言語活動の充実>	⑪ 音楽科の特質に応じた言語活動充実のための工夫

3 各教科書の特徴

教
育
出
版

1 基礎・基本の定着

視点① 題材や学習の目標等の示し方

- 目次に、題材のページと同じ色の枠を付し、題材名を示している。
- 題材名は、題材冒頭の見開き左側に縦書きで示している。
- 学習目標は、見開き左側上部に横書き2色で示している。
- 「まなびナビ」のマークを付け、学習内容を示している。
- 1年間の学習の見通しを「学習マップ」で示している。また、その中で、3年以上では、「学習の進め方」コーナーを設け、学習の目的や留意点を示している。

視点② 知識及び技能の習得を図るための工夫

- 「歌声」で、声の出し方や発声の仕方等について示している。
3・4年：2か所 6年：1か所
- 「スキルアップ」のページを設け、常時活動を示している。
2年：2ページ 3年：2ページ 4年：2ページ 5年：2ページ 6年：2ページ
- 3年「こんにちは リコーダー」
 - ・ リコーダーのつくりや各部の名称を知る。
 - ・ 鑑賞曲を聴く。
 - ・ リコーダーの種類を知る。
 - ・ リコーダーの支え方、息の使い方等、リコーダーの演奏の仕方を知る。
 - ・ 「シ」の音で、長い音や短い音を吹いたり、タンギングしたりする。(表記は片仮名で「トゥ・ル」)
 - ・ 「シ」の音であいさつの言葉をまねっこして遊ぶ。
 - ・ 「シ」を使った曲を演奏する。(「シシシでおはなシ」)
 - ・ 「シラ」を使った曲を演奏する。
 - ・ 「シラソ」の音を組み合わせるで決まったリズムで吹いたり、友達とつなげて吹いたりする。
 - ・ 「シラソ」を使った曲を演奏する。

※ 「下」や「レ」は、時期をずらして扱っている。

視点③ 思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫

- 児童の作品例やワークシート例、児童の発言や会話を想定した吹き出し等を示している。
4年「音のスケッチ 音の動き方を生かしてせんりつをつくろう」(音楽づくり)
 - ・ 「低い音からだんだん高くなって、3小節めで一番もり上がるようにしたよ。」
 - ・ 「4小節めはソで終わって見たら、落ち着く感じがしたみたい。」
- 5年「音のスケッチ 和音に合わせてせんりつをつくろう」(音楽づくり)
 - ・ 「3・4小節めを、5・6小節めに続く感じで作りたいな。4小節めの最後の音を、ミヤソでためしてみよう。」
 - ・ 『茶色の小びん』みたいに、5・6小節めを1・2小節めと同じせんりつにしてみたよ。」
 - ・ 「左ページで(友達)がつくったせんりつが、落ち着く感じだから、終わりに使おう。」

視点④ 【共通事項】の指導を充実させるための工夫

- 各教材で学習する音楽を形づくっている要素について、「音楽のもと」として見開き右ページ上側に示し、中・高学年にはメモ欄を設けている。
- 巻末に『「音楽のもと」まとめ』を設け、学習で扱った音楽を形づくっている要素について説明している。(全学年)
- 学習目標に関連する音符や記号等の名称と意味を、見開き右側に示している。(3～6年)
- 巻末に音符や記号等を一覧にして示している。(2～6年)
- 各学年で、音楽の特徴を捉えるための体を動かす活動を示している。
3年「ふじ山」(歌唱)
 - ・ 「せんりつのリズムを手で打つなどして、ターンタタンタンのリズムで始まるだんと、そうでないだんを見つけよう。」
 - ・ 「それぞれのだんの、せんりつの流れを手で表してみよう。」

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点⑤ 生活の中の音や音楽と豊かに関わるための工夫

- 4年以上の巻頭に、音楽家や表現者等からのメッセージを掲載している。
- 各学年に、生活の中の音や音楽を取り扱った題材や教材等を示している。
- 6年に、音や音楽と生活との関わりについての特集がある。(「心と心をつなぐ音楽」)

視点⑥ 教材等の扱い(児童の興味・関心や発達段階への考慮等)

- 児童をイメージしたイラストに、吹き出しで学習のヒントを示している。
- 既習の音符や休符等を振り返るためのページを、「かえるの絵」とともに示している。
- 1年入学直後の学習は、体を動かす活動を取り入れた歌唱・鑑賞の活動を中心に示している。
「どんな うたが あるかな」(絵の中から歌を見つけて歌う。)
「うたって うごいて みんなで おんがく」
 - ・ おんがくに あわせて からだを うごかそう (鑑賞5曲)
 - ・ おんがくに あわせて あるこう (鑑賞：「ゴー アンド ストップ」)
 - ・ うたに あわせて かもつれっしやに なって あそぼう (歌唱：「かもつれっしや」)

- ・ うたに あわせて おはなに なって あそぼう (歌唱:「ひらいた ひらいた」)
- ・ わらべうたで あそぼう (鑑賞:「おちやらか」「なべなべ」)
- ・ うたに あわせて みぶりで あそぼう (歌唱:「かたつむり」)
- 巻末「音楽ランド」では、様々な歌唱・器楽教材を示している。(全学年)
 - ・ 教科等と関連した教材(1年「おおきなかぶ」、2年「みんなで九九」、3年「たんの歌」)
 - ・ 既習曲の英語歌詞や英語の歌(全学年「Short Time Learning」)
 - ・ 全学年同一の歌唱・器楽教材
- 3. 内容の構成・配列・分量
 - 視点⑦ 我が国の音楽や共通教材に関する内容の取扱い
 - 2～6年で、我が国の音楽を中心に扱った題材を設けている。
 - 5年「日本の音楽」の題材構成
 - ・ 歌唱:「子もり歌」
 - ・ 暮らしの中の声の表現(商売の声、すもうの呼び出し)
 - ・ 民謡の歌い方や声(鑑賞:「会津磐梯山」「音戸の舟歌」)
 - ・ 日本の民謡をたずねて(写真掲載10曲、民謡名のみ38曲)
 - ・ 歌唱:「こきりこ節」
 - ・ もっとあそぼう 歌唱:「谷茶前」
 - 共通教材は、「にっぽんのうた みんなのうた」として示したり、題材の中に位置付けて示したりしている。
 - 長い間親しまれてきた歌を、巻末の「にっぽんのうた みんなのうた」で示している。(全学年)
 - 視点⑧ 各領域(表現・鑑賞)の構成、分量、題材の中の思考のつながりへの配慮
 - 各学年の題材については、次のとおりである。
 - 全学年 8題材
 - 音楽づくりは、「音のスケッチ」として示している。
 - 巻末「音楽ランド」に、各学年の発達段階に応じた歌唱曲、器楽曲等を掲載している。(全学年)
 - 各学年で、音楽を形づくっている要素を軸にした題材構成を示している。
 - 2年「音色とリズム」
 - ・ どんな音やリズムがきこえてくるかな(鑑賞:「ゆかいな時計」)
 - ・ 楽器を選んで歌と合わせよう(器楽:「森のたんけんたい」)
 - 4. 内容の表現・表記
 - 視点⑨ 文字表現・表記と学習内容の適切な関連付け
 - 国歌は2ページで扱い、歌詞や楽譜、細石、国歌斉唱場面の写真等を示している。
 - 共通教材では、イラストや写真で歌詞の表す情景を示すとともに、教材によっては、曲の情景を表す写真を、縦書きの歌詞とともに3ページにわたり示している。(3年「ふじ山」、4年「さくら さくら」、5年「こいのぼり」、6年「おぼろ月夜」)
 - 視点⑩ 配色や文字の大きさ等の工夫
 - カラーユニバーサルデザインに配慮している。
 - ユニバーサルデザインフォントを採用している。
 - 5. 言語活動の充実
 - 視点⑪ 音楽科の特質に応じた言語活動充実のための工夫
 - 各学年で、聴き取ったことや感じ取ったことをもとに思考・判断し、理解したことを言葉や音楽で表現できるような言語活動を示している。
 - 6年「アンサンブルのみりよく」(歌唱:「ぼくらの日々」)
 - ・ 「曲全体のイメージやいいなと思ったところを話し合おう。」
 - ・ 「演奏を録音してきいたり、だれかにきいてもらったりして、自分たちの思いや意図が伝わっているか、『もっとこうしたいな』と思うところを話し合おう。」
 - 4年「音楽のききどころ」(鑑賞:「ノルウェー舞曲 第2番」)
 - ・ 「音楽に合わせて体を動かしたり、歩いたり、しきの動きをしたりしながらきいて、気がついたことや感じ取ったことを友達とお話しよう。」
 - ・ 「下の表をもとにしながらきいて、きき取ったことなどを書いておこう。」
 - ・ 聴き取ったことや音楽の感じ等を記入する欄。
 - ・ 「表に書いたことをもとに、この曲のよいなと思ったところやおもしろいなと思ったところなどを、友達と伝え合い、全体を味わってきこう。」
 - 2年から6年の巻末に、聴き取ったことや感じ取ったことを言葉で表す「音楽を表すいろいろな言葉」を掲載している。

1 基礎・基本の定着

視点① 題材や学習の目標等の示し方

- 目次に、題材のページと同じ色の枠を付し、題材名を示している。
- 題材名は、題材冒頭の見開き左側に縦書きで示し、その下に題材のねらいを示している。
- 学習目標は、見開き左側上部に横書き1色で示している。
- 「考える」「見つける」「歌う・演奏する・つくる」のマークを付け、学習内容を示している。
- 1年間の学習の見通しを「学習マップ」で示している。また、その中で、「考える」「見つける」「歌う・演奏する・つくる」のマークについて説明している。
- 各題材の最後のページに、学習のまとめを示している。

視点② 知識及び技能の習得を図るための工夫

- 「歌声ルーム」で、体や息の使い方等について示している。
1年：1か所 2年：1か所 3年：2か所 4年：2か所 5年：3か所 6年：2か所
- 「そだてよう」のマークを付け、常時活動を示している。
1年：3か所 2年：4か所 3年：5か所 4年：2か所
- 3年「リコーダーのひびきに親しもう」
 - ・ リコーダーのつくりや各部の名称を知る。
 - ・ 参考曲を聴いたり、ヘッドピースと息を使った音あそびをしたりする。
 - ・ リコーダーの支え方、トーンホールの閉じ方等、リコーダーの演奏の仕方を知る。
 - ・ 鑑賞曲を聴く。
 - ・ タンギングと息の使い方を知る。(表記はローマ字で「tu」)
 - ・ 「シ」の音でまねっこあそびをする。
 - ・ 「シラ」を使った曲を演奏する。
 - ・ 「シラソ」を使った曲を演奏する。
 - ・ 「下」を扱った曲を演奏する。
 - ・ 「レ」を扱った曲を演奏する。

視点③ 思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫

- 児童の作品例やワークシート例、児童の発言や会話等を想定した吹き出しを示している。
4年「日本の音楽でつながろう」(音楽づくり：『さくら さくら』の音階でせんりつづくり)
 - ・ 「だれかのせんりつを、2回使うことになるんだね。」
 - ・ 「だれとだれのせんりつをつなげると、せんりつの音の動きが自然になるかな。」
 - ・ 「ひなさんのせんりつを、始めと終わりに使って、ためしにつなげてみようよ。」
- 5年「いろいろな音のひびきを味わおう」(音楽づくり：「打楽器でリズムアンサンブル」)
 - ・ 「楽器をふやしていき、だんだん集まってくるイメージにしました。」
 - ・ 「友達どうしでおしゃべりをするようなイメージにしました。」
 - ・ 「音色の組み合わせが楽しめるように、5回目と6回目の組み合わせをもう一度くり返してみました。」

視点④ 〔共通事項〕の指導を充実させるための工夫

- 各教材で学習する音楽を形づくっている要素について、主に見開き右ページ下に示している。
- 巻末に学習したことを振り返る「ふり返りのページ」を設け、学習で扱った音楽を形づくっている要素について説明している。(全学年)
- 学習目標に関連する記号や音符等の名称と意味を、「がくふマスター」で示している。(2～6年)
- 巻末に音符や記号等を一覧にし、ページ番号とともに示している。(2～6年)
- 各学年で、音楽の特徴を捉えるための体を動かす活動を示している。
3年 「ふじ山」(歌唱)
 - ・ 「いちばん高い音はどこにあるのかな。楽譜のせんりつを指でたどって見つけてみよう。」

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点⑤ 生活の中の音や音楽と豊かに関わるための工夫

- 3年以上の巻頭に、音楽家や構成作家等からのメッセージを掲載している。また、3・5年の鑑賞教材、3・4年の器楽教材のページに、演奏者からのメッセージを掲載している。
- 各学年に、生活の中の音や音楽を取り扱った題材や教材等を示している。
- 6年に、音や音楽と生活との関わりについての特集がある。(「著作権について知ろう」「音楽のもっている力や役割」)

視点⑥ 教材等の扱い(児童の興味・関心や発達段階への考慮等)

- キャラクターを設定し、仕草や吹き出しなどで、学習のヒントを示している。
- 既習の学習内容や音符等を振り返るためのページや学年を、「おもいだそう」で示している。
- 1年入学後の学習は、体を動かす活動を取り入れた歌唱・鑑賞の活動を中心に示している。
「うたって おどって なかよく なろう」
 - ・ きいて うごこう(鑑賞：「どみそらんど」)
 - ・ うたって なかよく なろう(絵の中から歌を見つけて歌う。)
 - ・ ともだちと いっしょに おどりましょう。(鑑賞：「セブン ステップス」「チェツ チェツ コリ」)

- ・ みんなで あそびながら たのしく うたいましょう。(歌唱:「ひらいた ひらいた」)
- 巻末「みんなで楽しく」では、様々な歌唱・器楽教材を示している。(2～6年)
 - ・ 教科等と関連した教材(4年「ごんぎつね」)
 - ・ 英語の歌(3～6年)
- 6年の巻末に、鑑賞資料を示している。
- 3 内容の構成・配列・分量
 - 視点⑦ 我が国の音楽や共通教材に関する内容の取扱い
 - 全学年で、我が国の音楽を中心に扱った題材を設けている。
 - 5年「日本の音楽に親しもう」の題材構成
 - ・ 鑑賞:「春の海」
 - ・ 歌唱:「子もり歌」
 - ・ チャレンジ 「二つの旋律の感じを確かめながら、ことでひいてみましょう。」
 - ・ 鑑賞:「ソーラン節」「かりぼし切り歌」
 - ・ チャレンジ 鑑賞:「小さな淡黄色の馬」
 - ・ チャレンジ 「日本の民謡めぐり」(写真掲載9曲)
 - 共通教材は、「こころのうた」として、題材の中に位置付けて示している。
 - 長い間親しまれてきた歌を、巻末の「歌いごう 日本の歌」で示している。(全学年)
 - 視点⑧ 各領域(表現・鑑賞)の構成、分量、題材の中の思考のつながりへの配慮
 - 各学年の題材については、次のとおりである。
 - 1・2年:10題材 3・4年:9題材 5年:8題材 6年:7題材
 - 巻末に、各学年の発達段階に応じた歌唱曲、器楽曲等を掲載している。(2～6年)
 - 各学年で、音楽を形づくっている要素を軸にした題材構成を示している。
 - 2年「いろいろな がっきの 音を さがそう」
 - ・ いろいろな がっきの 音の 中から すきな 音を さがしましょう。(鑑賞:「だがっきパーティー」)
 - ・ がっきの 音の くみあわせを 楽しみましょう。(音楽づくり)
 - ・ いろいろな がっきの 音を かさねて えんそうしましょう。(器楽:「かぼちゃ」)
 - 4 内容の表現・表記
 - 視点⑨ 文字表現・表記と学習内容の適切な関連付け
 - 国歌は2ページで扱い、歌詞や楽譜、細石、国歌斉唱場面の写真等を示している。
 - 共通教材では、イラストや写真で歌詞の表す情景を示している。
 - 視点⑩ 配色や文字の大きさ等の工夫
 - カラーユニバーサルデザインに配慮している。
 - ユニバーサルデザインフォントを採用している。
 - 5 言語活動の充実
 - 視点⑪ 音楽科の特質に応じた言語活動充実のための工夫
 - 各学年で、聴き取ったことや感じ取ったことをもとに思考・判断し、理解したことを言葉や音楽で表現できるような言語活動を示している。
 - 6年「曲想の変化を楽しもう」(歌唱:「思い出のメロディー」)
 - ・ 「下の注目するポイントに気を付けながら歌い、ア、イ、ウそれぞれの曲想について、感じたことや気付いたことを表に書いて、話し合ひましょう。」
 - ・ 「感じたこと」や「気付いたこと」を書く欄。
 - 4年「思いを音楽で表そう」(鑑賞:「パールギョント」第1組曲から 「山の魔王の宮殿にて」「朝の気分」)
 - ・ 「曲全体を通してきき、この曲のよさやおもしろさについて友達と話し合ひましょう。」

4 意見

広島市教科用図書採択審議会では、本市児童の課題である「児童によって音楽経験の差が大きく、日常生活において我が国や郷土の伝統的な音楽に親しむ機会が非常に少ない児童もいる」「聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音楽をどのように表現するかについて思いや意図をもつことや、言葉などで適切に表現することについて課題が見られる」ことに対応する各教科書の特徴について、広島市教科用図書採択審議会調査員が作成した「令和6年度から使用する小学校用教科用図書の調査・研究報告書」を基に審議した。

意見1 教育出版の教科書は、本市で使用する教科書としてよりふさわしい。

(理由)

- ・ 音楽づくりの活動では、どのような音楽をつくりたいか、児童が思いや意図をもつことができるよう、活動の流れについて、文や図、児童の作品例、イラスト、吹き出しで示している。また、選んだ音や音の動き方等を記述する欄を設けている。
- ・ 学年に応じて、我が国の音楽を扱った題材や教材を示している。
- ・ 各学年の巻末に「『音楽のもと』まとめ」を設け、学習で扱った音楽を形づくっている要素について説明している。2年以上には、「音楽を表すいろいろな言葉」が掲載されており、言葉を使って聴き取ったことや感じ取ったことなどを表現し伝え合うことができるようにしている。また、3年以上には、教科書に示されている言葉以外に、児童が見付けたり感じたりした音楽を表す言葉を記述する欄を設けている。

意見2 教育芸術社の教科書は、本市で使用する教科書としてふさわしい。

(理由)

- ・ 音楽づくりの活動では、どのような音楽をつくりたいか、児童が思いや意図をもつことができるよう、活動の流れについて、文や図、児童の作品例、イラスト、吹き出しで示している。また、選んだ音や音の動き方等を記述する欄を設けている。
- ・ 学年に応じて、我が国の音楽を扱った題材や教材を示している。
- ・ 各学年の巻末に、「ふり返りのページ」を設け、学習で扱った音楽を形づくっている要素について説明している。

令和6年度から使用する広島市立小学校用教科用図書の採択について（答申）

教科〔 図画工作 〕 種目〔 図画工作 〕

令和6年度から使用する小学校用教科用図書の採択について

教科 [図画工作] 種目 [図画工作]

1 本市の実態や児童の状況

- 本市では、「文化の祭典」において、児童が日頃の学習の成果を発表したり、ひろしま美術館や広島市現代美術館の利用促進事業において、児童が本物の美術作品に触れたりする場を設定する等、児童が感性を育み、豊かな情操を培う機会を大切にしている。
- 広島市小学校教育研究会図画工作科部会や指定校が行った研究授業から、本市の児童の実態として、かいたりつくったりすることが好きであり、図画工作科の学習に意欲的に取り組んでいるということが挙げられる。一方で、令和4年度全国学力・学習状況調査によると「自分の思いや考えをもとに、作品や作文などの新しいものを創り出す活動を行った」と回答した児童は68.2%（全国68.4%）であり、児童が感性や想像力等を豊かに働かせて、思考・判断し、表現したり鑑賞したりする能力の育成には課題が見られる。

2 調査・研究の観点と視点

観 点	視 点
<基礎・基本の定着>	① 題材の目標の示し方 ② 材料・用具の取扱いと表現方法の紹介 ③ 伝統と文化に関する内容の扱い
<主体的に学習に取り組む工夫>	④ 興味・関心を高めるための工夫 ⑤ 活動の流れやポイントの示し方
<内容の構成・配列・分量>	⑥ 題材の配列や分量
<内容の表現・表記>	⑦ 活動や作品の解説 ⑧ 配色や文字の大きさ等の工夫
<言語活動の充実>	⑨ 表現や鑑賞における言語活動の工夫

1 基礎・基本の定着

視点① 題材の目標の示し方

- 1・2年上「あそぼうよ パクパクさん」
題材の目標は「学習のめあて」として3観点で示している。
 - ・ 知識及び技能 ————— ・ あらわしたいことに あわせて きりかたや はりかたをくふうする。
 - ・ 思考力、判断力、表現力等 ——— ・ うごかして たのしい パクパクさんを かんがえる。
 - ・ 学びに向かう力、人間性等 ——— ・ パクパクさんで あそぶことを たのしむ。
- 「学習のめあて」の中で、特に大切なめあてには、赤字で下線を付している。
- 振り返りは題材ごとに、児童に問いかける形で示している。

視点② 材料・用具の取扱いと表現方法の紹介

- 安全に活動するために気を付けるべきことは、題材ページ及び「学びの資料」において、「!安全」として囲みを設け、イラストや写真、文章で示している。
- 各題材の上部に、主に用いる材料と用具をマークで示している。下部には、それらの詳しい使い方の方の参照ページを示している。
- 化学接着剤の使い方を示している。(1・2年上)
- グルーガンの使い方を示している。(1・2年下)

視点③ 伝統と文化に関する内容の扱い

- 日本各地の伝統と文化に係る作品等を示している。

1・2年上：6	3・4年上：12	5・6年上：17
1・2年下：7	3・4年下：17	5・6年下：33

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点④ 興味・関心を高めるための工夫

- 各巻頭に作家のメッセージと児童の活動の写真を掲載し、社会とのつながりを示している。
- 児童が発想を広げるために、「ひらめきショートチャレンジ」を設けている。
- 表紙に児童の作品を掲載している。
- 1年間で学習する内容は、目次で領域ごとに色を分けて示している。

視点⑤ 活動の流れやポイントの示し方

- 1・2年下「まどのある たてもの」

【学習のめあて】

- ・ たてものの形や、まどのあけ方をくふうする。
- ・ どんな形に切るか考えたり、どんなたてものにしようか考えたりする。
- ・ カッターナイフで紙を切つてつくることをたのしむ。

【導入の言葉】

カッターナイフで紙を切つて立ててみると、たてものに見えてくるよ。まどやとびらをひらいてみたら、あっ、いいこと思いついた！さあ、どんなたてものにしようかな。

【活動の流れ】

順序を示し、活動の様子を写真で吹き出しとともに示している。

- ・ かくかくした形も いいよね。
- ・ なみなみの 形に 切ってみようかな。
- ・ 紙を 丸めて 立ててみようかな。
- ・ 紙を つけたり おりまげたりしても 立てられるね。
- ・ とびらにも のぞきまどをつくったら たのしそう。
- ・ 細い 紙を おって、空中かいだんだ。
- ・ 魚、なみ、貝のベッド。「海のたてもの」もつくれるかな。

【ポイント】

キャラクターとともに吹き出しで示している。

- ・ 切った 紙の 形から たてものを 考えよう。

- 「安全」「かたづけ」「ふりかえり」のコーナーを設け、ポイントをマークと一文で示している。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑥ 題材の配列や分量

- 判型A4版

1・2年上：66ページ	3・4年上：66ページ	5・6年上：66ページ
1・2年下：66ページ	3・4年下：66ページ	5・6年下：70ページ

開
隆
堂
出
版

○ 題材数

1・2年上:	造形遊び (4)	絵 (7)	立体 (4)	工作 (7)	鑑賞 (1)
1・2年下:	造形遊び (4)	絵 (7)	立体 (3)	工作 (8)	鑑賞 (1)
3・4年上:	造形遊び (3)	絵 (7)	立体 (3)	工作 (8)	鑑賞 (1)
3・4年下:	造形遊び (3)	絵 (7)	立体 (3)	工作 (8)	鑑賞 (1)
5・6年上:	造形遊び (2)	絵 (7)	立体 (3)	工作 (7)	鑑賞 (1)
5・6年下:	造形遊び (2)	絵 (7)	立体 (3)	工作 (6)	鑑賞 (1)

○ 材料や用具の扱いは「学びの資料 用具や材料を知ろう」として5ページで示している。

4 内容の表現・表記

視点⑦ 活動や作品の解説

○ 3・4年下「むすんで つないで」

造形遊びの活動について、写真と解説を示している。

- ・ すき間にえだが入る！この場所でやってみよう。
- ・ どんどんつないだら どうなるかな。
- ・ 長いえだをかけると、下までつながるかな。
- ・ ここにえだをかけられるよ。ここからはじめよう。
- ・ 大きなタワーみたいになってきた。次はどこに結ぼうかな。

○ 3・4年下「ほった線から はじまるお話」

作品の解説を示している。

【夜に歌う不思議なネコ】

- ・ 26×36cm
- ・ はじめにほった形がネコのしっぽに見えたので、4本のしっぽがあるネコを表すことにしました。

【ひみつのたんけん車】

- ・ 26×36cm
- ・ 地中をほり進んでいるところなので、インクの色を車の前と後ろで変えて刷りました。

【夕やけのトンボ】

- ・ 36×26cm
- ・ 夕やけの美しさをオレンジ色と黄色のグラデーションで表しました。

【夜の海にひそむ王者】

- ・ 26×36cm
- ・ いろいろなほり方をして、王者の魚を目立つようにしました。

視点⑧ 配色や文字の大きさ等の工夫

- カラーユニバーサルデザインに配慮している。
- ユニバーサルデザインフォントを採用している。

5 言語活動の充実

視点⑨ 表現や鑑賞における言語活動の工夫

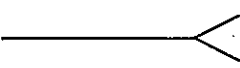


- 5・6年下「不思議なとびらのむこうには」 発想を広げる「アイデアシート」を示している。
- 5・6年下「ドリームカンパニー」 作品をプレゼンテーションする場を設定している。
- 作品の見方や考え方を広げるために、「小さな美術館」というページを設け、造形的な視点を文章とマークで示している。
- 全巻に「これまでのふりかえりをしよう」のページを設定し、友達と話し合う場を設定している。

1 基礎・基本の定着

視点① 題材の目標の示し方

- 1・2年上「いっしょにあそぼう ぱくぱくくん」

題材の目標は「学習のめあて」として、3観点(5項目)で示している。

- ・ 知識及び技能 
 - ・ ぱくぱくくんに あう かたちや いろをみつける。
 - ・ ざいりょうの つかいかたを くふうする。
- ・ 思考力、判断力、表現力等 
 - ・ うごかしながら、つくりたい ぱくぱくくんをかんがえる。
 - ・ あそびながら、たのしさを あじわう。
- ・ 学びに向かう力、人間性等 
 - ・ ためししながら、どんどん つくりかえる。

- 振り返りは題材ごとに、児童に問いかける形で示している。

視点② 材料・用具の取扱いと表現方法の紹介

- 安全に活動するために気を付けるべきことは、題材ページ及び「材料と用具のひきだし」において、「気をつけよう」として囲みを設け、イラストや写真、文章で示している。
- 各題材の下部に、主に用いる用具をマークで示している。その横に、それらの詳しい使い方の参照ページを示している。
- 化学接着剤の使い方を示している。(3・4年上)
- グルーガンの使い方を示している。(3・4年上)

視点③ 伝統と文化に関する内容の扱い

- 日本各地の伝統と文化に係る作品等を示している。

1・2年上：1 3・4年上：17 5・6年上：30

1・2年下：6 3・4年下：21 5・6年下：30

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点④ 興味・関心を高めるための工夫

- 各巻頭に「図画工作をはじめよう」のページを設定し、児童が「造形的な見方・考え方に基づいて、図画工作科で何を学ぶのかを示している。
- 児童が発想を広げるために、「図工のみかた」というページを設けている。
- 表紙に児童の作品を掲載している。
- 1年間で学習する内容は、目次で領域ごとに色を分けて示している。

視点⑤ 活動の流れやポイントの示し方

- 1・2年下「まどをあけたら」

【学習のめあて】

- ・ いろいろな まどの かたちを みつける。
- ・ まどの かたちを くふうする。
- ・ まどの かたちや、あらわしたい ことを かんがえる。
- ・ まどの かたちや さくひんの たのしさを あじわう。
- ・ いろいろな まどを あける ことを たのしむ。

【導入の言葉】

カッターナイフで どんどん きって まどを あけよう。どんなかたちの まどが できるかな。

【活動の流れ】

活動の様子を写真で吹き出しとともに示している。

- ・ ひらく まどだよ。
- ・ ジグザグの まどだよ。
- ・ まるく 立てようかな。

【ポイント】

マークやイラストとともに吹き出しで示している。

- ・ ゆっくりと きって、いろいろな かたちの まどを あけよう。
- ・ まどを ひらこう (どんな ふうに ひらくかな。)
- ・ のりしろをつかって 立たせよう (小さな かみをはる。下を きって ひろげる。)
- ・ まどから どんな せかいが ひろがっているかな。(鑑賞のヒント)

- 「気をつけよう」「かたづけ」「ふりかえり」のコーナーを設け、ポイントをマークと一文で示している。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑥ 題材の配列や分量

- 判型A4版

1・2年上：70ページ

3・4年上：66ページ

5・6年上：70ページ

1・2年下：66ページ

3・4年下：66ページ

5・6年下：70ページ

○ 題材数

1・2年上:	造形遊び (5)	絵 (7)	立体 (3)	工作 (6)	鑑賞 (3)
1・2年下:	造形遊び (4)	絵 (7)	立体 (4)	工作 (5)	鑑賞 (3)
3・4年上:	造形遊び (3)	絵 (7)	立体 (4)	工作 (5)	鑑賞 (3)
3・4年下:	造形遊び (3)	絵 (6)	立体 (3)	工作 (5)	鑑賞 (3)
5・6年上:	造形遊び (2)	絵 (6)	立体 (5)	工作 (5)	鑑賞 (2)
5・6年下:	造形遊び (2)	絵 (7)	立体 (3)	工作 (5)	鑑賞 (2)

○ 材料や用具の扱いは「材料と用具のひきだし」として8ページで示している。

4 内容の表現・表記

視点⑦ 活動や作品の解説

○ 3・4年下「組んで 立てて つなぐんぐん」
造形遊びの活動について、写真と解説を示している。

- ・ 体より高くなったよ。
- ・ 中に入るとおもしろいね。
- ・ 生えている木にもつないだよ。
- ・ だんだんふくざつな形になってきた。

○ 3・4年下「ほって すって 見つけて」
作品の解説を示している。

【ひみつの小屋】

- ・ 30×22cm

【森をたんさくするきょうりゅう】

- ・ 23×30cm

- ・ 間がさびしかったから 木をほり足したよ。

【大きなクワガタ登場！】

- ・ 36×26cm

【太陽の雨】

- ・ 24×32cm

【親子のシロクマとクジラ】

- ・ 30×45cm/うらさい色

- ・ すった後に、うらがわから絵の具で色をつけたよ。

【にこにこハート】

- ・ 30×22cm

視点⑧ 配色や文字の大きさ等の工夫

- カラーユニバーサルデザインに配慮している。
- ユニバーサルデザインフォントを採用している。

5 言語活動の充実

視点⑨ 表現や鑑賞における言語活動の工夫

- 5・6年下「わたしの大切な風景」 表し方を整理する「シンキングツール」を示している。
- 5・6年下「あったらいいなプロジェクト」 作品をプレゼンテーションする場を設定している。
- 作品の見方や考え方を広げるために、「教科書美術館」というページを設け、造形的な視点を文章とマークで示している。
- アート・カードの活用や鑑賞活動を通して、言語活動を促す「アート・カードをたのしもう」を、全巻に掲載している。
- 全巻に「ともだちの さくひんを みてはなそう」「どんなことをしたのかな」「図画工作での学びをふり返ってみよう」等のページを設定し、友達と話し合う場を設定している。

4 意見

広島市教科用図書採択審議会では、本市児童の課題である「児童が感性や想像力等を豊かに働かせて、思考・判断し、表現したり鑑賞したりする能力の育成には課題が見られる」ことに対応する各教科書の特徴について、広島市教科用図書採択審議会調査員が作成した「令和6年度から使用する小学校用教科用図書の調査・研究報告書」を基に審議した。

意見1 日本文教出版の教科書は、本市で使用する教科書としてよりふさわしい。

(理由)

- ・ めあてが3観点5項目（「知識及び技能」を「知識」と「技能」、「思考力、判断力、表現力等」を「A表現」と「B鑑賞」、「学びに向かう力、人間性等」）で示されていることにより、児童に身に付けさせたい力が明確になるとともに、鑑賞の指導に重点を置くことができるようになっている。
- ・ 児童が身の回りの材料等を用いて、様々な方法で表現している写真を示すとともに、活動のポイントを吹き出し等で示しており、児童が感性や想像力等を豊かに働かせて、思考・判断し、表現する活動を行うことができるようにしている。
- ・ アート・カードの活用や鑑賞活動を通して言語活動を促す「アート・カードをたのしもう」を全学年に掲載しており、児童がゲーム感覚で楽しみながら鑑賞活動に取り組むことができる。

意見2 開隆堂出版の教科書は、本市で使用する教科書としてふさわしい。

(理由)

- ・ めあてを3観点（「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」）で示し、重点となる部分には、赤字で下線を付して強調している。
- ・ 児童が身の回りの材料等を用いて、表現している写真を示すとともに、活動のポイントを吹き出し等で示しており、児童が感性や想像力等を働かせて、思考・判断し、表現する活動を行うことができるようにしている。

令和6年度から使用する広島市立小学校用教科用図書の採択について（答申）

教科〔家庭〕 種目〔家庭〕

令和6年度から使用する小学校用教科用図書の採択について

教科 [家庭] 種目 [家庭]

1 本市の実態や児童の状況

- 本市では、毎月19日を、本市独自の取組である3つの「わ食」（和食、輪食、環食）を推進する日として、広島市食育推進計画において定めており、学校給食においても積極的に地場産物を取り入れる等、食生活の大切さに気付かせる取り組みを行っている。
- 令和4年度全国学力・学習状況調査によると、「人の役に立つ人間になりたいと思う」と回答した児童の割合は95.4%（全国95.1%）、「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」と回答した児童は52.6%（全国51.3%）であり、人の役に立ちたいとは考えているが、地域において、日常生活の中から問題を見いだして、主体的に課題を解決しようとする能力の育成には課題が見られる。さらに、「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した児童の割合は49.6%（全国52.7%）であり、実際に、地域の人々とのつながりを実感できている児童は少ない。また、家庭生活においては、保護者の多忙感や習い事等による時間のゆとりのなさ等により、家庭で役割をもち、家族の一員として責任を果たす経験は乏しい児童が見られる。これらのことから、家族や地域の一員として、自覚をもち、家族や地域の人々と主体的に関わろうとする態度の育成については課題がある。

2 調査・研究の観点と視点

観 点	視 点
<基礎・基本の定着>	① 題材のめあてや振り返りの示し方 ② 持続可能な社会につながる内容の扱い ③ 基礎的・基本的な知識及び技能の習得の工夫
<主体的に学習に取り組む工夫>	④ 家庭・地域での実践につながる工夫 ⑤ 課題解決をする力を養う学習過程の工夫
<内容の構成・配列・分量>	⑥ 題材や資料等の配列 ⑦ 生活をよりよくしようとする工夫及び発展的学習に関する工夫
<内容の表現・表記>	⑧ 挿絵、写真等の資料の活用の工夫 ⑨ 配色や文字の大きさ等の工夫
<言語活動の充実>	⑩ 言葉や図を使って考えたり説明したりする学習活動の工夫

3 各教科書の特徴

東京書籍

1 基礎・基本の定着

視点① 題材のめあてや振り返りの示し方

- めあては、学習の流れに沿って、ステップごとに示している。
- 振り返りは、学習の流れに沿って、「ステップ〇のふり返ろう」として、児童に問いかける形で示している。

視点② 持続可能な社会につながる内容の扱い

- 「主に、持続可能な社会の視点で考えよう」と3示し、この視点で題材を作成している。
- SDGsの説明は、題材終わりに、1ページ分で扱い、関連ページを紹介している。

視点③ 基礎的・基本的な知識及び技能の習得の工夫

- 調理実習の事例を示している。
- 製作課題の事例を示している。
- 実習ごとに「できたかな？」として、振り返りの視点とチェック欄を設け、児童が自己評価できるようにしている。

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点④ 家庭・地域での実践につながる工夫

- 5年「食べて元気！ご飯とみそ汁」みそ汁の調理過程において、ポイントを3、吹き出しを2示し、そのうち、思考を促す問いかけを3示している。
- 6年「朝食から健康な1日の生活を」いためる調理過程において、おいしくいためる調理のポイントを4（10項目）示している。
- 5年「持続可能な社会へ物やお金の使い方」実践につながるトラブルへの対応として、消費者センターの紹介を掲載するとともに、発展として、インターネットでの買い物について、注意喚起を行っている。
- 6年「あなたは家庭や地域の宝物」では、学習のめあてを以下の順で示している。
 - ・ 自分の家庭生活と地域の人々との関わりについて考えよう。
 - ・ 2年間の学習を生かして、地域や家庭をよりよくする工夫を考えよう。
 - ・ 家庭科で学んだことを、持続可能な社会をつくるために生かしていこう。

視点⑤ 課題解決をする力を養う学習過程の工夫

- 学習過程を「1見つめよう」、「2計画しよう・実践しよう」「3生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」の3段階で示している。
- 「A(4)家族・家庭生活についての課題と実践」について、実践の進め方を1ページで示し、学習過程は「1課題の設定」「2計画」「3実践」「4まとめ・発表」「5評価・改善」の5ステップで示している。
- 生活の課題と実践例を3示し、進め方に沿った具体的な方法を例示している。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑥ 題材や資料等の配列

- 判型A4版 149ページ（A領域21ページ、B領域95ページ、C領域25ページ）
- 題材数 5年：8題材 6年：7題材
- 快適な着方や住まい方の学習は、1学年で、2つの題材を通して学習する流れである。
 - ・ 6年「夏をすずしくさわやかに」10ページ
 - ・ 6年「冬を明るく暖かく」6ページ

視点⑦ 生活をよりよくしようとする工夫及び発展的学習に関する工夫

- 「深める」活動として、家庭・地域での実践につながる内容を示している。
- 発展的な学習を示している。
- キャリア教育の視点から、仕事をしている人へのインタビューを10示している。

4 内容の表現・表記

視点⑧ 挿絵、写真等の資料の活用の工夫

- 表紙に、「A家族・家庭生活」「B衣食住の生活」「C消費生活・環境」の学習場面を描いている。
- 6年「朝食から健康な1日の生活を」いためる調理過程において、野菜の切り方と実物大の大きさについて、写真とイラストで示している。
- 折り込みで示している生活の営みに係る見方・考え方の視点と教科書に使われているマークは、どのページにおいても開いたまま活用できるようになっている。

視点⑨ 配色や文字の大きさ等の工夫

- カラーユニバーサルデザインに配慮している。
- ユニバーサルデザインフォントを採用している。

5 言語活動の充実

視点⑩ 言葉や図を使って考えたり説明したりする学習活動の工夫

- 児童が学習の中で、考えたり、調べたり、やってみたり、話し合ったり、交流したり、学んだことを活用して深めたりするために「活動」というマークを示している。

1 基礎・基本の定着

視点① 題材のめあてや振り返りの示し方

- めあては、題材の導入において、学習の流れとともに示している。
- 振り返りは、題材の最後に、「学習をふり返ろう」として、学習のめあてのチェック欄への記入を指示し、「生活に生かそう」として、児童の記述欄を設けている。

視点② 持続可能な社会につながる内容の扱い

- 「持続可能な社会」のマークを14示し、この視点で題材を作成している。
- SDGsの説明は、巻頭の一部で扱い、関連ページを紹介している。

視点③ 基礎的・基本的な知識及び技能の習得の工夫

- 調理実習の事例を示している。
- 製作課題の事例を示している。
- 実習ごとに「できたかな」として、振り返りの視点とチェック欄を設け、児童が自己評価できるようにしている。

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点④ 家庭・地域での実践につながる工夫

- 5年「食べて元気に」みそ汁の調理過程において、吹き出しを6示し、そのうち、思考を促す問いかけを3示している。
- 6年「できることを増やしてクッキング」加工食品と野菜をいためる調理過程において、おいしくいためるためのポイントを3、吹き出しを3示し、思考を促す問いかけを1示している。
- 5年「生活を支える物やお金」実践につながるトラブルへの対応として、消費者センターの紹介と、そこで働く人のインタビューを掲載している。また、具体的な事例に対する解決へのヒントを示し、注意喚起を行っている。
- 6年「共に生きる地域での生活」では、学習のめあてを以下の順で示している。
 - ・ 自分も、地域の中で生活する一員であることに気づく。
 - ・ 地域に暮らすさまざまな人たちとよりよいかかわり方を考え、行動することができる。
 - ・ よりよいかかわりをつくるために、地域での取り組みを工夫して続ける。

視点⑤ 課題解決をする力を養う学習過程の工夫

- 学習過程を「1気づく・見つける」「2わかる・できる」「3生かす・深める」の3段階で示している。
- 「A(4)家族・家庭生活についての課題と実践」について、実践の進め方を1ページで示し、学習過程は「1課題を決める」「2計画を立てる」「3実せんする」「4実せんをふり返る」「5実せんの評価と改善策」の5ステップで示している。
- 生活の課題と実践例を5示し、進め方に沿った具体的な方法を例示している。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑥ 題材や資料等の配列

- 判型A4版 153ページ（A領域19ページ、B領域90ページ、C領域34ページ）
- 題材数 5年：11題材 6年：9題材
- 快適な着方や住まい方の学習は、2学年で、4つの題材を通して学習する流れである。
 - ・ 5年「着方の工夫で快適に」4ページ ・ 5年「暖かい住まい方で快適に」4ページ
 - ・ 6年「衣服の手入れで快適に」6ページ ・ 6年「すずしい住まい方で快適に」6ページ

視点⑦ 生活をよりよくしようとする工夫及び発展的学習に関する工夫

- 「生かす・深める」活動として、家庭・地域での実践につながる内容を示している。
- 発展的な学習を示している。
- キャリア教育の視点から、仕事をしている人へのインタビューを21示している。

4 内容の表現・表記

視点⑧ 挿絵、写真等の資料の活用の工夫

- 表紙に、「A家族・家庭生活」「B衣食住の生活」「C消費生活・環境」の学習場面を描いている。
- 6年「できることを増やしてクッキング」加工食品と野菜をいためる調理過程において、野菜の切り方をイラストで示し、裏表紙に写真で示している。実物大の大きさについては、巻末折り込みに写真で示している。
- 折り込みで示している生活の営みに係る見方・考え方の視点と、学習の流れ、栄養素の働きによる食品の分類は、どのページにおいても開いたまま活用できるようになっている。

視点⑨ 配色や文字の大きさ等の工夫

- カラーユニバーサルデザインに配慮している。
- ユニバーサルデザインフォントを採用している。

5 言語活動の充実

視点⑩ 言葉や図を使って考えたり説明したりする学習活動の工夫

- 児童が学習の中で、考えたり、調べたり、話し合ったりするために、「考えよう」「調べよう」「話し合おう」「やってみよう」「見つめよう」という項目を四角囲みで示している。

4 意見

広島市教科用図書採択審議会では、本市児童の課題である「人の役に立ちたいとは考えているが、地域において、日常生活の中から問題を見いだして、主体的に課題を解決しようとする能力の育成」「家族や地域の一員として、自覚をもち、家族や地域の人々と主体的に関わろうとする態度の育成」に対応する各教科書の特徴について、広島市教科用図書採択審議会調査員が作成した「令和6年度から使用する小学校用教科用図書の調査・研究報告書」を基に審議した。

意見1 開隆堂出版の教科書は、本市で使用する教科書としてよりふさわしい。

(理由)

- ・ みそ汁の調理過程において、効率的に作ったり、他の調理にも生かしたりすることができる内容等をポイントとして吹き出しで示している。
- ・ 地域での実践につながる学習については、学習のめあてを「地域の中の一員であることに気付く」「地域でのよりよいかかわり方を考える」「地域での取り組みを工夫する」としており、児童が地域の一員として身近なことについて考えたことを実践し、振り返りを行いながら継続して取り組む学習の流れになっている。
- ・ 物やお金の使い方についての学習では、実践につながるトラブルへの対応として、消費者センターの紹介と、そこで働く人のインタビューを掲載している。また、具体的な事例を取り上げ、「買うときには表示をしっかりと見よう」などと、解決へのヒントを示し、注意喚起を行っている。

意見2 東京書籍の教科書は、本市で使用する教科書としてふさわしい。

(理由)

- ・ みそ汁の調理過程において、味をよくするための内容等を、ポイントとして吹き出し等で示している。
- ・ 地域での実践につながる学習については、学習のめあてを「地域の人々との関わりについて考える」「地域をよりよくする工夫を考える」「持続可能な社会をつくるために生かす」としており、児童が地域の一員として身近なことについて考えたことを提案書にまとめる学習の流れになっている。
- ・ 物やお金の使い方についての学習では、実践につながるトラブルへの対応として、消費者センターの紹介を掲載している。また、発展として、インターネットでの買い物について、注意喚起を行っている。

令和6年度から使用する広島市立小学校用教科用図書の採択について（答申）

教科〔体育〕 種目〔保健〕

令和6年度から使用する小学校用教科用図書の採択について

教科 [体 育] 種目 [保 健]

1 本市の実態や児童の状況

- 本市では、全市立小学校において「全校一斉生活リズムカレンダー実施週間」を設定し、児童の基本的な生活習慣の定着を図る取組を推進している。令和4年度全国学力・学習状況調査によると、「朝食を毎日食べている」と回答した児童の割合は94.4%（全国94.4%）、「毎日、同じくらいの時間に起きている」と回答した児童の割合は、89.6%（全国90.4%）である。一方、令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査によると、1日のスクリーンタイムが2時間以上の児童の割合は、男子が61.8%（全国61.7%）、女子が53.4%（全国54.0%）であり健康の大切さに気付き、健康な生活を送ろうとする態度の育成には課題がある。
- また、令和4年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査によると、「体育の授業が楽しい」と回答した児童の割合は、男子が94.3%（全国94.0%）、女子が89.2%（全国89.5%）であり、令和3年度の男子94.4%（全国93.8%）、女子90.2%（全国89.2%）と比較すると、減少している。さらに、体力合計点と関連を示している1週間の総運動時間が420分未満の児童の割合は、男子が46.9%（全国49.7%）、女子が67.3%（全国70.7%）であり、運動に親しむ態度の育成と体力の向上を図ることに課題がある。

2 調査・研究の観点と視点

観 点	視 点
＜基礎・基本の定着＞	① 単元及び単位時間の目標の示し方 ② 知識及び理解の定着を図る工夫
＜主体的に学習に取り組む工夫＞	③ 興味・関心を高めるための工夫 ④ 実生活や社会生活に関連付けられるような記述や内容の工夫
＜内容の構成・配列・分量＞	⑤ 単元及び単位時間の構成や配列・分量
＜内容の表現・表記＞	⑥ 記述と関連付けられた挿絵・写真・グラフ等の活用 ⑦ 配色や本文の示し方の工夫
＜言語活動の充実＞	⑧ 自分の考えを書いたり話し合ったりする活動の充実

3 各教科書の特徴

1 基礎・基本の定着

視点① 単元及び単位時間の目標の示し方

- 学習の進め方を巻頭の「この教科書の使い方」で示している。
- 学習課題は、「?学習の課題」として、児童の思考を促す問いかけと吹き出しを示している。

視点② 知識及び理解の定着を図る工夫

- 各小単元末に、「まとめる・生かす」として、穴埋めと記述で、児童が学習を振り返ることができるようにしている。
- 学習の進め方を次のように示している。
 - ・ ステップ1 気づく・見つける
 - ・ ステップ2 調べる・解決する
 - ・ ステップ3 深める・伝える
 - ・ ステップ4 まとめる・生かす

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点③ 興味・関心を高めるための工夫

- スポーツ選手のインタビューを2示している。
- 児童の運動を促すために「資料」として、家の中や近くでできる運動の例をイラストとともに14示している。
 - ・ おにごっこ
 - ・ 鉄ぼう
 - ・ ドッジボール
 - ・ ダンス
 - ・ 雪合戦
 - ・ なわとび
 - ・ けん玉
 - ・ 体を動かす家事
 - ・ 歩く
 - ・ 階だんの上り下り
 - ・ 空中足じゃんけん
 - ・ 長なわとび
 - ・ せなか合わせ立ち
 - ・ 軽い運動

視点④ 実生活や社会生活に関連付けられるような記述や内容の工夫

- 5・6年では、学習の理解を深めるための実習として、「実習」マークを示している。
 - ・ 5年「心の健康」 体を動かして心を静めよう。
 - ・ 5年「けがの防止」 軽いけがの簡単な手当をしよう。
- SNS等の扱いについて
 - ・ 3年「けんこうな生活」生活リズムをチェックする項目の中に位置付けている。
 - ・ 3年「けんこうな生活」発展的な学習として、「コンピュータの使用とけんこう」を示している。
 - ・ 4年「体の成長とわたし」発展的な学習として、「すいみんと発育」を示している。
 - ・ 5年「けがの防止」発展的な学習として、「インターネットによる犯罪被害」を示している。
 - ・ 6年「病気の予防」発展的な学習として、「さまざまな依存症」を示している。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑤ 単元及び単位時間の構成や配列・分量

- 判型A4判 3・4年：45ページ 5・6年：77ページ
- 小単元数 3・4年：7 5・6年：14
- 1単位時間の学習内容を、4～8ページで構成している。

4 内容の表現・表記

視点⑥ 記述と関連付けられた挿絵・写真・グラフ等の活用

- 4年「体の成長とわたし」体は年齢に伴って変化することを理解する学習において、児童が表とグラフを作成し、自分の考えを記述するようにしている。

視点⑦ 配色や本文の示し方の工夫

- カラーユニバーサルデザインに配慮している。
- ユニバーサルデザインフォントを採用している。
- 3年「けんこうな生活」本文は6か所に分けて示し、重要事項は太字で示している。

5 言語活動の充実

視点⑧ 自分の考えを書いたり話し合ったりする活動の充実

- 自分の考え等を記入する欄を設けている。
 - 3・4年：51 5・6年：118
- 6年「病気の予防」生活習慣病の予防について理解する学習において、児童が自分の考えを記述するようにしている。

1 基礎・基本の定着

視点① 単元及び単位時間の目標の示し方

- 学習の進め方を巻頭の「この教科書の使い方」で示している。
- 学習課題は、「ここで学ぶこと」として、児童の思考を促す問いかけをしている。

視点② 知識及び理解の定着を図る工夫

- 単元末に、「〇年のまとめ」として、チェック欄と記述で、児童が学習を振り返ることができるようにしている。
- 1時間の学習の主な流れを次のように示している。
 - ・ 自分の生活をふり返る
 - ・ 課題をつかもう
 - ・ いろいろな活動を通して課題を解決しよう
 - ・ まとめよう
 - ・ 活用して深めよう
 - ・ 毎日の生活に生かそう

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点③ 興味・関心を高めるための工夫

- スポーツ選手のインタビューを1示している。
- 児童の運動を促すために、生活の中の運動の例をイラストや説明とともに10示している。
 - ・ ボールキャッチ ・ (わ) フープ ・ おふろそうじ ・ 階だんののぼり下り
 - ・ いろいろなおに遊び ・ みんなでなわとび ・ おしくらまんじゅう ・ フープリレー
 - ・ リズムに乗って ・ ダンス、ダンス、ダンス!

視点④ 実生活や社会生活に関連付けられるような記述や内容の工夫

- 5・6年では、学習の理解を深めるための実習として、「実習」マークを示している。
 - ・ 5年「心の健康」 体ほぐしの運動、こきゅう法
 - ・ 5年「けがの防止」 けがの手当をしよう
- SNS等の扱いについて
 - ・ 3年「けんこうな生活」
理解を深める学習として、「早ね、早起き、朝ごはん」、「明るさと目のけんこう」を示している。
 - ・ 3・4年巻末「パソコンやスマートフォンを正しく使って健康な生活を送ろう！」
使い方や注意点を示している。
 - ・ 5年「心の健康」
理解を深める学習として、「よりよいコミュニケーション」を示している。
 - ・ 5年「けがの防止」
発展的な学習として「インターネットと犯罪被害」を示している。
 - ・ 5・6年巻末「パソコンやスマートフォンと上手につき合おう！」
使い方や注意点を示している。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑤ 単元及び単位時間の構成や配列・分量

- 判型A4判 3・4年：45ページ 5・6年：69ページ
- 小単元数 3・4年： 8 5・6年：16
- 1単位時間の学習内容を、2～7ページで構成している。

4 内容の表現・表記

視点⑥ 記述と関連付けられた挿絵・写真・グラフ等の活用

- 4年「体の発育・発達」
体は年齢に伴って変化することを理解する学習において、児童が表とグラフを作成するようにしている。

視点⑦ 配色や本文の示し方の工夫

- カラーユニバーサルデザインに配慮している。
- ユニバーサルデザインフォントを採用している。
- 3年「けんこうな生活」本文は5か所に分けて示している。

5 言語活動の充実

視点⑧ 自分の考えを書いたり話し合ったりする活動の充実

- 自分の考え等を記入する欄を設けている。
3・4年：34 5・6年：65
- 6年「病気の予防」
生活習慣病の予防について理解する学習において、児童が自分の考えを記述するようにしている。

1 基礎・基本の定着

視点① 単元及び単位時間の目標の示し方

- 学習の進め方を巻頭の「保健の学び方」で示している。
- 学習課題は、「きょうの課題」として、児童の思考を促す問いかけをしている。

視点② 知識及び理解の定着を図る工夫

- 各単元末に、「学習をふり返ってみよう」として、チェック欄や穴埋め、記述で児童が学習を振り返ることができるようにしている。
- 学習の進め方を次のように示している。
 - ・ ステップ1 課題をつかもう・きょうの課題
 - ・ ステップ2 話し合おう・調べよう・考えよう
 - ・ ステップ3 まとめ・生かそう伝えよう（・やってみよう）

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点③ 興味・関心を高めるための工夫

- スポーツ選手のインタビューを5示している。
- 児童の運動を促すために、家の中や学校でできる運動の例をイラストや説明、吹き出しとともに19示している。
 - ・ できるだけ歩く ・ せんとく物をほしたり、取りこんだりする ・ 階段を使う
 - ・ 買い物を手つだう ・ そうじをする ・ ケンケンおにごっこ
 - ・ 手足を大きく使って全身じゃんけん ・ 両足で大きくとぶ
 - ・ 速さやリズムを変えたり、音楽に合わせてたりして「スキップ」や「ギャロップ」。
 - ・ ケンパーとび ・ ぼうを使って ・ フープを使って ・ ボール運び
 - ・ ランニング ・ リズムダンス ・ なわとび ・ 長なわとび
 - ・ 筋肉をほぐす運動 ・ 体の力をぬく運動

視点④ 実生活や社会生活に関連付けられるような記述や内容の工夫

- 5・6年では、学習の理解を深めるための実習として、「やってみよう」を示している。
 - ・ 5年「心の健康」 呼吸法、体ほぐしの運動
 - ・ 5年「けがの防止」 いろいろなけがの手当
- SNS等の扱いについて
 - ・ 3年「けんこうな生活」
発展的な学習として、「スマートフォン・タブレットと生活のリズム」を示している。
 - ・ 3年「けんこうな生活」
発展的な学習として、「スマートフォン・タブレットと目のけんこう」を示している。
 - ・ 4年「体の成長」
発展的な学習として、「仲間とのよりよい関係づくりのために」を示している。
 - ・ 5年「けがの防止」
発展的な学習として、「危険な『ながらスマホ』、「インターネットによる犯罪被害を防ぐ」を示している。
 - ・ 6年「病気の予防」
発展的な学習として、「新型コロナウイルス感染症の経験から学ぶ」を示している。
 - ・ 6年「病気の予防」
発展的な学習として、「知っている？スマホ・ゲーム依存」を示している。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑤ 単元及び単位時間の構成や配列・分量

- 判型A4判 3・4年：49ページ 5・6年：73ページ
- 小単元数 3・4年：8 5・6年：16
- 1単位時間の学習内容を、2～8ページで構成している。

4 内容の表現・表記

視点⑥ 記述と関連付けられた挿絵・写真・グラフ等の活用

- 4年「体の成長」
体は年齢に伴って変化することを理解する学習において、児童が表とグラフを作成するようにしている。

視点⑦ 配色や本文の示し方の工夫

- カラーユニバーサルデザインに配慮している。
- ユニバーサルデザインフォントを採用している。
- 3年「けんこうな生活」本文は7か所に分けて示し、重要事項は太字で示している。

5 言語活動の充実

視点⑧ 自分の考えを書いたり話し合ったりする活動の充実

- 自分の考え等を記入する欄を設けている。
3・4年：35 5・6年：63
- 6年「病気の予防」
生活習慣病の予防について理解する学習において、イラスト等を示し、具体的な場面から児童が自分の考えを記述するようにしている。

1 基礎・基本の定着

視点① 単元及び単位時間の目標の示し方

- 学習の進め方を巻頭の「教科書の使い方」で示している。
- 学習課題は、「Mission」として、児童の思考を促す問いかけをしている。

視点② 知識及び理解の定着を図る工夫

- 各小単元末に、「Mission ○ もう一歩先の自分へ」として、記述で、児童が学習を振り返ることができるようにしている。
- 学習の進め方を次のように示している。
 - ・ ①Mission キーワード (大事な言葉)
 - ・ ②Mission もう一歩先の自分へ この時間のまとめ

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点③ 興味・関心を高めるための工夫

- スポーツ選手からのメッセージを3示している。
- 児童の運動を促すために、生活の中でできる運動の例をイラストや写真、吹き出しとともに15示している。
 - ・ サイクリング ・ 山登り ・ ボール投げ ・ けん玉 ・ リズムダンス
 - ・ フープ ・ ふろそうじ ・ 散歩 ・ かん単な体操 ・ ストレッチ
 - ・ 体ほぐしの運動 ・ 外遊び ・ 歩く ・ 階段を使う ・ 庭の手入れ

視点④ 実生活や社会生活に関連付けられるような記述や内容の工夫

- 5・6年では、学習の理解を深めるための実習を示している。
 - ・ 5年「心の健康」 体ほぐしの運動、腹式呼吸のしかた
 - ・ 5年「けがの防止」 かん単な手当の実習
- SNS等の扱いについて
 - ・ 4年「体の発育・発達」 てきせつな休養・すいみんをとるために大切なことの項目に位置付けている。
 - ・ 5年「心の健康」 「お母さんとの約束」を示している。
 - ・ 5年「心の健康」 発展的な学習として、「SNSのトラブル」を示している。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑤ 単元及び単位時間の構成や配列・分量

- 判型A4判 3・4年：37ページ 5・6年：83ページ
- 小単元数 3・4年： 8 5・6年：16
- 1単位時間の学習内容を、3～8ページで構成している。

4 内容の表現・表記

視点⑥ 記述と関連付けられた挿絵・写真・グラフ等の活用

- 4年「体の発育・発達」 体は年齢に伴って変化することを理解する学習において、児童が自分の考えを記述するようにしている。

視点⑦ 配色や本文の示し方の工夫

- カラーユニバーサルデザインに配慮している。
- 3年「毎日の生活とけんこう」本文は4か所に分けて示し、重要事項は太字で示している。

5 言語活動の充実

視点⑧ 自分の考えを書いたり話し合ったりする活動の充実

- 自分の考え等を記入する欄を設けている。
 - 3・4年：16 5・6年：32
- 6年「病気の予防」 生活習慣病の予防について理解する学習において、イラスト等を示し、具体的な場面から児童が自分の考えを記述するようにしている。

1 基礎・基本の定着

視点① 単元及び単位時間の目標の示し方

- 学習の進め方を巻頭の「学習の進め方を知ろう。」で示している。
- 学習課題は、「学習の課題」として、児童の思考を促す問いかけをしている。

視点② 知識及び理解の定着を図る工夫

- 各単元末に、「学習のまとめ」として、穴埋めと記述で、児童が学習を振り返ることができるようにしている。
- 学習の進め方を次のように示している。
 - ・ 自分の生活をふり返る
 - ・ 学習の課題をつかむ
 - ・ 課題解決に向けて学習活動をする
 - ・ 学習をまとめる
 - ・ 自分の生活に生かす

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点③ 興味・関心を高めるための工夫

- スポーツ選手のインタビューを4示している。
- 児童の運動を促すために、生活の中でできる運動の例をイラストや説明とともに2・3示している。

・ ケン・ケン・パ	・ なわとび	・ おにごっこ	・ ふろそうじ
・ まどふき	・ ペットの散歩	・ 部屋のかたづけ	・ 手伝いをする
・ たくさん歩く	・ 階段を使う	・ 体じゃんけん	・ タオル取りおに
・ おしくらまんじゅう	・ かけ足とび	・ 音楽に合わせたダンス	
・ リズムに合わせてはねる	・ 風船リフティング	・ けんけんずもう	・ 長なわとび
・ ケンパーとび	・ ドリブル走	・ ラジオ体操	・ ストレッチ

視点④ 実生活や社会生活に関連付けられるような記述や内容の工夫

- 5・6年では、学習の理解を深めるための実習として、「やってみよう」を示している。
 - ・ 5年「心の健康」 呼吸法
 - ・ 5年「けがの防止」
自分でできる手当のしかたの原則を知り、いろいろなけがの手当をできるようにしましょう。
- SNS等の扱いについて
 - ・ 巻頭「インターネットを使うときの注意」
使い方や注意点を示している。
 - ・ 3年「けんこうな生活」
発展的な学習として、「早ね早起き朝ごはん」、「スマートフォンなどの使い方と生活のリズム」を示している。
 - ・ 4年「体の発育と健康」
発展的な学習として、「すいみんの大切さ」を示している。
 - ・ 5年「心の健康」
発展的な学習として「SNSを使うときにも注意しよう」を示している。
 - ・ 5年「けがの防止」
発展的な学習として、「ながらスマホは危険！」を示している。
 - ・ 5年「けがの防止」
発展的な学習として、「インターネットのトラブル」を示している。
 - ・ 6年「病気の予防」
発展的な学習として、「インターネットと依存症」を示している。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑤ 単元及び単位時間の構成や配列・分量

- 判型A4判 3・4年：41ページ 5・6年：65ページ
- 小単元数 3・4年： 8 5・6年：16
- 1単位時間の学習内容を、2～7ページで構成している。

4 内容の表現・表記

視点⑥ 記述と関連付けられた挿絵・写真・グラフ等の活用

- 4年「体の発育と健康」
体は年齢に伴って変化することを理解する学習において、児童が表とグラフを作成するようにしている。

視点⑦ 配色や本文の示し方の工夫

- カラーユニバーサルデザインに配慮している。
- ユニバーサルデザインフォントを採用している。
- 3年「けんこうな生活」本文は6か所に分けて示し、重要事項は太字で示している。

5 言語活動の充実

視点⑧ 自分の考えを書いたり話し合ったりする活動の充実

- 自分の考え等を記入する欄を設けている。
 - 3・4年：27 5・6年：60
- 6年「病気の予防」
生活習慣病の予防について理解する学習において、イラスト等を示し、具体的な場面から児童が自分の考えを記述するようにしている。

1 基礎・基本の定着

視点① 単元及び単位時間の目標の示し方

- 学習の進め方を巻頭の「この教科書の使い方」と「保健の学び方」で示している。
- 学習課題は、「?学習の課題」として、児童の思考を促す問いかけをしている。

視点② 知識及び理解の定着を図る工夫

- 各単元末に、「ふり返る・伝える・つなぐ」として、チェック欄と記述で児童が学習を振り返ることができるようにしている。
- 1時間の学習の進め方を次のように示している。
 - ・ 楽しみながら、この1時間の学習に関わる課題をつかもう。
 - ・ この1時間の学習の課題をたしかめよう（確認しよう）。
 - ・ くらべたり、たしかめたり、調べたりして、課題の解決に取り組もう。
 - ・ 話し合ったり、説明したりして、課題の解決に取り組もう。
 - ・ この1時間で学習したことを活用して、課題を解決しよう。

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点③ 興味・関心を高めるための工夫

- 児童の運動を促すために、生活の中でできる運動の例をイラストや説明、吹き出しとともに11示している。
 - ・ おにごっこ ・ ドッジボール ・ 一輪車 ・ なわとび ・ サッカー
 - ・ ストレッチ ・ 買い物 ・ まどふき ・ タオルの引き合い
 - ・ 体ほぐしの運動 ・ 体の力をぬく運動

視点④ 実生活や社会生活に関連付けられるような記述や内容の工夫

- 5・6年では、学習の理解を深めるための実習として、「実習しましょう」を示している。
 - ・ 5年「心の健康」 教室でもできる体ほぐしの運動、呼吸法
 - ・ 5年「けがの防止」簡単なけがの手当について、実習しましょう。
- SNS等の扱いについて
 - ・ 巻頭「インターネットを使うときは……」
使い方や注意点を示している。
 - ・ 3年「健康な生活」
発展的な学習として、「タブレットを使うときには」を示している。
 - ・ 4年「体の発育・発達」
発展的な学習として、「なぜ、すいみんは大切なのか?」を示している。
 - ・ 3・4年巻末「安全な生活のために②」
スマートフォンやインターネットを使うときの安全について示している。
 - ・ 5年「けがの防止」
発展的な学習として、「インターネットでトラブルにならないために」を示している。
 - ・ 5・6年巻末「パソコンやタブレットと健康」
健康への影響を示している。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑤ 単元及び単位時間の構成や配列・分量

- 判型A4判 3・4年：49ページ 5・6年： 89ページ
- 小単元数 3・4年： 8 5・6年： 15
- 1単位時間の学習内容を、4～10ページで構成している。

4 内容の表現・表記

視点⑥ 記述と関連付けられた挿絵・写真・グラフ等の活用

- 4年「体の発育・発達」
体は年齢に伴って変化することを理解する学習において、「もっと!知りたい・調べたい」に、児童がグラフを作成するようにしている。

視点⑦ 配色や本文の示し方の工夫

- カラーユニバーサルデザインに配慮している。
- ユニバーサルデザインフォントを採用している。
- 3年「健康な生活」本文は5か所に分けて示している。

5 言語活動の充実

視点⑧ 自分の考えを書いたり話し合ったりする活動の充実

- 自分の考え等を記入する欄を設けている。
3・4年：55 5・6年：104
- 6年「病気の予防」
生活習慣病の予防について理解する学習において、児童が自分の考えを記述するようにしている。

4 意見

広島市教科用図書採択審議会では、本市児童の課題である「スクリーンタイムには課題が見られる」「健康な生活を送ろうとする態度の育成には課題がある」「運動に親しむ態度の育成と体力の向上を図ることに課題がある」に対応する各教科書の特徴について、広島市教科用図書採択審議会調査員が作成した「令和6年度から使用する小学校用教科用図書の調査・研究報告書」を基に審議した。

意見1 光文書院の教科書は、本市で使用する教科書としてよりふさわしい。

(理由)

- ・ 資料として、生活の中でできる運動の例をイラストや説明とともに23示しており、興味・関心を高める工夫がされている。
- ・ スクリーンタイムについての説明を掲載している。また、一部の学年だけではなく、幅広くSNS等の扱いについての資料を示しており、本市で行っている生活リズムカレンダーと連携し、児童が自らの生活を見直すことができるようになっている。さらに、資料内容が精選されており、実際の授業で扱う資料の量として、適当である。
- ・ 6年「病気の予防」では、生活習慣病の予防について、イラスト等を示し、具体的な場面から自分の考え等を記述する欄を設けており、自分の考えを書いたり話し合ったりすることができるようになっている。

意見2 大修館書店の教科書は、本市で使用する教科書としてふさわしい。

(理由)

- ・ 資料として、生活の中でできる運動の例をイラストや説明とともに19示しており、興味・関心を高める工夫がされている。
- ・ 一部の学年だけではなく、幅広くSNS等の扱いについての資料を示しており、本市で行っている生活リズムカレンダーと連携し、児童が自らの生活を見直すことができるようになっている。
- ・ 6年「病気の予防」では、生活習慣病の予防について、イラスト等を示し、具体的な場面から自分の考え等を記述する欄を設けており、自分の考えを書いたり話し合ったりすることができるようになっている。

令和6年度から使用する広島市立小学校用教科用図書の採択について（答申）

教科〔外国語〕 種目〔英語〕

令和6年度から使用する小学校用教科用図書の採択について

教科 [外国語] 種目 [英語]

1 本市の実態や児童の状況

- 本市は、国際平和文化都市であり、外国から多くの人々が平和公園や原爆ドーム等を訪れる地域である。平成30年度より英語専科指導教員等による授業を行っており、令和4年度には全市立小学校に英語専科指導教員を配置し、第5・6学年において専科指導による英語授業を実施している。
- 令和4年度英語教育実施状況調査によると、「授業中、75%以上の時間、言語活動を行っている」と回答した学校の割合が71.5%（全国平均50.9%）、全国1位であるとともに、令和3年度全国学力・学習状況調査の児童質問紙調査において、「5年生までに受けた英語の授業では、英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができていた」と回答した児童の割合は75.9%（全国平均74.6%）であった。一方、「学校の授業以外で、英語を使う機会があった」と回答した児童の割合は、40.9%（全国平均44.4%）であり、広島を訪れる外国人や地域に住んでいる外国人、授業以外の場面でALTに話しかけるなど、習った表現を使って主体的、意欲的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養っていくことに課題がある。

2 調査・研究の観点と視点

観 点	視 点
<基礎・基本の定着>	① 英語の特徴やきまりに関することを理解できるようにするための工夫 ② 単元目標の示し方
<主体的に学習に取り組む工夫>	③ 学習の見通しや学習意欲をもたせる工夫 ④ 他教科や日常生活とのつながり
<内容の構成・配列・分量>	⑤ 単元や資料等の配列・分量
<内容の表現・表記>	⑥ 本文記述と適切な関連付けがなされた挿絵、写真等の活用や資料の工夫 ⑦ 配色や文字の大きさ等の工夫
<言語活動の充実>	⑧ 自分の考えや気持ちなどを伝えたい言語活動の工夫

3 各教科書の特徴

東京書籍

1 基礎・基本の定着

- 視点①** 英語の特徴やきまりに関することを理解できるようにするための工夫
- アルファベットの読みと英語の音声の違いについて示している。(Sounds & Letters)
 - 日本語と英語の語順の違いなど文構造について示している。
 - 英語の表記の仕方についてのルールやポイントを文章で示している。
 - 別冊絵辞書にある例文を4線上で示している。

視点② 単元の目標の示し方

- 単元の冒頭に、各単元のゴールを「～しよう」と示している。
Happy birthday! (5年) 「誕生日やほしいものを伝え合おう。」

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点③ 学習の見通しや学習意欲をもたせる工夫

- 単元冒頭に単元のゴールと、「Starting Out」「Your Turn」「Enjoy Communication」「Over the Horizon」の4つのステップで活動の流れと活動の内容を示している。
- 別冊巻末に、「CAN-DOの樹」があり、各単元でできるようになることを示し、色をぬる欄を設けている。

視点④ 他教科や日常生活とのつながり

- 教科横断的な視点で他教科の内容を取り入れている。
- 学校行事や地域と関連した活動を設定している。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑤ 単元や資料等の配列・分量

- ページ数 5年：106ページ 6年：106ページ 別冊：48ページ
- 単元数 5年：8単元 6年：8単元
- 判型A4判 別冊：判型A4判
- 別冊で絵辞書がある。(My Picture Dictionary)
- 別冊絵辞書に、ローマ字表を設けている。
- 教科書の巻頭(5・6年)と別冊絵辞書の巻末に、アルファベット表を設けている。

4 内容の表現・表記

視点⑥ 本文記述と適切な関連付けがなされた挿絵、写真等の活用や資料の工夫

- 各巻末に単語カード等がある。(素材 厚紙)
5年 アルファベット 26枚
 - ・ 表は大文字
 - ・ 裏は小文字
 - ・ 文字はカラー
- 絵カード 19枚 「コミュニケーションカード」8枚
- 6年 絵(写真)カード 12枚 「コミュニケーションカード」8枚
- 5年巻頭に、「Let's start!」を、見開き1ページで、教室での会話について、イラストで示している。

視点⑦ 配色や文字の大きさ等の工夫

- カラーユニバーサルデザインに配慮している。
- ユニバーサルデザインフォントを採用している。

5 言語活動の充実

視点⑧ 自分の考えや気持ちなどを伝えたい言語活動の工夫

- 各単元のアクティビティでは、互いの考えや気持ちを伝え合うスモールトークのテーマを設定している。
- Let's see the world. (6年)の単元では、「行きたい国の魅力を伝えるために、その国について紹介合おう。」という活動を設定している。

[アクティビティ数]

5年(総数：184)	やり取り：68	発表：4	Small Talk(英語表記)：32
6年(総数：219)	やり取り：51	発表：8	Small Talk(英語表記)：32

1 基礎・基本の定着

視点① 英語の特徴やきまりに関することを理解できるようにするための工夫

- 英語の音声の違いについて示している。(Sounds & Letters)
- 日本語と英語の語順の違いなど文構造について示している。
- 英語の表記の仕方についてのルールやポイントを文章で示している。

視点② 単元の目標の示し方

- 単元の冒頭に、各単元のゴールを「～できる」と示している。
When is your special day? (5年) 「誕生日や特別な日をたずねたり答えたりすることができる。」

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点③ 学習の見通しや学習意欲をもたせる工夫

- 単元冒頭に単元のゴールと、活動内容・めあてを示している。
- 巻頭に、「〇年で学習すること」を写真で示している。
- 巻末に、「CAN-DO チェック」があり、各単元でできるようになることを示し、色をぬり、振り返りを書く欄を設けている。

視点④ 他教科や日常生活とのつながり

- 教科横断的な視点で他教科の内容を取り入れている。
- 学級活動や学校行事、地域と関連した活動を設定している。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑤ 単元や資料等の配列・分量

- ページ数 5年：138ページ 6年：138ページ 別冊：各33ページ
- 単元数 5年：8単元 6年：8単元
- 判型A4判 別冊：判型A4判
- 別冊で絵辞書がある。(Word Book) 5・6年各1冊
- 巻末に、ローマ字表を設けている。(5・6年)
- 巻末に、アルファベット表を設けている。(5・6年)

4 内容の表現・表記

視点⑥ 本文記述と適切な関連付けがなされた挿絵、写真等の活用や資料の工夫

- 各巻末に単語カード等がある。(素材 厚紙)
- 5年 アルファベット 52枚
 - ・ 表は大文字 (26枚)
 - ・ 裏はイラスト
 - ・ 文字は黒字 4線あり
 - ・ 表は小文字 (26枚)
 - ・ 裏はイラストと単語
 - ・ 文字は黒字 4線あり
- 6年 アルファベット 26枚
 - ・ 表は大文字
 - ・ 裏は小文字
 - ・ 文字は黒字 4線あり
- 絵カード 5枚

視点⑦ 配色や文字の大きさ等の工夫

- カラーユニバーサルデザインに配慮している。
- ユニバーサルデザインフォントを採用している。

5 言語活動の充実

視点⑧ 自分の考えや気持ちなどを伝えたい言語活動の工夫

- 各単元のアクティビティでは、互いの考えや気持ちを伝え合うスモールトークのテーマを設定している。
- Where do you want to go? (6年) の単元では、「おたがいの行きたい国についてわかってもらえるように、『行きたい国クイズ』に取り組みましょう。」という活動を設定している。

[アクティビティ数]

5年(総数：180)	やり取り：71	発表：9	Small Talk (英語表記)：24
6年(総数：179)	やり取り：72	発表：7	Small Talk (英語表記)：23

1 基礎・基本の定着

視点① 英語の特徴やきまりに関することを理解できるようにするための工夫

- アルファベットの読みと英語の音声の違いについて示している。(Fun Box)
- 日本語と英語の語順の違いなど文構造について示している。
- 英語の表記の仕方についてのルールやポイントを文章で示している。

視点② 単元の目標の示し方

- 単元の冒頭に、各単元のゴールを「～しよう」と示している。
My name is Jun. (5年)「名前や誕生日など、自分のことを伝え合おう。」

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点③ 学習の見通しや学習意欲をもたせる工夫

- 単元冒頭に単元のゴールと、「HOP」「STEP」「JUMP」として4～5つのステップで活動の流れを示しており、「STEP」から活動の内容を示している。
- 別冊「My Dictionary」に、「英語でできること CAN-DO」があり、各単元でできるようになることを領域ごとに示し、チェックを付ける欄を設けている。

視点④ 他教科や日常生活とのつながり

- 学校行事や地域と関連した活動を示している。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑤ 単元や資料等の配列・分量

- ページ数 5年：122ページ 6年：122ページ 別冊：48ページ
- 単元数 5年：7単元 6年：7単元
- 判型A4判 別冊：判型AB判
- 別冊で絵辞書がある。(My Dictionary)
- 巻末に、ローマ字表を設けている。(5・6年)
- 別冊絵辞書に、アルファベットの絵カードを示している。

4 内容の表現・表記

視点⑥ 本文記述と適切な関連付けがなされた挿絵、写真等の活用や資料の工夫

- 各巻末に単語カード等がある。(素材 厚紙)
5年 アルファベット 26枚
 - ・ 表は大文字
 - ・ 裏は小文字
 - ・ 文字は黒字
 - ・ 枠はカラー
 絵カード 66枚 アクティビティ用カード 3枚
6年 絵カード 32枚 アクティビティ用カード 4枚
- 各学年巻頭に、「英語で言ってみよう」を、見開き2ページで、イラストとともに示している。

視点⑦ 配色や文字の大きさ等の工夫

- カラーユニバーサルデザインに配慮している。
- ユニバーサルデザインフォントを採用している。

5 言語活動の充実

視点⑧ 自分の考えや気持ちなどを伝えたい言語活動の工夫

- 各単元のアクティビティでは、互いの考えや気持ちを伝え合うスモールトークのテーマを設定している。
- 「I want to go to Kenya. (5年)の単元では、「行きたい国と、そこでしたいことを伝え合おう。」という活動を設定している。

[アクティビティ数]

5年(総数：143) やり取り：47 発表：19 Small Talk(日本語表記)：7
6年(総数：143) やり取り：44 発表：21 Small Talk(日本語表記)：7

1 基礎・基本の定着

視点① 英語の特徴やきまりに関することを理解できるようにするための工夫

- アルファベットの読みと英語の音声の違いについて示している。(Sounds & Letters)
- 日本語と英語の語順の違いなど文構造について示している。
- 英語の表記の仕方についてのルールやポイントを示している。

視点② 単元の目標の示し方

- 単元の冒頭に、各単元のゴールを「～しよう」と示している。
When is your birthday? (5年)「クラスのたんじょう日カレンダーをつくろう。」

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点③ 学習の見通しや学習意欲をもたせる工夫

- 単元冒頭に単元のゴールを示している。
- 巻頭に、1年間で学習することをロードマップで示している。
- 巻頭に、「英語でできるようになりたいこと」を書く欄を設けている。
- 各単元でできるようになることを示し、色をぬって自己評価する欄を設けている。

視点④ 他教科や日常生活とのつながり

- 教科横断的な視点で他教科の内容を取り入れている。
- 学級活動や学校行事、地域と関連した活動を設定している。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑤ 単元や資料等の配列・分量

- ページ数 5年：140ページ 6年：140ページ
- 単元数 5年：9単元 6年：8単元
- 判型A B判
- 巻末に My Word Bank (単語と絵) を設けている。
- 巻末に、ローマ字表を設けている。(5・6年)
- 巻末に、アルファベット表を設けている。(5・6年)

4 内容の表現・表記

視点⑥ 本文記述と適切な関連付けがなされた挿絵、写真等の活用や資料の工夫

- 各巻末に単語カード等がある。(素材 厚紙)
5年 アルファベット 26枚
 ・ 表は大文字
 ・ 裏は小文字
 ・ 文字はカラー
 絵カード 60枚 アクティビティ用ワークシート 4枚 絵シール 2シート
6年 絵カード 77枚 アクティビティ用ワークシート 9枚
- 各学年巻頭に、「Classroom English」を1ページでイラストとともに示している。

視点⑦ 配色や文字の大きさ等の工夫

- カラーユニバーサルデザインに配慮している。
- ユニバーサルデザインフォントを採用している。

5 言語活動の充実

視点⑧ 自分の考えや気持ちなどを伝えたい言語活動の工夫

- Dream World Tour (6年) の単元では、「夢の世界ツアーのパンフレットをつくろう。」という活動を設定している。

[アクティビティ数]

5年 (総数：72)	やり取り：21	発表：10
6年 (総数：72)	やり取り：14	発表：7

1 基礎・基本の定着

視点① 英語の特徴やきまりに関することを理解できるようにするための工夫

- アルファベットの読みと英語の音声の違いについて示している。(Alphabet Time)
- 日本語と英語の語順の違いなど文構造について示している。
- 英語の表記の仕方についてのルールやポイントを示している。

視点② 単元の目標の示し方

- 単元の冒頭に、各単元のゴールを「～できる」と示している。
When is your birthday? (5年)「おたがいのことをよく知るために、誕生日などをたずね合うことができる。」

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点③ 学習の見通しや学習意欲をもたせる工夫

- 単元冒頭に単元のゴールと、「Hop」「Step 1」「Step 2」「Jump!」の4つのステップで活動の流れとそれぞれの活動の内容を示している。
- 巻頭に、5年では「世界の小学生と英語で話したいこと」、6年では「英語でできるようになりたいこと」を書く欄を設けている。
- 巻頭に、各単元でできるようになること(CAN-DO)を「〇年生でできるようになること」で4技能5領域別に示し、自己評価する欄を設けている。
- 巻末に、1年間の目標や成長を振り返るワークシートがある。

視点④ 他教科や日常生活とのつながり

- 教科横断的な視点で他教科の内容を取り入れている。
- 学級活動や学校行事、地域と関連した活動を設定している。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑤ 単元や資料等の配列・分量

- ページ数 5年：153ページ 6年：145ページ 巻末の絵辞書：各25ページ
- 単元数 5年：8単元 6年：8単元
- 判型A B判
- 各学年、巻末に取り外し可能な絵辞書がある。(Picture Dictionary)
- 巻末に、ローマ字表を設けている。(5・6年)
- 巻頭に、アルファベット表を設けている。(5・6年)

4 内容の表現・表記

視点⑥ 本文記述と適切な関連付けがなされた挿絵、写真等の活用や資料の工夫

- 各巻末に単語カード等がある。(素材 厚紙)
5年 アルファベット 26枚
・ 表は大文字
・ 裏は小文字
・ 文字は黒字 4線あり
絵カード 42枚
「All about me」(単元ごとに記入していくことで年度末に完成するシート)
6年 「All about me」(単元ごとに記入していくことで年度末に完成するシート)
- 各学年巻頭に、「いつも『たいせつ』、言葉の準備体操」を、見開き1ページでイラストとともに示している。

視点⑦ 配色や文字の大きさ等の工夫

- カラーユニバーサルデザインに配慮している。
- ユニバーサルデザインフォントを採用している。

5 言語活動の充実

視点⑧ 自分の考えや気持ちなどを伝えたい言語活動の工夫

- 各単元のアクティビティでは、互いの考えや気持ちを伝え合うスモールトークのテーマを設定している。
- I want to go to Italy. (6年)の単元では、「世界の国々のみりよくを伝えるために、旅行会社の人になって紹介する」という活動を設定している。

[アクティビティ数]

5年(総数：147)	やり取り：50	発表：14	Small Talk(英語表記)：16
6年(総数：156)	やり取り：45	発表：20	Small Talk(英語表記)：16

1 基礎・基本の定着

視点① 英語の特徴やきまりに関することを理解できるようにするための工夫

- 英語の音声の違いについて示している。(Let's Read & write)
- 日本語と英語の語順の違いなど文構造について示している。
- 英語の表記の仕方についてのルールやポイントを文章で示している。

視点② 単元の目標の示し方

- 単元の冒頭に、各単元のゴールを「～できるようになるう」と示している。
My birthday is May 25th. (5年)「誕生日やほしいものを伝え合うことができるようになるう。」

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点③ 学習の見通しや学習意欲をもたせる工夫

- 単元冒頭に単元のゴールと、3つのステップで活動の流れとそれぞれの活動の内容を示している。
- 巻末に、「CAN-DO List」があり、各単元でできるようになることを4技能5領域別に示し、チェックを付ける欄を設けている。

視点④ 他教科や日常生活とのつながり

- 教科横断的な視点で他教科の内容を取り入れている。
- 学校行事や地域と関連した活動を設定している。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑤ 単元や資料等の配列・分量

- ページ数 5年：152ページ 6年：152ページ
- 単元数 5年：8単元 6年：8単元
- 判型A4判
- 巻末に Word List (単語と絵) を設けている。
- 巻頭に、ローマ字表を設けている。(5年)
巻末に、ローマ字表を設けている。(6年)
- 巻頭に、アルファベット表を設けている。(5・6年)

4 内容の表現・表記

視点⑥ 本文記述と適切な関連付けがなされた挿絵、写真等の活用や資料の工夫

- 各巻末に単語カード等がある。(素材 厚紙)
5年 アルファベット 52枚
 - ・ 表は大文字 (26枚)
 - ・ 裏は氏名欄
 - ・ 文字は白抜き
 - ・ 表は小文字 (26枚)
 - ・ 裏は氏名欄
 - ・ 文字は白抜き
 絵カード 159枚
6年 絵カード 169枚
- 各学年巻頭に、「コミュニケーションに大切なこと」を見開き1ページでイラスト、写真とともに示している。

視点⑦ 配色や文字の大きさ等の工夫

- カラーユニバーサルデザインに配慮している。
- ユニバーサルデザインフォントを採用している。

5 言語活動の充実

視点⑧ 自分の考えや気持ちなどを伝えたい言語活動の工夫

- Let's go to Singapore. (5年)の単元では、「友達といつしよに行ってみたい国を考えて、その友達をさそいましょう。」という活動を設定している。

[アクティビティ数]

5年(総数：135)	やり取り：30	発表：12
6年(総数：153)	やり取り：21	発表：21

4 意見

広島市教科用図書採択審議会では、本市児童の課題である「習った表現を使って主体的、意欲的にコミュニケーションを図ること」に対応する各教科書の特徴について、広島市教科用図書採択審議会調査員が作成した「令和6年度から使用する小学校用教科用図書の調査・研究報告書」を基に審議した。

意見1 東京書籍の教科書は、本市で使用する教科書としてよりふさわしい。

(理由)

- ・ 各単元冒頭に、単元のゴールと活動内容を示しており、「Starting Out」「Your Turn」「Enjoy Communication」「Over the Horizon」のスマールステップの単元構成となっている。学習内容に慣れ親しむことから、知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力などを働かせる活動へと段階を踏んだ構成となっており、児童が見通しをもって主体的に学習を進めることができるようにしている。
- ・ 各学年、32回のSmall Talkを毎時間設定しているため、既習事項を繰り返し活用したり、自分の考えや気持ちを伝え合う言語活動を行ったりすることが可能である。毎時間Small Talkを設定することは、英語でやり取りをしようとする意欲を高めることに効果的である。
- ・ 6年「Let's see the world.」では、自分の考えや気持ちなどを伝えたい言語活動の工夫として、「行きたい国の魅力を伝えるために、その国について紹介しよう。」という具体的でやり取りが広がる活動を設定している。さらに、巻末にある「コミュニケーションカード」を活用してコミュニケーション活動を行うことができる。

意見2 開隆堂出版の教科書は、本市で使用する教科書としてふさわしい。

(理由)

- ・ 各単元冒頭に、単元のゴールと活動内容・めあてを示しており、児童が見通しをもって学習を進めることができるようにしている。
- ・ 5年は24回、6年は23回のSmall Talkを設定しているため、既習事項を繰り返し活用したり、自分の考えや気持ちを伝え合う言語活動を行ったりすることが可能である。Small Talkを設定することは、英語でやり取りをしようとする意欲を高めることに効果的である。
- ・ 6年「Where do you want to go?」では、自分の考えや気持ちなどを伝えたい言語活動の工夫として、「おたがいの行きたい国についてわかってもらえるように、『行きたい国クイズ』に取り組みしましょう。」という意欲をもって取り組めるような活動を設定している。

令和6年度から使用する広島市立小学校用教科用図書の採択について（答申）

教科〔特別の教科 道徳〕 種目〔道徳〕

令和6年度から使用する小学校用教科用図書の採択について

教科 [特別の教科 道徳] 種目 [道徳]

1 本市の実態や児童の状況

- 本市は、人類史上最初の原子爆弾が投下された都市であり、「ほかの誰にもこんな思いをさせてはならない」という被爆者の願いや世界恒久平和を願う市民の心を基盤として、人間の尊厳や生命の尊さを自覚し、自他共に大切にし、正義感や公正さを重んじ、人と自然の共生する平和な社会を築いていく心を育て、自立して行動する力を養うことを教育の原点としている。
- 令和4年度全国学力・学習状況調査の児童質問紙調査において、自尊意識や自己有用感に関する項目で8割以上の児童が肯定的な回答をしていることから、本市の児童は、自分を認める心や人の役に立ちたい気持ちが育ってきていることが分かる。また、「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる」と回答をした児童の割合は、80.9%（全国80.0%）であった。一方、令和3年度「不登校・暴力行為・いじめの状況について（報告）」によると、不登校児童数やいじめの認知件数、暴力行為発生件数は、前年度より増加傾向が見られる。引き続き、日常の様々な道徳的な問題や自己の生き方についての課題に対して、児童が問題意識をもち、主体的に考え、行動しようとする意欲や態度を育成する取組が必要である。

2 調査・研究の観点と視点

観 点	視 点
<基礎・基本の定着>	① 道徳科の学び方の示し方 ② 自己の生き方について考えを深めるための工夫
<主体的に学習に取り組む工夫>	③ 問題意識をもたせるための工夫 ④ 読み物教材における発問の工夫 ⑤ 体験的な学習を取り入れた工夫
<内容の構成・配列・分量>	⑥ 取り扱う内容項目の量と重点化の傾向 ⑦ 現代的な課題を踏まえた内容の示し方
<内容の表現・表記>	⑧ 教材の内容を理解させる工夫
<言語活動の充実>	⑨ 考えることや議論が活発に行われるための工夫

3 各教科書の特徴

東京書籍

1 基礎・基本の定着

視点① 道徳科の学び方の示し方

- 「なにを学ぶのかな」というタイトルで、4つの視点と内容項目を教材と関係付けて示している。
- 学習の流れは、「気づく」、「考える」、「広げる・深める」の3つの段階で示している。

視点② 自己の生き方について考えを深めるための工夫

- 巻末に、「学習の記録」というタイトルで学期の終わりや、長期休みの前に学習の振り返り、心に残った話やこれからの生活に生かしたいことなどを記述するページを設けている。
- 各教材に「考えよう」というタイトルで、これまでの自分を振り返り、自己を見つめ、これからの生き方につなげていく発問を示している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点③ 問題意識をもたせるための工夫

- 3年からは、教材文の後ろに、「みんなで考えたいこと」を投げかける発問例を示している。
- ※ 1年は6番目の教材まで、単元冒頭に「はじめに」として、同様の発問を示している。
- 【発問例】「手品師」(6年)

- ・ 誠実な生き方とは、どんな生き方？

視点④ 読み物教材における発問の工夫

- 【導入以外の発問例】(・：教材に関する発問 ◎：中心発問 ●：自分の生き方につながる発問)
- 「二わのことり」(1年)
- ◎ みそさざいは、やまがらの家へ行きながら、どんなことを思っていたのでしょうか。
- 友達と仲良くするために、あのときは自分がこうすればよかったなと思うことはありますか。「手品師」(6年)
- ◎ 翌日、たった一人のお客さまを前に手品を演じる手品師は、どんなことを思っていたのでしょうか。
- あなたが考える誠実な生き方とはどんな生き方でしょう。

視点⑤ 体験的な学習を取り入れた工夫

- 体験的な学習として、役割演技や動作化について示している。
- 役割演技や動作化の数(合計 8教材)
- 1年：2教材 2年：2教材 3年：1教材 4年：1教材 5年：1教材 6年：1教材

3 内容の構成・配列・分量

視点⑥ 取り扱う内容項目の量と重点化の傾向

- 内容項目の教材量

	A	B	C	D	計
1	10	9	9	6	34
2	11	8	10	6	35
3	8	9	11	7	35
4	9	8	11	7	35
5	9	7	12	7	35
6	8	7	12	8	35

- A：主として自分自身に関すること
- B：主として人との関わりに関すること
- C：主として集団や社会との関わりに関すること
- D：主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

視点⑦ 現代的な課題を踏まえた内容の示し方

- いじめ問題、情報モラル、生命尊重などを現代的な課題として扱っている。
- 現代的な課題について、内容項目の異なる複数の教材を組み合わせた学習を各学年に1つ設定している。

4 内容の表現・表記

視点⑧ 教材の内容を理解させる工夫

- 挿絵の数
 - ・ 1年「二わのことり」(4)
 - ・ 6年「手品師」(3)
- 教材における登場人物の紹介
 - ・ 1年「二わのことり」(なし)
 - ・ 6年「手品師」(なし)

5 言語活動の充実

視点⑨ 考えることや議論が活発に行われるための工夫

- 各教材の後ろに、「考えよう」という示し方で、2問の発問を設定している。
- 考えたり話し合ったりすることについて説明しているページ
 - ・ 「ちょっと話し合ってみよう！」というタイトルで、話し合うときの伝え方の例を示している。
 - ・ 「考えるためのツール」というタイトルで、思考ツールの活用について示している。

1 基礎・基本の定着

視点① 道徳科の学び方の示し方

- 「道徳で学習すること」というタイトルで、4つの視点と内容項目を教材と関係付けて示している。
- 学習の流れは、3年から、「考えよう」、「深めよう」、「つなげよう」、「今日の学習をふり返ってみよう」の4つの段階で示している。

視点② 自己の生き方について考えを深めるための工夫

- 各教材の後ろに、毎時間の学習を振り返り、「しっかり考えられた」「新しく気づいたことがあった」「大切にしたいことがわかった」と示し、チェック欄を設けている。また、巻末に、学期末や年度末に、これまでの学習を通して感じたことや考えたこと、これからの生活に生かしていきたいことなどを記述するページを設けている。
- 教材に応じて、「つなげよう」というタイトルで、学んだことをこれからの生活にどのように生かせるかを考える発問を示している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点③ 問題意識をもたせるための工夫

- 各教材の始めに、ねらいとする道徳的価値や教材の内容への導入を図る発問例を示している。
- 【発問例】「手品師」(6年)
「誠実な人」「誠実な行動」などということがあるよね。「誠実」ってどういうことかな。

視点④ 読み物教材における発問の工夫

- 【導入以外の発問例】(・: 教材に関する発問 ◎: 中心発問 ●: 自分の生き方につながる発問)
「二わのことり」(1年)
・ みそさざいは、どうしてうぐいすのうちから抜け出して、やまがらのうちへ向かったのでしょうか。
◎ 喜ぶやまがらを見て、みそさざいはどのような気持ちになったのでしょうか。
● 友達がいてよかったなと思ったり、嬉しいなと思ったりしたことはありますか。
● これから、友達とどのように生活していきたいですか。

「手品師」(6年)

- ・ 友人からステージへの出演の電話を受けたとき、手品師はどのようなことを考えたでしょう。
- ◎ 手品師の行動について、どのように思いますか。みんなで話し合ひましょう。
- 誠実に生きるとは、どのようなことでしょうか。自分の考えをまとめて発表しましょう。

視点⑤ 体験的な学習を取り入れた工夫

- 体験的な学習として、役割演技やモラルスキルトレーニングについて示している。
- 役割演技や動作化の数(合計 25教材)
1年: 4教材 2年: 4教材 3年: 7教材 4年: 4教材 5年: 3教材 6年: 3教材

3 内容の構成・配列・分量

視点⑥ 取り扱う内容項目の量と重点化の傾向

- 内容項目の教材量

	A	B	C	D	計
1	10	8	12	4	34
2	11	8	12	4	35
3	9	9	12	5	35
4	9	10	10	6	35
5	10	6	13	6	35
6	8	8	12	7	35

- A: 主として自分自身に関すること
 B: 主として人との関わりに関すること
 C: 主として集団や社会との関わりに関すること
 D: 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

視点⑦ 現代的な課題を踏まえた内容の示し方

- SDGs、食育、防災などを現代的な課題として扱っており、いじめ問題や情報モラル、伝統文化と国際理解などに関する内容を「重点テーマ」として示している。
- 現代的な課題、「重点テーマ」について、内容項目の異なる複数の教材を組み合わせた学習を1～5年は2つ、6年は3つ設定している。

4 内容の表現・表記

視点⑧ 教材の内容を理解させる工夫

- 挿絵の数
・ 1年「二わのことり」(4)
・ 6年「手品師」(4)
- 教材における登場人物の紹介
・ 1年「二わのことり」(なし)
・ 6年「手品師」(なし)

5 言語活動の充実

視点⑨ 考えることや議論が活発に行われるための工夫

- 各教材の後ろに、「考えよう」、「深めよう」という示し方で、2～3問の発問を設定している。
- 考えたり話し合ったりすることについて説明しているページ
・ 「道徳ではこんな学び方をするよ」というタイトルで、話し合って考えることや演じて考えること、書いて考えることについて説明している。

1 基礎・基本の定着

視点① 道徳科の学び方の示し方

- 道徳科で学習する内容について、「道徳が始まるよ」というタイトルで「道徳で学ぶ〇のとびら」として、4つの視点と内容項目を示している。
- ※ 1年は「どうとくでは、なにをかんがえるのかな」として、4つの視点のみを示している。
- ※ とびらの数は学年で異なる。
- 学習の流れは、「考えたいことに気づく」、「よりよい生き方について考える」、「学んだことをつなげる」の3つの段階で示している。

視点② 自己の生き方について考えを深めるための工夫

- 巻末に、「学びの記録」というタイトルで、毎時間の学習を振り返り、1～4年は、「たくさん考えることができた。」「友達の話をよく聞くことができた。」「もっと考えたい、もっとしてみたいことが見つかった。」、5・6年は「自分のこととして考えることができた。」「友達の考えを聞いて、自分の考えが深まった。」「もっと考えたい、やってみたいことが見つかった。」という3つの観点について、シールやマークを付けて記録するページを設けている。さらに、5・6年は一言感想を記録する欄を設けている。
- 各教材に「つなげよう」というタイトルで、自分の生き方につなげる発問を示している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点③ 問題意識をもたせるための工夫

- 各教材の始めに、ねらいとする道徳的価値や教材の内容と日常生活をつなぐ発問例を示している。
- 【発問例】「手品師」(6年)
 - ・ だれかと約束したのに、守れなかったことってある？

視点④ 読み物教材における発問の工夫

- 【導入以外の発問例】(・：教材に関する発問 ◎：中心発問 ●：自分の生き方につながる発問)
 - 「二わのことり」(1年)
 - ・ 迷ったみそさざいが、うぐいすのうちに飛んでいったのは、どうしてでしょう。
 - ◎ みそさざいは、どんなことを考えながら、やまがらのうちへ行ったのでしょうか。
 - ・ 二羽のことりは、お誕生日のお祝いで、どんなお話をしたと思いますか。みそさざいとやまがらになって、演じてみましょう。
 - 「手品師」(6年)
 - ・ 友人の「いい話」を聞きながら、手品師は、どんなことを思っていたでしょう。
 - ◎ 手品師は、どんな思いで、たった一人のお客さまの前で手品を演じたのでしょうか。
 - あなたは、「誠実に生きる」とは、どんな生き方のことだと思いますか。
 - 人々から誠実さがなくなると、世の中は、どうなるかな。

視点⑤ 体験的な学習を取り入れた工夫

- 体験的な学習として、役割演技や実感を伴って生命に対する考えを深める活動について示している。
- 役割演技や動作化の数(合計 20教材)
 - 1年：5教材 2年：4教材 3年：5教材 4年：3教材 5年：1教材 6年：2教材

3 内容の構成・配列・分量

視点⑥ 取り扱う内容項目の量と重点化の傾向

- 内容項目の教材量

	A	B	C	D	計
1	10	8	11	5	34
2	10	8	11	5	34
3	9	9	11	5	34
4	9	9	11	5	34
5	10	9	9	6	34
6	8	9	10	7	34

- A：主として自分自身に関すること
- B：主として人との関わりに関すること
- C：主として集団や社会との関わりに関すること
- D：主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

視点⑦ 現代的な課題を踏まえた内容の示し方

- いじめ問題、情報モラル、環境などを現代的な課題として扱っている。
- 現代的な課題について、内容項目の異なる複数の教材を組み合わせた学習を1・2年は1つ、3～6年は3つ設定している。

4 内容の表現・表記

視点⑧ 教材の内容を理解させる工夫

- 挿絵の数
 - ・ 1年「二わのことり」(4)
 - ・ 6年「手品師」(6)
- 教材における登場人物の紹介
 - ・ 1年「二わのことり」(あり)
 - ・ 6年「手品師」(なし)

5 言語活動の充実

視点⑨ 考えることや議論が活発に行われるための工夫

- 各教材の後ろに、「考えよう」、「話し合おう」という示し方で、2～3問の発問を設定している。
- 考えたり話し合ったりすることについて説明しているページ
 - ・ 「みんなで気持ちよく話し合うためのこつ」というタイトルで、話し合いのポイントや話し方の例を紹介している。
 - ・ 「考えるヒント」というタイトルで、役割演技の手順や、話し合いを活発にする言葉など、考えることを楽しめるような手立てを示している。
 - ・ 「考える準備たいそう」というタイトルで、対話の練習をするページを設けている。
 - ・ 「学びの工具箱」というタイトルで、思考ツールの活用について紹介している。

1 基礎・基本の定着

視点① 道徳科の学び方の示し方

- 「道徳のとびら」というタイトルで、4つの視点と内容項目を示している。
- ※ 1・2年は4つの視点のみを示している。
- 学習の流れは、「気づく」、「考える・深める」、「見つめる・生かす」の3つの段階で示している。

視点② 自己の生き方について考えを深めるための工夫

- 別冊のノートに、毎時間の学習を振り返り、感じたことや考えたこと、これからの生活に生かしていきたいことなどを記述する欄や、「しっかり考えた」「友達の見解から新しく気づいたことがあった」「これから大切にしたいことがわかった」について、マークを使って記録する欄を設けている。また、ノートの途中に、「ここまでの学習を振り返ってみよう」というタイトルで、これまでの学習を振り返り、心に残った話について記述するページを設けている。
- 各教材に「見つめよう生かそう」というタイトルで、学習内容をこれからの生活に生かしていくための発問を示している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点③ 問題意識をもたせるための工夫

- 各教材の始めに、教材の内容への導入を図る発問例を示している。
- 【発問例】「手品師」(6年)
- ・ 「手品師」というお話を通して、「誠実」ということについて、みんなで考えましょう。

視点④ 読み物教材における発問の工夫

- 【導入以外の発問例】(・：教材に関する発問 ◎：中心発問 ●：自分の生き方につながる発問)
- 「二わのことり」(1年)
- ◎ やまがらの涙を見て、みそさざいはどんな気持ちだったのだろう。
- 友達のことを考えて行動したとき、どんな気持ちになっただろう。
- 「手品師」(6年)
- ◎ たった一人のお客様の男の子の前で、手品を演じているときの手品師は、どんな気持ちだっただろう。
- この学習を通して、「誠実に生きる」ということについて、自分の思いをまとめよう。

視点⑤ 体験的な学習を取り入れた工夫

- 体験的な学習として、役割演技や教材と関連付けた実践的な活動について示している。
- 役割演技や動作化の数(合計 12教材)
- 1年：1教材 2年：2教材 3年：2教材 4年：2教材 5年：3教材 6年：2教材

3 内容の構成・配列・分量

視点⑥ 取り扱う内容項目の量と重点化の傾向

- 内容項目の教材量

	A	B	C	D	計
1	11	8	13	5	37
2	11	9	12	6	38
3	11	10	12	5	38
4	9	10	13	6	38
5	9	10	13	6	38
6	10	9	13	6	38

- A：主として自分自身に関すること
 B：主として人との関わりに関すること
 C：主として集団や社会との関わりに関すること
 D：主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

視点⑦ 現代的な課題を踏まえた内容の示し方

- 安全、防災、平和・人権などを現代的な課題として扱っており、いじめ問題に関する教材を「人との関わり」というキーワードで示している。
- 現代的な課題、「人との関わり」について、内容項目の異なる複数の教材を組み合わせた学習を1年は2つ、2～6年は3つ設定している。

4 内容の表現・表記

視点⑧ 教材の内容を理解させる工夫

- 挿絵の数
- ・ 1年「二わのことり」(4)
- ・ 6年「手品師」(4)
- 教材における登場人物の紹介
- ・ 1年「二わのことり」(あり)
- ・ 6年「手品師」(あり)

5 言語活動の充実

視点⑨ 考えることや議論が活発に行われるための工夫

- 各教材の後ろに、「考えてみよう」、「見つめよう・生かそう」という示し方で、2問の発問を設定している。
- 考えたり話し合ったりすることについて説明しているページ
- ・ 「道徳の学び方」というタイトルで、話すこと、書くことなどの学習方法について紹介している。

1 基礎・基本の定着

視点① 道徳科の学び方の示し方

- 「ゆたかな心」というタイトルで、4つの視点と内容項目を示している。
- 学習の流れは、「問いを見つけよう」、「考えよう」、「まとめよう・ふりかえろう」、「ひろげよう・つなげよう」の4つの段階で示している。

視点② 自己の生き方について考えを深めるための工夫

- 巻末に、「学びの足あと」というタイトルで、毎時間の授業を振り返り、自分の気持ちをマークや言葉を使って記録したり、学期や年度末に、これまでの学習を振り返り、分かったこと、感じたこと、やってみようことなどを記述したりするページを設けている。また、「なりたい自分」について記述する欄を設けている。
- 各教材に「広げよう」というタイトルで、学習内容が日常生活に生かしていくための発問を示している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点③ 問題意識をもたせるための工夫

- 各教材の始めに、ねらいとする道徳的価値や教材の内容への導入を図る発問例を示している。
- 【発問例】「手品師」(5年)
 - ・ 「誠実に生きる」とは、どのような生き方のことかな。

視点④ 読み物教材における発問の工夫

- 【導入以外の発問例】(・：教材に関する発問 ◎：中心発問 ●：自分の生き方につながる発問)
 - 「二わのことり」(1年)
 - ◎ どうしてみそさざいは、やまがらの家に行ったのかな。
 - ・ みそさざいと他の小鳥たちとの違いは何かな。
 - クラスの人とどんな友達になりたいかな。
 - 友達思いの人の話を聞いてみよう。
 - 「手品師」(5年)
 - ◎ 手品師は、なぜ大劇場に出られるチャンスを断ったのかな。
 - ・ 手品師のどんなところが誠実かな。
 - 「誠実に生きる」とは、どのような生き方か、今日の学習で考えたことをまとめよう。
 - 手品師の生き方で、どんなところが自分に生かせるか考えてみよう。

視点⑤ 体験的な学習を取り入れた工夫

- 体験的な学習として、役割演技や教材と関連付けた実際の問題場面を想定した活動について示している。
- 役割演技や動作化の数(合計 6教材)
 - 1年：1教材 2年：1教材 3年：1教材 4年：1教材 5年：1教材 6年：1教材

3 内容の構成・配列・分量

視点⑥ 取り扱う内容項目の量と重点化の傾向

- 内容項目の教材量

	A	B	C	D	計
1	11	9	13	7	40
2	10	10	13	7	40
3	10	11	12	7	40
4	8	11	14	7	40
5	9	8	14	9	40
6	9	8	15	8	40

A：主として自分自身に関すること
 B：主として人との関わりに関すること
 C：主として集団や社会との関わりに関すること
 D：主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

視点⑦ 現代的な課題を踏まえた内容の示し方

- 生命尊重・自然、情報モラル、へこんでも立ち直る心などを現代的課題として扱っており、いじめや命などに関する内容を「重点主題」として示している。
- 現代的な課題、「重点主題」について、内容項目の異なる複数の教材を組み合わせた学習を各学年に3つ設定している。

4 内容の表現・表記

視点⑧ 教材の内容を理解させる工夫

- 挿絵の数
 - ・ 1年「二わのことり」(4)
 - ・ 5年「手品師」(4)
- 教材における登場人物の紹介
 - ・ 1年「二わのことり」(あり)
 - ・ 5年「手品師」(なし)

光 文 書 院	<p>5 言語活動の充実</p> <p>視点⑨ 考えることや議論が活発に行われるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各教材の後ろに、「考えよう」、「まとめよう」という示し方で、3問の発問を設定している。 ○ 考えたり話し合ったりすることについて説明しているページ <ul style="list-style-type: none"> ・ 「話し合って考えてみよう」というタイトルで、話し合いを活発にする言葉を示している。 ・ 「いろいろなやり方で考えてみよう」というタイトルで、思考ツールの活用について示している。 ・ 「まとめよう・ふりかえろう」というタイトルで、ノートやプリントへのまとめ方について紹介している。
------------------	--

1 基礎・基本の定着

視点① 道徳科の学び方の示し方

- 4つの視点と内容項目を教材と関係付けて示している。
- ※ タイトルは学年によって異なる。
- 学習の流れは、3・4年は「お話をもとに考えよう。」「話し合い高め合おう。」「自分を見つめ深めよう。」、5・6年は「見つけよう。」「考えよう。」「生かそう」の3つの段階で示している。

視点② 自己の生き方について考えを深めるための工夫

- 巻末に、一年間の学習を振り返り、心に残った話や言葉、自分へのメッセージなどを記述するページを設けている。
- 各教材に「考えよう」というタイトルで、自己を見つめて考えるきっかけとなる発問を示している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点③ 問題意識をもたせるための工夫

- 1年の中盤から、各教材の始めに、教材中の言葉を取り上げ、掲載している。
- 【記載例】「手品師」(5年)
- ・ きっとだね。きっと来てくれるね。

視点④ 読み物教材における発問の工夫

- 【導入以外の発問例】(・：教材に関する発問 ◎：中心発問 ●：自分の生き方につながる発問)
- 「二わの小鳥」(1年)
- ◎ みそさざいが、やまがらのうちへ行ったのは、なぜだろう。
- お話を読んで、大切なことはどんなことだと思ったかな。
- 「手品師」(5年)
- ◎ 友人からのさそいの電話がかかってきたとき、手品師は心の中でどんなことを考えただろう。
- 自分が手品師だったら、どんなことを大切にしようか。

視点⑤ 体験的な学習を取り入れた工夫

- 体験的な学習として、役割演技や教材と関連付けて考えを深める活動について示している。
- 役割演技や動作化の数(合計 7教材)
- 1年：2教材 2年：1教材 3年：1教材 4年：1教材 5年：1教材 6年：1教材

3 内容の構成・配列・分量

視点⑥ 取り扱う内容項目の量と重点化の傾向

- 内容項目の教材量

	A	B	C	D	計
1	11	8	9	6	34
2	12	8	9	6	35
3	9	9	11	6	35
4	9	9	11	6	35
5	9	8	10	8	35
6	9	8	11	7	35

A：主として自分自身に関すること
 B：主として人との関わりに関すること
 C：主として集団や社会との関わりに関すること
 D：主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

視点⑦ 現代的な課題を踏まえた内容の示し方

- 生命やいじめ防止、キャリアなどを現代的な課題として扱い、生命の尊さに関わる内容を「最重点テーマ」としている。
- 現代的な課題、「最重点テーマ」について、内容項目の異なる複数の教材を組み合わせた学習を各学年に3つ設定している。

4 内容の表現・表記

視点⑧ 教材の内容を理解させる工夫

- 挿絵の数
- ・ 1年「二わの小鳥」(9)
- ・ 5年「手品師」(4)
- 教材における登場人物の紹介
- ・ 1年「二わの小鳥」(あり)
- ・ 5年「手品師」(なし)

5 言語活動の充実

視点⑨ 考えることや議論が活発に行われるための工夫

- 各教材の後ろに、「考えよう」という示し方で、1～2問の発問を設定している。
- 考えたり話し合ったりすることについて説明しているページ
- ・ 「道徳の時間が始まるよ」というタイトルで、話し合っているいろいろなものの見方、感じ方、考え方にふれることや演じたり体験したりして考えること、書いて考えることについて説明している。

4 意見

広島市教科用図書採択審議会では、本市児童の課題である「日常の様々な道徳的な問題や自己の生き方についての課題に対して、児童が問題意識をもち、主体的に考え、行動しようとする意欲や態度を育成する」ことに対応する各教科書の特徴について、広島市教科用図書採択審議会調査員が作成した「令和6年度から使用する小学校用教科用図書の調査・研究報告書」を基に審議した。

意見1 光村図書出版の教科書は、本市で使用する教科書としてよりふさわしい。

(理由)

- ・ 各教材の始めに、ねらいとする道徳的価値や教材の内容を日常生活とつなぐ発問例を示しており、児童が教材の場面と日常生活を関連させて自分の生活を振り返り、問題意識をもって考えることができるとともに、教員が授業の導入を行いやすい。
- ・ 「みんなで気持ちよく話し合うコツ」、「考える準備体操」、「学びの工具箱」というページの中に、話し合いを活発にする言葉やうなずきの例、思考ツールの活用などについて示しており、学級の支持的な雰囲気をつくった上で議論を活発に行いながら考えを深めることができるようにしている。
- ・ 体験的な活動を通して考える学習を行う際、教材の後ろに役割演技を促す発問例を示していたり、役割演技を取り入れた学習を促す「考えるヒント」というページの中に役割演技の手順を示していたりすることにより、児童が見通しをもてるとともに、教員も授業を進めやすい。

意見2 光文書院の教科書は、本市で使用する教科書としてふさわしい。

(理由)

- ・ 各教材の始めに、ねらいとする道徳的価値や教材の内容に関する発問例を示しており、児童が問題意識をもって学習に臨むことができるとともに、教員が授業の導入を行いやすい。
- ・ 「話し合ってみよう」、「いろいろなやり方で考えてみよう」というページの中に、話し合いを活発にする言葉や、思考ツールの活用について示しており、言語活動を生かして学習を展開することができるように促している。
- ・ 現代的な課題等について、いじめや命などに関する内容を「重点主題」として取り上げており、内容項目の異なる複数の教材を組み合わせ学習を各学年3つ設定することで、現代的な課題を児童の身近な問題と結び付け、自分との関わりで考えることができるようにしている。